

カトリック
福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 リック下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

家庭で生きるキリストのこころ

教区年間
テーマ



教区長「ともに生きる」は「ために生きる」

新年にあたり、福岡教区長ヨセフ松永久次郎司教は教区内の全信徒、修道者、司教に向けてのメッセージを発表した。この中で松永司教は福岡教区もひとつの家族であること、人々の「ために生きる」ことを強調した。

新年明けましておめでとうございます。新しい年がすべての方々にとって恵みの年となりますようにお祈りいたします。

今年、十月二十一日から二十四日まで、「家庭」をテーマとして、福音宣教推進全国会議が長崎で開催されます。そこで年頭にあたり、家庭・家族のことについて考えてみることにいたします。

「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である」(ルカ5・31)これは湯川教会主任司教(平田寛神父)の司牧モットーのようである。

病める者、悩める者、時には浮浪者の友となり、しばしば病人訪問や刑務所訪問で、突然訪ねても留守が多い。前記の聖句を日常生活の中で真に実践、努力しておられるのである。

主任司教の適切な指導、教会委員の献身的な努力、天使の聖母のシスターのあくこと

時の話題

葛島 勇

福音宣教をいかに効果的に推進すべきや、目下全国会議の研修課題となっているが、経済に、科学に世界のトップをゆく日本、千年百年の長い伝統を「たてま」と本音の二重構造の思考によって、表面的善美と芸能でこと足れり

外的には既述の通り、職場や交友を通じて、地の塩となつて浸透してゆくことは当然ながら、いくつものグループをして、積極的に出版物などを用いて種々試みすること必要ではないかと思つた。実際問題として、非常に困難な

福音宣教に思つたこと

一、自分の家庭を大切に
人間は通常、家族のメンバーとして生まれてきます。父と母の間にきょうだいの一人としてこの世に存在をはじめるのです。人間が「神の姿に似せて」造られたことの一つの証とも言えます。人間は独りぼっちではなく、本来仲間なのです。

二、周りの家庭に奉仕する
それぞれの家庭は仲のいい温かい交わりの集いでなければなりません。周りの家族と交わりをもち、いつも周りの家庭に奉仕する心を持たねばなりません。「共に生きる」自分の家庭を真に充実させるためには、周りの人々の「ために生きる」ことが必要なのです。

三位一体の神は、その喜びをわたしたちに分かち与えるために、人間を造られました。キリストはわたしたちの救いのため、十字架で死なれた。面も多岐に、経済的、時間的、教養の点、勇気と謙遜、忍耐、柔和など。しかし、ある程度のグループが組織できたら、大部分は内部の支援で必ずどうにかするし、少しづつやっていると、次第に習熟し、拡大する機会もあるだろう。人は環境も能力も万人万様であり、教会内部においても、案外負傷者も多く、離教者も多い。常に悩める者、弱者をおもひながら、出来るだけ助け励まし、それぞれの立場を生かして、グループに組み入れ活動すると、自ら反省させられ、学ばされ、恵みにより信望愛に強められてゆくことだろう。

(湯川教会)

愛の心を形に 降誕夜半のミサ

カテドラル

十二月二十四日大名町カテドラル聖堂で午後八時三十分から降誕夜半のミサが、教区長松永久次郎司教の司式で執り行われた。大名町カテドラルでは、二十四日に三つのミサが行われるが、第二ミサは例年、教区長が司式する。聖堂内を埋めた千人を越える信徒、未信徒に向けて、司教はミサの説教で次のように語った。

「神の愛が幼子となって現われ、わたしたちも愛の心を形に表すこと、形の中に愛の心を読み取ることを学びましょう。神の幼子がこの世に来られました。一つ一つの家族、そして全人間家族が神の子をお迎えできるように働きましょう」

聖体拝領後はキャンドルメデーションが行われ

小神学校生徒募集

小神学校入学を希望する者は、主任司教と相談の上、福岡小神学校(〒810 福岡市中央区浄水通38 TEL 092-531-6821)までご連絡ください。

【入学条件】

①司教を希望するカトリック信者の男子(中、高生)

②主任司教の推薦が必要

※途中編入も可

詳しくはお問い合わせください。

福岡小神学校
校長 松井忠之



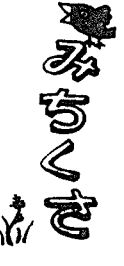
叙階式に 参加を

パウロ中村信哉助祭(26歳)の叙階式が一月十五日午後一時から、福岡カテドラル聖堂で松永久次郎司教司式のもとに執り行われた。中村助祭は、昨年三月に福岡サン・スルピス大神学院を卒業後、新田原小教区で司牧実習をし、九月から福岡小神学校で司牧養成補佐の仕事にあたっていた。

叙階式には多くの信徒が参加し、新司教誕生のために祈り、式後の茶話会でも喜びをともに分かち合っていた。

「ベネディクトゥス・ドミニ」(主よ、賛美致します)。小神学生時代から毎朝目覚めに唱えてきた挨拶である。加えて「主よ、今日も一日あなたにお捧げします。祝して下さいますように」と祈る。この朝の奉獻は大切だと思つていて、その日を忙しさに、かまけて祈る時間を逸しても、奉獻された一日は価値あるものである。神がすべてを価値あるものにして下さるからである。それだけに、私たちは奉獻された一日を、十分に生きていきたいものである。▼一日にはいろいろなことがある。▼まず何かをする時には目的地を考へる。あそこには今日は電車で行こう。急行がいいか、普通がいいか。普通なら座っていないが、立つても急行で行こう。昨日は車で行ったけど、踏み切りは何回もひっかかっていらした。踏み切りなんてなければいいのに、等と同じ目的地に行くのに自分の都合のいいように思案する。目的地に着く。隣人と接触がある(もちろん、家を出る前からそうであるが)。この人は自分にとって利があるから大切にしよう。あの人はうるさいから、できるだけ顔を合わせないようにしよう。やっぱり自分のいいように考えている。このへんをもっと上手にできないものだろうか▼ところで神は私たちが、その日を十分に生きていることができるようにと、人と物を下さっている。とするならば、結局、出会う人、物もすべて価値あるものである。だから、すべてを大切にしてくべきである▼新しい年を神からいただいた。その一日一日を隣人と共に、喜びながら奉獻できる私たちがありがたい。最終目的地、天国で神を賛美できるまで。

[S]



福岡市中央区平和3丁目1-5

聖書を知ることは
キリストを知ること

聖書週間特別講演

十一月二十二日、カテドラルセンターで、Sr.今道瑤子（聖書学者・女子パウロ会）を迎えて「福音書に表れたキリストの感謝の祈り」をテーマに講演会が行われた。

内容は「キリストの祈りの本筋」である「感謝、賛美の祈り」について。普通の人間に起こる事の順序として①悪いことが起こる ②開放（解決する）③感謝、がある。ところが、苦難に直面したイエスは、欠乏、不幸の出来事の中で、「そうです。父よ、それはあなたのみ心にかたう事でした」と、感謝の祈りをささげられた。我々との大きな違いである。キリストの場合、すべての状況に対して、感謝することにより、道が方向づけられ、十字架を通して復活の勝利につながっていく。このことをシスターは「最後の晩餐」や「ラザロの復活」

聖書講座を
終えて

福岡

この度、初めて聖書講座のお世話をさせて頂きました。



前・後期、合わせて二十回の講演会でした。それぞれ八十



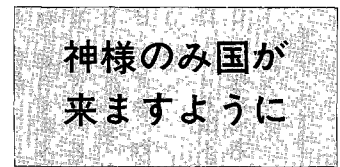
家庭
第2回
全国会議
に向けて

神様は、結婚を通して私に大きな喜びを下さいました。未洗者の主人と結婚するとき、信仰は私の宝物なので、教会に行く自由と子供の信仰教育に反対しないことを約束してもらいました。

私たちは、男の子と女の子が二人ずついます。この子たちを連れて、毎日曜教会に行けるのは、夫の協力のおかげです。そしてこの二十四年間に、私の祖母、父、姉、義父が受洗の恵みに浴しました。

私は、幼い時に母を亡くした主人の「家庭の温もりを父にプレゼントしたい」という優しい言葉に感動し、義父と同居しました。義父は、私につき合って夕べの祈りを唱えてくれ、新田原教会へ行く時も必ずつ

神様のみ国が
来ますように



六十歳で、癌のため天に召されるまでの一年間同居した義父は、手術を受ける日に洗礼の恵をいただきまし

ました。「天国は素晴らしい所だ。美しい音楽が鳴って花が一面に咲き誇り、すぐ目の前に天国があったのに！」と、そのまま死ななかつたのが残念なようでした。

「天国がある！」と宣言した義父の言葉は今も忘れられません。

三カ月間、五人の息子たちとその家族から温かい看護を受け、天の御父のみ手に身をゆだねました。

今春、結婚二十五周年を迎える私は、主人の回心をひたすら祈る毎日です。

松原双恵（小郡教会）

人前後の方が、熱心に参加してくださりました。写真、長い期間でしたが、ずっと与ってくださった方も多くあります。皆さんの聖書に対する熱意に感謝しています。そして、この講座の講師を、快く引き受けてくださった神父様方にも、心から感謝申しあげます。

聖書講座は、一昨年につづき第2回目でした。典礼暦と共に読むということ、今回は「ルカによる福音書を読む」というテーマで行いました。今年、マタイによる福音について行う予定です。

聖書は汲めども尽きない泉です。そして、わたしたちの信仰の歩みを照らしてくれ、力強い光です。今年も皆さん御一緒に聖書を読みましよう。

教区聖書委員会・青木悟神父

キリスト教講座を本
終えて

毎年、熊本にて、市内五小教区が合同で行っている短期キリスト教講座も、五回目を迎えた。今回は「生きがい」をさがそうをテーマに、

九月十八日から十一月六日までの期間、八回シリーズで実施された。

講座の仕組みは例年同様、あらかじめ設けられた演題テーマを、それぞれの講師が担当し、午前と夜の二度行われた。

今回は、申し込み総数が約五百人を越えた。受講者の内訳は、その六十五％が未洗者で、残り信徒が占めていた。この現象は未洗者を誘って、信徒と一緒に受講するということ、信徒自身にとっても、この講座が霊的に有意義なものであることも事実である。

実行委員長・高木光行

カノッサ修道女会
大牟田修道院落成

開かれた修道院に

十二月八日、無原罪の聖母の祝日に、松永久次郎司教による聖堂と修道院の新築落成・祝別の感謝ミサが行われた。

カノッサ会の日本での母院である大牟田修道院は、戦後初期の木造建築の老朽化に加え、台風による甚大な被害を受けたために、総本部の「時代」にそった開院に、明るい修道院」という指示に添って、約一年の工事過程を経て落成に至った。

シスター方は「祝別ミサでの司教様の慈愛あふれるお言葉をしっかりと心に留め、新たな決意で、この地方の地の塩、世の光として、主の愛をひろめる使命に生き、開かれた教会の一端を担うようはげんで参りたい」と語っている。

心にしみる
クリスマス
コンサート

十一月三十日、約半年をかけて準備してまいりましたコンサートが無事終えることができました。この企画を実現するために、司教様、神父様

若松天使園

お天気は？ 目覚めるとまず窓を開け、大丈夫と胸をなでおろす。その日は餅つきの日だったのです。

近頃の子供は、お餅はスーパーで買うものと思ったり、餅つき機でつくものと思ったりしています。昔ながらの臼と杵での餅つきを実際に見るのは、ほとんどの子がはじめてです。楽しみに登園して来る子供たちを、園庭に置かれた臼と火にかけられた蒸籠が迎えました。子供供たちは、お父様方、お母様方、お祖父母様方、お兄さん、お姉さん、お友達と、お餅つきを一緒に楽しみました。

幼稚園のできごと

ヨ、ヨイショと、かけ声をかけながら見ていました。年長児の餅つきでは、足を踏ん張ってつく子、杵に振り回されてよろける子、振り下ろした杵が臼の端を擦ってしまいう子など、さまざまでした。お兄さん、お姉さんを応援し

方、信徒の皆様有形無形のご協力に心から感謝とお礼を申し上げます。

「物から心へ」と移りゆくこの時、人々の心に音楽を通してキリスト教の何かを語りかけることは出来ないだろうか、との思いをこめてこの時を持ちました。

「チャペル」で大きく宗教音楽に、予想以上に人々は飢え、渇いていたと思われまし

この機会にはじめて教会を訪れた人々が、神様の救いの恵みに近づかれますようお祈りしています。

聖パウロ女子修道会

クリスマス
音楽で

福岡

十二月七日午後六時半より福岡市民会館大ホールにおいて、福岡キリスト教会連合主

BOOK
読み専科

★イエスのユーモア

アンリ・コルミエ著
猪原英雄訳

イエスのユーモア

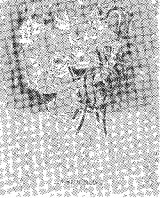


国語辞典の中で、ユーモアは「上品なしゃれ」「おかしみ」「こつぱい」と訳されています。本書は聖書の中のイエスと様々な人物との対話から「イエスはユーモアのセンスをもっておられた」ことを紹介してくれま

★光の中の食卓

小林カツ代著

光の中の食卓
小林カツ代



「マナ板の上でトントン、と快いひびきをさせる包丁。次々さまざまでいくキャベツやピーマン。まったくありふれた日常の中のひとこま。ふだんの台所の姿です。そんな中で、神を感じる事が出来ますか？」（本文より）

よりおいしく、より手早くがモットーの料理研究家のさわやかなエッセイ。

各テーマごとに聖書の一句がほとばしり出ているのは、著者にとって、聖書が生活の書、食べものの書となっているからでしょうか。

日本基督教団出版局
一、三〇〇円

ジャパン建築

株式会社

不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築

〒810 福岡市中央区六本松4-9-4

T E L 092-761-8800

代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計

株式会社

建築設計/企画・設計・監理

〒810 福岡市中央区六本松4-9-4

T E L 092-711-0550

代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
T E L 096-352-2417

会合と催し

1・2月の行事

☆ゴチックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

◎教皇文書勉強会休み

10日 熊本ブロック成人ミサ

15日 司祭叙階式

福岡・北九州・筑後ブロック成人ミサ

17日 健康教会

18日 25日 一致祈禱週間

24日 29日 臨時司教総会

30日 31日 召命担当者ワークショップ

31日 2月 湯川教会

11日 7日 大名町教会

信徒研修会(横川和夫氏講演)

北九州信徒協同研修会

教区修女連総会

☆飯塚・古賀・茶山教会

司祭評議会

☆小郡・帯山教会

灰の水曜日・四旬節

(大斎・小斎)

24日 21日 16日 14日



新田原教会に赴任して十ヶ月。信徒数が千九百人という大家族の小教区に、最初は戸惑いを覚えることも少なくなかったが、月日がたつにつれて、信仰一筋に生きる神の家族の一致団結した姿のすばらしさに、だんだんと気付けられるようになって来た。

田園風景と果樹園に囲まれた静かなたずまいの中に、ある新田原教会、そしてカリタス会修道院と聖マリアの園幼稚園、また聖母訪問会修道院と聖母病院、更にはルルドと教会墓地も隣り合っていて、まさに「揺りかごから墓場まで」と言う表

28日 26日 今村信徒発見記念日
☆佐賀教会

福岡黙想の家

12月5日 幼きイエズス会
6日 12日 休館
13日 15日 幼きイエズス会
14日 15日 カテキスタ会
19日 21日 横浜小笹グループ
24日 25日 召命担当者ワークショップ

【福音宣教を考える日】

【決定分】

新田原・小倉・笹丘・門司・唐津・浄水通・湯川・大名町・飯塚・茶山・古賀・小郡・帯山・佐賀・糸島・西新・行橋(豊津)・伊万里・美野島・多久・健軍・久留米・高宮
(※12月16日現在)

研修会(対象:カトリック信者)

テーマ:キリスト者としての愛と性を問う
=心を置き忘れた現代社会の中で=
基調講演:横川和夫氏
(共同通信社論説兼編集委員)
第1回日本ルポルタージュ大賞受賞
著書:「荒廃のカルテ」
「かげろうの家族」ほか

日時:2月11日(木) 10:00~16:00
会場:カテドラルセンター
主催:福岡教区 信仰教育委員会
家庭委員会
問合先:福岡市南区皿山4-14-27
カトリックファミリーセンター
TEL 092(541) 6207
FAX 092(552) 5022

「口笛の流れる司祭館」

現がピタリと環境に恵まれている。教会共同体も、純真素朴な子供たちから青年と中年、壮年層のパワー、そして高齢者層の磨きのかかった信仰の年輪を感じさせる。実に各年代層に均整のとれた霊的家族のハーモニーを奏でよう

な、人情味あふれる神の家族。このような雰囲気、ついつい陽気になって鼻歌の一つでも飛び出しそうな毎日を過ごさせて貰っている。大自然と豊かな大地の実りを満喫しながら、子供からお年寄りまで、教会中心に生きながら地域社会との交流をも



目ざしている。キリスト者らしい、生き生きとした姿に、司牧者としても教えられることも多い。

朝・昼・夕べに教会の塔から流れるアヴェマリアのお告げのチャイムのリズムの中で、教会の秘跡に養われながら、信仰を育み、そしてル

ドの広場で、しばし聖母に祈る時間を持ち、更には隣の病院ではシスターたちの手厚い看護で身体を癒してもらいながら、一致団結して神の国の完成を目ざして歩み続ける新田原小教区。このすばらしい司牧地であって、司祭としても恵まれ、支えられ、

新田原教会・竹森勇神父

キリスト教一致祈禱週間

1993年1月18日~25日

テーマ

「霊の結ぶ実愛は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。」
(ガラテア5・22,23)

キリスト者ひとりびとりに教会一致のために果たす役割があります。キリスト者ひとりびとりは洗礼によって聖霊の賜物を与えられ、「共に生きる交わり」へ招かれているからです。この招きに応じて生きることが、キリスト者相互一致を実現するのです。

1993年結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター 1F講堂

日程 1月16日・21日・23日・28日・30日
2月4日・6日・13日

申込み 福岡市南区皿山4-14-27

問合せ TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】 手取カトリック教会 信徒会館2Fホール

日程 1月18日・20日・24日・25日・27日
2月1日・3日・8日

申込み 熊本市上通町3-34(手取教会)

問合せ TEL 096-352-3030

※いずれも毎回午後7:00~9:20

今年もよろしくお願い致します

- ◎時の話題 ・北九州地区信徒協に
- ◎木かけ ・教区邦人司祭に
- ◎主の道を求めて ・修道会に(会の精神、活動、召命へのすすめなど)
- ◎幼稚園のできごと ・幼稚園に(歴史、思い出など)
- ◎自由席(投稿欄:本文600字以内。編集部の方責で文章を加筆・訂正する場合があります)

1月命日の司祭

教区のために尽力された神父様方の永遠の幸福を祈りましょう。

※ジョゼフ・フレスノン師
(パリ外国宣教会)
一九二九年一月
元久留米教会主任

※ルドビコ・ガルニエ師
(パリ外国宣教会)
一九四一年一月十九日
元大江教会主任

※アウグスチン・ハルプ師
(パリ外国宣教会)
一九四五年一月十四日
元崎津教会主任

※グスタフ・ロー師
(パリ外国宣教会)
一九五〇年一月一日
元人吉教会主任

※ジャンマリ・マルタン師
(パリ外国宣教会)
一九七五年一月十八日
元大牟田教会主任

※ジェームス・ドノフ師
(聖コロンバン会)
一九八五年一月二日
元菊池教会主任



師イエズス修道女会

一九二四年にイタリアの北部で生まれた師イエズス修道女会が、この日本の地に根をおろすためにやって来た時、すでに六人もの志願者が待ち受けていました。そうです！一九五〇年、福岡小笹の山奥にイタリア人のシスター二人が降り立った時、不思議なことに、六人の若い女性が聖体を囲んでシスターの卵として生活していたのです。今世紀の初め、ヤコブ・アルベリオーネ師を父として、パウロ家が聖職から生まれしました。「きょうの世界と教会」

「聖体のイエスへの愛から、聖体・司祭職・典礼の使徒職が生まれる」「道・真理・生命である師イエスを世に伝えていく使命を生きながら、永く聖体礼拝をほじめ、聖体に入らなす祈り、使徒職、また、司祭の中、教会の中に生きておられるイエスに仕える使命を持っています。ミサと諸秘跡、信心に用いられるものが真にふさわしく品位あるものとなるよう製作し、典礼センター・ピエタで普及します。現在、日本から二十余人が二十カ国に派遣されています。

研修センターをご利用ください

名古屋の日本カトリック研修センターでは、受験生や研修生のために宿泊を提供しております。ご利用ください。

- ・一泊朝食付 4,000円
- ・宿泊のみ 3,500円

TEL 052 (831) 5037
FAX 052 (831) 5317

編集室から

謹賀新年
読者の皆様、今年もよろしくお願い申し上げます。
新しい年の抱負は豊富にあります。中でもスタッフ一同、神からいただいたタラントを存分に使用させていただきます。私たちが不足なタラントですので、皆様方からたくさんのお知恵を拝借しながら作業してまいりたいと思っております。祝福をお祈り致します。

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-24

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤木 鐵三

福岡支店長 小田 正人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

新 司 祭 誕 生

司祭は民の奉仕者

一月十五日ヨセフ中村信哉助祭の司祭叙階式がカテドラル大名町教会で教区長松永久次郎司教により執り行われた。新司祭の出身地小倉教会の信徒をはじめ約六百人の参列者が心を一つにして祈った。



▶司教より聖体祭儀の器を受領

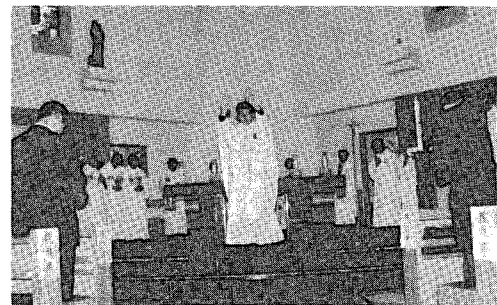
午後一時、「マラナタ」の開祭のうたが始まると十字架を先頭に小神学生の侍者、中村助祭、その後約八十人の司祭と平田三郎司教、授階者の松永久次郎司教が入堂した。叙階の儀が始まる前の言葉の典礼の中で、松永司教は受階者と参列者に諭すように、次のように語った。

「人間は三位一体の神に似せて造られた。その神は、人間をよく導くために弟子たちを集めた。『仲間』として。かれらは特別な才能をもっていた

今月のみことば
神のために働くことを
キリスト・イエスによって
誇りに思っています
(ローマ15・17)
小神学校 中村信哉神父

り、人望があったわけではなかった。平凡な人間だった。神はそんな人をお選びになる。神の選びは神秘である。大事なのは、呼ばれた本人が自由意志で全面的にこたえること、神の呼びかけに協力すること。

今日の福音は、主イエスが弟子たちを集めた場面だったが、呼ばれた弟子は舟と父親をおいてイエスに従った。司祭は特別にこの世の神の国の建設のために選ばれる。人間の中から選ばれるので弱さをもっている。しかし、それにもかかわらず、神の呼びかけにこたえれば必要ない恵みが与えられる。



叙階の儀で助祭から司祭に
建設のために選ばれる。人間の中から選ばれるので弱さをもっている。しかし、それにもかかわらず、神の呼びかけにこたえれば必要ない恵みが与えられる。

教会から花束が贈られた。新司祭は「司祭は奉仕者だ」と思う。病気の人や弱い人々のために働きたい。自分も弱いので自信はないが、キリストがいつもわたしと一緒に働いてくださると信じる。わたしに続く神学生のために祈って下さい」とお礼の言葉を述べた。司祭は「司祭は奉仕者だ」と思う。病気の人や弱い人々のために働きたい。自分も弱いので自信はないが、キリストがいつもわたしと一緒に働いてくださると信じる。わたしに続く神学生のために祈って下さい」とお礼の言葉を述べた。

「人間は三位一体の神に似せて造られた。その神は、人間をよく導くために弟子たちを集めた。『仲間』として。かれらは特別な才能をもっていた

の陳氏は、太平洋戦争中に大日本帝国陸軍台湾特別志願兵として強制的に徴兵され、東ティモールの台湾歩兵第二聯隊第三機関銃中隊に所属していた人である。

かれの書いた小説「獄女犯」などで、東ティモールで四万人もの現地人を殺害した日本人の現行状は、台湾の人とはよく知っているが、日本人であるわたしの方が、長年、かえって無知だったと知る。東ティモールのにもいた現地人の日本軍の従軍慰安婦など、まだまだ多くの真実が霧に覆われ、野ざらしにされたままになっている。すでに国連でさえ、



いま、わたしの心はおなじ人間として、南緯十度の島に風もないのにしきりに騒ぐ。(黒崎教会)

時の話題

秋吉 久紀夫

ジャカルタ十月九日発「東ティモールで銃撃戦」。こんな見出しのほんの小さな記事が朝刊の片隅にひっそりと出ていた。注意して読むと、三日夜、フリテリン(東ティモール独立革命戦線)とインドネシア国軍とが討ちあい、フリテリン側が二人死亡した。場所はティモールの東方約百kmにあるパウカワという町だった。

オーストラリアの北西に位置する四国ほどの面積で、人口は六十五万前後、作物は

いま東ティモールでは

ティモールの東方約百kmにあるパウカワという町だった。

いま、わたしの心はおなじ人間として、南緯十度の島に風もないのにしきりに騒ぐ。(黒崎教会)

小神学校生募集

小神学校入学を希望する者は、下記の条件が必要ですが、主任司祭と相談の上、福岡小神学校(〒810 福岡市中央区浄水通38 TEL092-531-6821)までご連絡ください。

- 〔入学条件〕
- ①司祭職を希望する信者の男子(中・高生)
 - ②主任司祭の推薦が必要
- ※途中編入も可
詳しくはお問い合わせください。

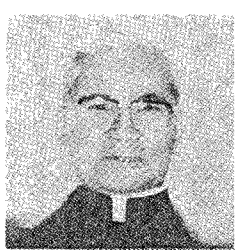
福岡小神学校
校長 松井 忠之

各ブロックで 成人式ミサ

教区報一月号、「教区長メッセージ」の「一、自分の家庭を大切に」の十一行目の「子」は「父」の誤りでした。「子」は「父」の誤りでした。「子」は「父」の誤りでした。「子」は「父」の誤りでした。

福岡教区では、一月に福岡・北九州・筑後・熊本の四ブロックで成人式ミサが捧げられ、祝賀会が行われた。福岡ブロック成人式ミサで、松永久次郎司教は、「人は本来、神の子、親の子である。成人式は、この基本的立場を自覚させ、宗教の務め、親孝行の務めを責任と喜びをもって果たすよう促すものである」と語った。他のブロックでは青少年担当司祭と司祭団がミサを司式し、関係者と共に祈り合った。(関連二面)

ヨセフ牧山 藤房師帰天



一月二日、福岡市内の川浪病院で、慢性腎不全のため帰天。享年七十五歳。一九一七年に佐賀県馬渡島に生まれ、四五年に浄水通教会で司祭叙階。空襲のため式が何度か中断したという。天神町、手取、今村、崎津(主任)、大名町、野島、久留米、田川、西新、直方教会の主任司祭を歴任。小神学校講師、幼稚園長、久留米の聖テレジア・ド・レスメーカールの院長も務めた。八五年から司教館付き司祭となつたが、入退院を繰り返した。晩年は病氣との闘いであった。

一月三日に通夜、翌四日に葬儀と告別式がカテドラルでしめやかに執り行われた。写真。福岡教区では、この二年間に五人の司祭を失ったことになり、故人の遺志を継ぐ後輩の誕生が望まれる。主の道を歩まれた司祭に永遠の安息を。



私たちは、幼くしてイエス様に出会いました。また、ある人はもつと年月を経てイエス様に従っていくことを決意されました。そして宝を頂きました。その頂いた宝を大切に保ち、磨きをかけて欲しいと思うのです。私たちが榮譽に思うイエス様は、おん父から頂いたものをこの世で十分に磨きあげられました。ついにはそのすべて、自分自身をも与えてくださいました。それは「愛」のためでした。イエス様を信じる者は、その愛を受けています。しかし、時として偽りの愛に変えたり、自分だけの愛になつたりして、本来の姿(他者を大切にすること)から少々離れてしまっています。本来の愛は、自分だけにとどまらず、他者に向かうものです。たとえ、自分が傷つき汚れても、相手に渡す時は美しいものになるのです。そのような愛を常に「心のポケット」に入れて歩きたいのです。皆さんは、人にあげられる愛を自分のポケットにいくつか持っていますか。神に対するもの、隣人に対するもの。そして磨いていますか。人に喜ばれるために。神と人へあげられる愛が多ければ多いほど、私たちは、神の子らとして成長します。感謝、礼拝、悔い改めなどの神への愛。寛容、誠意、忍耐、希望、情け、励まし、救いなど隣人への愛。イエス様はいわれます。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」「隣人を自分のように愛しなさい。」(マタイ22・37-40)▼私たちに、神の似姿として頂いたものもありま。知恵、思い、魂です。それらを神と人への愛のために正しく用いる時、神の子としての自分を表すことができるのです。【S】

神の子の成長

ブロック成人式ミサ

教区の四つのブロックで新成人を祝うミサと祝賀会が催された。ミサでは担当司祭をはじめ、ブロック内の司祭団が司式し、関係者と共に祈った。

やりましょう！
魅力を集めて！

（成人式・メッセージ）

成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。私も数年前そうでしたが、皆さんも成人としての抱負を求められ、「責任あるひとりの人間として生きたい」なんて、挨拶をされたことでしょうか。

さて、教会では青年の教会離れのことによく叫ばれます。その原因として言われることは、教会に青年を引きつける魅力がないということでしょう。それは当然のことです。青年を引きつけるべく青年が教会にいないという現状だからです。「教会」とは建物ではありませんし、そこに司祭もありません。そこに集まる人たちが、キリストを中心として集う共同体、それが教会なのです。その教会に魅力がない、それはつまり皆さんに魅力がないということになるのです。しかし、私はそうは思いません。皆さんはそれぞれに魅力を持っていると思います。

今、日本の教会はNICEという動きを通してその魅力を求めています。「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16・15）というキリストから受けた使命を生かすために、教会の動き、それは皆さんの動きでもあるのです。教会の動き、それは皆さんの問題でもあるのです。それは皆さんも教会だからです。皆さん、やりましょう！皆さんの持っている魅力を集めて、魅力ある教会づくり

北九州ブロック

青少年担当司祭
代表・大水幸一神父

十五日、時折ふりしめる雪の中、小倉教会で、司祭に叙階されたばかりの中村信哉神父を迎え、今年のはじめに北九州ブロック合同成人式が行われた。



▲北九ブロック



福岡ブロック



▼筑後ブロック

わたしたちの懸命な呼びかけにもかかわらず、新成人は七人だけであった。少々寂しい感もあったが、家庭的な雰囲気の中で、プログラムの進行で行った。ミサ中の説教で新司祭は、今からの教会を背負っていく若者たちを激励し、「教会の中であなたたちのタレントを生かし、あなたたちだけが出来ること、求められていることを探し、それを実行して下さい」と結んだ。

ミサ後、一階のホールで立食パーティーが行われた。飲み物、料理の一部は、教会と信者の協力があつた。新成人には、司教とブロック青年会からプレゼントが渡された。自己紹介の後、乾杯があり、それぞれのテーブルで話が盛り上がった。途中でビンゴゲームあり、歌あり、少ないながらも楽しい一時を過ごすことが出来た。最後に担当司祭の挨拶があり、万歳三唱で宴を終えた。

田三好両神父をはじめ、新成人の先輩、後輩の姿も見られた。少ないながらも、なごやかな一時を持つことが出来た。最後は、大ビンゴ大会をし、かなりの盛り上がりを見せ幕を閉じた。

北九州ブロック合同成人式は、初めての試みであったが毎年続けていくことによって定着させることを願ひ、式典を終えた。

北九州青少年担当・M神父

福岡ブロック

一月十七日、福岡ブロック合同成人式が大名町教会で行われた。午後一時半より受付、二時より松永司教司式によるミサと新成人の祝賀式が行われた。参加者は、司祭が山川辰幸、平田敬、青木悟、山下正、中村彰の五人の司祭。そして新成人は大神学生六人と市内の各教会から八人。ブロック青年十八人。一般八人の計四十五人であった。

今回は呼びかけが足りなかったのか、参加者が少なかつたようである。新成人がこれにステップに活躍してくることを期待している。福岡ブロック青少年担当 中村 彰神父

筑後ブロック

今回で三回目となる筑後ブロック（今村・大牟田・小郡・久留米・本郷・二日市）と鳥栖教会との合同成人式が、一月十七日に盛大に執り行われた。今年は、昨年十一月二十三日に「信徒発見二十五周年記念式典」が行われた今村教会（主任司祭・中浜一男師）での成人式となった。

新成人ミサに、新成人二十五人、各教会の司祭七人、この式を準備したブロック青年約三十人。親族、一般信徒約三十人が出席し、昨年を上回る参加者で新成人を祝うことが出来た。式中、新成人一人ひとりが紹介され、司祭団より祝福を受けた。式が進むにつれて、成人としての自分磨きをかけ、キリスト者として自分の信仰を強くすることを再確認した。

ミサ後、祝賀会が催され、新成人と青年会との交流が図られた。青年会による手作りの料理で新成人をもてなし、ビンゴゲーム等を楽しみ、終始笑い声が絶えなかった。最後に、新成人に記念品が贈られ、代表者が「これから、成人としてキリスト者として進むべき道を選び、考え、良き方向へ歩んでいけたらと思います」と挨拶し、万歳三唱をもって式を終えた。

熊本ブロック
この成人式は今回が初めての企画でした。その一部を紹介したいと思います。朗

読箇所などを決めて企画してもらったおかげで、いつもにもまして印象深いものになりました。

また、ミサ後に茶話会が催され、新成人の間の交流はかりでなく、出席してくださった三十人ほどの方々との交流も深まり、当然のことながら青年会としての結束も深まってきた。とは言うものの、これは決して堅いものではなく、雰囲気は終始和やかなものでした。

その後、多くの人が一緒に二次会、三次会に繰り出して行きました。私もちやっかり付いて行きましたが、この二つの会での出会いが効力を発揮して、さらに交流も深まり、実に有意義なものになりました。今後も頑張つて続けなければと思います。

帯山教会・渡辺善太（20）

※ 熊本ブロックでは、熊本市内の教会が合同で、一月十日午後一時三十分より手取教会において、大水幸一師の司式による成人式ミサが行われた。新成人男女十人を含む多数の関係者がミサに共に与り、教会、社会の一員としての自覚と責任を新たにし、神の豊かな祝福を祈りあつた。

今、全国の教会では今年の秋に開かれる第二回福音宣教推進全国会議（ナイス2）の準備が進められている。全国会議の課題はすでに昨年の夏に発表されているが読まれたでしょうか。

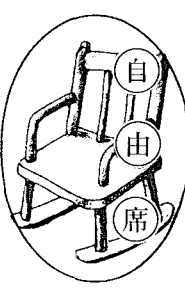
NICEキャッチ 4

準備の段階で全国の教会に共通していることは、第一回目の全国会議から引き継がれている「聴き、吸い上げ、生かす」という方針を大切にすることです。そのためにまず「分かち合い」を促進する方向で準備をしています。

各教会でいろいろな工夫がなされていますが、福岡教区では、全国会議を云々する前に

とにかく、わたしたち信者の第一の使命である「福音宣教」について考える場をもつていただくために、各小教区で「福音宣教を考える日」を設定していただくようにしています。この日にはミサの中でお祈りをしたり、説教や講演を聞いたり、分かち合いをして、「福音宣教」について考えていただきたいと思っています。

さらに、家庭における諸問題を分かち合うことが望まれます。先の「福音宣教を考える日」に小教区内の様々なグループでもよいし、何よりもまず、それぞれの家庭で家庭、家族の諸問題を分かち合っていたいだきたいと思っています。そのさい、先に発行した分かち合いの「手引き」を使っていただければ幸いです。



キリスト教講座を
終えて 熊本

今回の講座を省みて思うことは、松永司教自ら壇上に立ち、家庭とマリア様についてお話をされ、その中に一貫して見られたマリオロジ（マ

リア学）に、信徒サイドからかなりの反響があったこと、また外に向かつては、アルフォンス・デーケン神父の「生と死を考える」についての講話内容が、地元新聞に大きくとり上げられ、これが、広く一般市民に「生と死を考える」機会となったこと、等々、確かな手応えがみられた。だが、私たち執行部の心に深く残るものは、キリストの「み言葉」を自己のものとし、受講者一人ひとりに、地道に語りかけられる講師の皆さんお一人一人の姿である。

今回は、これまでの語りかけに比べると、過去四回の講座にあらず、こればかりで受洗された男女お二人の新しい信徒が、入信の動機について、赤裸々に自らを語る体験談を、七回目の講座で聴く機会に恵まれた。この感動の実話は、受講者の多くに清楚な感銘を与え、快く受け入れられたであろう。そして同時に、執行部の私たちに、次の「み言葉」の持つ意味の重さを、切実に悟らせてくれたように思う。

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるよう、に、収穫の主の願いをなさい」（マタイ9・37、38）
実行委員長・高木光行

ご会葬御礼

福岡教区司祭、故ヨセフ牧山藤房神父の教会葬に際しましてはご多忙中にもかかわらずご会葬賜り、温かいご芳志をいただき、心より御礼申し上げます。
勝手ながら香典返しとして福岡小神学校に寄贈させて頂きましたのでご諒承くださいますようお願い申し上げます。実は拝肩のうえお礼申し上げるはずのところ、略儀ながら紙面をもってお礼申し上げます。
一九九三年二月 福岡教区長 松永久次郎

小神学校基金への寄附の御礼

故ヨセフ牧山藤房神父様の香典返しとして教区長松永久次郎司教様より多額の寄附を小神学校における司祭養成のためにいただき心よりお礼申し上げます。
一九九三年二月 福岡小神学校 松井忠之

御受難修道会 福岡黙想の家

祈りの日へどうぞ！

〈日時〉 毎週火曜日 午前11時～午後3時30分
〈内容〉 ミサ・黙想・十字架の道行・晩の祈り

※ JR赤間駅南口よりバス
〒811-41 宗像市名残1056 ☎0940-32-3222 自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

＊消防設備 設計・施工
＊電気工事 保守点検
〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289
※求人 信者の方を求む！
詳しくは電話をしてください。

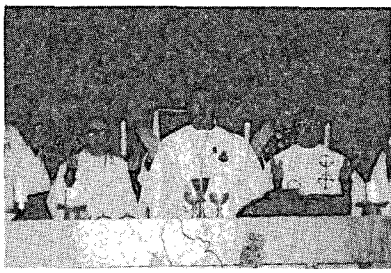
別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

ご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
福岡市中央区平和3丁目1-5

新司祭小倉教会で初ミサ

一月十五日、カテドラル大名町教会で叙階されたパウロ中村信哉司祭の初ミサが十七日午前十時から小倉教会で行われた。あいにくの雨模様だったが厳かな雰囲気の中、お祝いにかけつけたE・モーゼ師、松井忠之師、川上惣一師が共にミサを捧げ、新司祭誕生を信者一同、心から喜び合った。新司祭は、叙階



感激の初めてのミサ司式

式、初ミサに与った信者にお礼を述べ、「叙階式当日、



家庭第2回全国会議に向けて

情報過多の昨今、雑誌やビデオ、テレビが、小・中・高校生に異常な性への興味をそそらせている。学校の性教育の現場で子供たちは「カリキュラムがありきたりだ、知りたいことは別にある」と言う。子供社会には性の不安と恐怖が漂っている。

感動を伴う「生」教育を

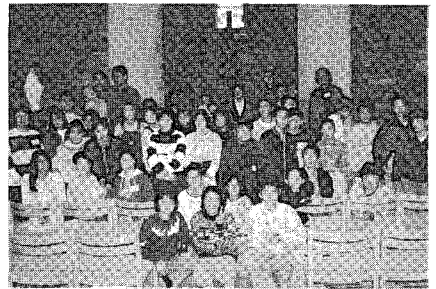
この責任は大いに大人にあると思う。文部省からは「高校生のためのエイズ予防対策」、報道では「女子高生のために、より広範囲な性の解放を方向づける」などがなされている。これで、子供たちの心が、正常に保てるであらうか。ある高校で「ONE & ONLY いのち美しきもの」のビデオを見た。「学生はいつもの性教育」と思い、興味を示さなかったが、途中から静まり返りじつと見入っ

昨日と福音朗読に四人の弟子の召命、マタイの召命の場面が用いられていました。五人とも平凡な人です。わたし自身、平凡で弱いかから司祭職に選ばれたのかも知れません。永遠の司祭であるキリストを目指して共に歩んで参りましょう」と結び、子供たちの召命を願って祝福を与えた。大神学校の深堀純氏が「兄弟のように」を、聖歌隊が「アヴェ・ヴェルム・コルプス」を、教会学校の子供たちが元気な歌をそれぞれプレゼントした。

両親の愛にふれた

昨年十二月十一日から十三日まで、教区の青少年委員会と信仰教育委員会の主催の「中・高校生出会いの旅」という集いが熱心の家（宗像市）で行われた。

この集いは、MEを体験した司祭や夫婦を中心に、人生の中で最も成長の著しい中学生、高校生時代の子供とその家族との新たな出会いを願って開かれたプログラムである。今回は、「一・三年前からこの集いを行っている大分教区と鹿児島教区の司祭三人、信徒一人、中・高生のリーダー九人の指導を得て行われた。また、開催を前に松永久次郎司教は「中・高校生は、大切な時代にあるが受験戦争のただ中にあるためこの家庭で



も教会でも彼らの正しい精神教育、信仰教育について苦慮していると思う。この様な集いが成功することを願っています。

ます」とスタッフに激励の言葉をかけられた。福岡地区、北九州地区、筑後地区から小神学生や女子修道会の志願者などを含む二十九人が参加した。

問題の子どもは問題の親から

昨年十二月六日、熊本信愛女学院で教区修道女連盟主催の地区集会が開かれた。対象は熊本地区の修道女。「家庭の現実を知り、共感と理解をもつ」のがその目的。この研修会は第二回福音宣教推進全国会議の準備の一環として同連盟が熊本地区で初めて計画したもの。十一の修道院から約六十人のシスターが参加した。

講師は高木義明師（熊本SDA教会牧師）。高木師は「家族のコミュニケーション」と題した講演の中で、子どもや青少年の問題行動の原因の分析、親と子の関わり、親としてのあり方に鋭いメスを入れた。たとえば、表面化した問題のみを見るのではなく、「問題を通して私を見てくさい」との子どもの叫びに耳を傾け、共感する。子どもが自分で問題の解決策を見つけ

幼稚園のできごと

昭和三十五年、武雄温泉駅の前で市内南側を一望に見渡せる風光明媚な小高い山の中に、ガッツルディ神父様が教会・幼稚園を創設。その年は三十五人の園児で始められました。

マダリン神父様の代になると園児も年ごとに増え、昭和五十年頃には二百人を越し、園舎の改築、増設、教会の移動は大変な作業でした。教会内部は日本でも珍しい畳敷きで、信者の方々にも親しみやすい感じがいたします。

毎年四月に入園した子供たちが、一日一日と成長し、カトリック精神を身につけ、祈る心を育む姿は、目をみはるものがあります。卒園する三

元主任・田代和子

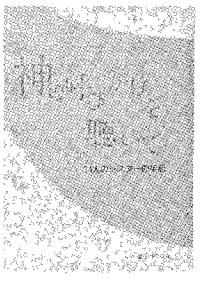
るように、親は信頼関係の中で受容に徹していくことなどが指摘された。また、「問題の子どもは、問題の親によって作られる」との言葉は、修道女たちへの警鐘ともなり、深い反省が呼び覚まされた。「いのちと性」「家庭の問題を探る」というテーマでの信徒の体験発表もあった。「シスターたちは信徒にショックを与えてください。そして、信徒からもショックを受けてください」との発表者の最後の言葉は、特別の余韻を修道女たちに残すものとなった。

償いの日を聖なる日に

すべてのキリスト信者は、主イエスの十字架での救いの犠牲によって救われたことを思い、感謝と償いの意味で毎金曜日を「償いの日」として過ごします。肉食を控える小斎は、年中の毎金曜日と灰



★神の呼びかけを聴いて—14人のシスターの手記—



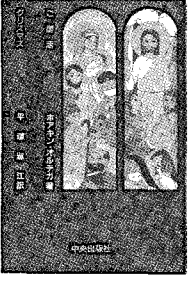
「すべてを捨てて私に従いなさい」として「全世界に行って、すべての人に福音を宣べ伝えなさい」との主の招きにこたえた人たちが。いったい何が起り、何がそうさせたのか。神のなさり方、そのふしぎな業をたたえたくなる本。—「一読ください。」—

「神のはからいはいかぎりなく生涯わたしはその中に生きる」（詩編・一二九）

女子パウロ 一〇〇円

★わき役たちのひとりごと

ホヤキン・オルテガ著 平塚 淑江訳



わき役とは、主役のキリストの回りにいる登場人物のことです。「ひとりごと」、他の人に聞かれたら、ちよっぴり恥ずかしい、ないしょ話。ホヤキン。人の本心があらわれる「ひとりごと」です。特にクリスマス、ご復活のわき役たちの「ひとりごと」に主眼を置き、軽いテンポで読める温かいホヤキンの話。中央出版社 八五〇円

パウロ書院は水曜日が定休日です

祭壇・洗礼盤他
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

吉田設計 株式会社
建築設計/企画・設計・監理
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田 豊博

ジャパン建築 株式会社
不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800
代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

会合と催し

2・3月の行事

※ゴチックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

2月
7日 教皇文書研究会・毎水曜日
☆大名町・大楠・健軍教会
11日 信徒研修会(横川和夫氏講演)
北九州信徒協研修会
教区修女連研修会
☆飯塚・古賀・茶山教会
司祭評議会・顧問会
☆小郡・帯山教会
24日 灰の水曜日・四旬節(大斎・小斎)
26日 今村信徒発見記念日
☆佐賀・伊万里教会
3月
6日 全国会議準備委員会
☆糸島・健軍教会
7日 教区信徒協役員会
☆西新・玉名教会
15日 宣教奉仕者・教会奉仕者選任式
19日 松永司教霊名祝日
26日 ☆豊津巡回教会

【福音宣教を考える日】

【決定分】(*1月13日現在)

新田原・小倉・笹丘・門司・唐津
浄水通・湯川・健軍・大楠・飯塚
久留米・古賀・茶山・小郡・帯山
大名町・佐賀・糸島・西新・玉名
伊万里・行橋・豊津・高宮・多久
八王寺・美野島・大牟田・武雄

第1回カトリック愛と性を考える研修会

テーマ: キリスト者としての愛と性について
一心を置き忘れた現代社会の中で
講師: 横川和夫氏

(共同通信社論説兼編集委員)

第1回日本ポルタージュ大賞受賞

著書: 「荒廃のカルテ」

「かげろうの家族」ほか

日時: 2月11日(木) 10:00~16:00

会場: カテドラルセンター

主催: 福岡教区 信仰教育委員会
家庭委員会

問合先: 福岡市南区皿山4-14-27

カトリックファミリーセンター

TEL 092-541-6207

FAX 092-552-5022

1993年度第2回結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター
1F講堂

日程 4月15日・17日・22日・24日・25日
5月6日・8日・13日

申込み カトリックファミリーセンター

問合先 TEL 092-541-6207

FAX 092-552-5022

【熊本会場】 手取カトリック教会

信徒会館2Fホール

日程 4月12日・14日・19日・21日・26日
28日

5月10日・12日

申込み 手取カトリック教会

問合先 TEL 096-352-3030

*いずれも 毎回午後7:00~9:20

東京日記

カトリック新聞社で仕事を
させていた。去年の十一月に竣工した「日本
カトリック会館」の五階に
あります。この新会館は東
京都江東区潮見というところ
にあって八階建てという
立派なビルディングのよう
です。毎日の通勤に要する時
間が約一時間二十分。どう
してもっと近くに住まない
のか。理由は一つ。通勤の
風景を楽しめる余裕がまだ

あるから。月曜日から土曜日まで、
せつせと働き、やっと巡って
来る日曜日の休息。この日に
ゆっくり休むことができない
ればとても残念に思います。
日曜日をどう過ごすかとい
うことが信者にとって大きな
課題であることをしみじみ思
います。「たまの休みだから

をどうしたらいいのだろう。
今のところあまりいいアイデ
アはない。だから皆さ
んに教えていただきたいと願
うのです。それと、今一番感
じていることの二つは、自分
と違う考え方を理解し、受け
入れること、そのよう

な考え方をしている人を受
け入れることができたならど
んなにすばらしいことだろ
うか。ということ。論争す
ることには大いに賛成なの
ですが、考え方の違う人を
非難、罵倒し、ついには相
手の人格、品位を疑い、存
在そのものを否定したりで
きるほどに私たちが偉いの
だろうかと思うのです。

人間の考えにノーマルと言
われる神様も人間の存在に
ノーマルと言われないです。
神様のやさしさを、イエス
様のやさしさを身にしみて
思う今日この頃です。
電車の中でやすらかに
眠っている人々をみつめ
ながら、神様のことを少し
だけ考えてみました。
カトリック新聞社
渡辺隆義神父



声
「分かれ合いの
手引き」から

今年秋に長崎で開かれる福
音宣教推進全国会議の準備と
して、福岡教区内の小教区や
各家庭で「分かれ合い」をす
ることが勧められているが、
分かれ合いの「手引き」に付
いているハガキが準備委員会
に届いているので、本紙を借
りて紹介したい。
(全国会議準備委員会)
今度こそ主人もいっしょに

テレビのスイッチを勇気をも
って消し、大学二年生と短
大一年生の娘、高校二年生の
息子とわたしで分かれ合いを
しました。主人(未洗者)は
留守をしていました。
各々の問題をお互いが知り
合ったのですが、子どもたち
が深刻に思い悩んでいること
を知りました。また、相手の
悩みに対してやさしく、子
どもたちなりに自分の

2月命日の司祭
*フランソワ・ペルトラン師
(パリ外国宣教会)
一九四〇年二月二十二日
元門司港教会主任
*ジョセフ・ボア師
(パリ外国宣教会)
一九五七年二月十七日
元黒崎教会主任
*ジョン・オマラ師
(聖コロンバン会)

聖地巡礼

福岡発着20日間

40名様募集中!

★イスラエル ★シナイ山・エジプト ★ローマ・アッシジ ★パリ・ルルド
1993年5月15日(土)~6月3日(木) 旅行代金 648,000円
引率: 松永司教様
企画: カトリック福岡教区
お問い合わせ: ☎0120-4891-81 (フリーダイヤル) 近畿日本ツーリスト長崎支店
※申込書は司教館にあります

一九七四年二月十四日
元荒尾教会主任
*フランソワ・ドルエ師
(パリ外国宣教会)
一九八三年二月二十六日
元八王寺教会主任
*ガストン・オーブリ師
(聖スルピス会)
一九八五年二月二十六日
元大神学院院長
*パウロ・糸永武男師
一九九二年二月二十三日
元今村教会助任

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-24

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転
を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害
保険、保育園、幼稚園児を守る、企
業賠償保険

〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤木 鐵三

福岡支店長 小田 正人

久しぶりに友の若い顔を見て胸がおどった。食べに行こうということになり、中華料理店に入った。親子連れや友達同士でこつたがえしていた。油料理のせいか、話してもかん高い。我々もおいしくいただいていた。突然、屏風を隔てて座っていた三人の老人の大きな声が耳をつんざいた。「キリスト教の葬式はおかしい。なんせ死んで天国に行くんで、めでたいと言わなきゃから。涙も流せん。あの十字架も飾りもんたい。あんなもん、よう拝むもんじゃ。変な宗教じゃのう」「そう、急に食べたい、そうしたい」といふ物が始まった。胸がむかつかうのである。友と顔を会わせ、その場を立った。帰りに際、「あなたたち、キリスト教を避難したらいかんですよ」と怒りを抑えて一言。そして、「それはこつちのこと」といふ。あなたたちには関係なか」との返答。大声をはなかりあげてけんかするわけにもいかず、黙ってさよなら。車の中で、「ああやって陰で悪口をいってるんやね」「本当の話はして解らせてやればよかったのに」などと反省ばかり。キリスト教の葬式は宣教になると思い、悲しみの中にも誇りをもつてする我々であるが、その実、参列者にはどう映っているのだろうか。もちろん「キリスト教のか。もちろん「キリスト教の葬式はいいね」と言う人も多いと聞くが▼教会の言わんとすることと未信者が考えることとがどう違うのか。違う時にどう対処できるのか。真剣に考えなければ。あなたはあなただけ、わたしはわたしで事がなされた、わたしはわたしで済ませられるだろうか。「だけれども人々の前で自分をわたしの仲間であると言ひ表す者は、わたしも天の父の前でその人をわたしの仲間であると言ひ表す」(マタイ10:32)「S

四旬節教書

司祭の召し出し

十 聖父と聖子と聖霊の御名によって。アーメン。

一九九三年の四旬節にあたり、この聖なる季節をふさわしく過ごすことができるようにとの祈りをこめて、福岡教区の皆様に、心からの御挨拶を申し上げます。

また、キリストの御復活を待ち望み、そのために備えるよう努めるこのとき、司祭の召し出しについて御一緒に考えてみたいと思います。

一、神の民は祭司的民

神の民、キリストの教会にとって、司祭は必要です。そして、司祭の存在はキリストの教会の基本的性質の一つです。このことをわたしたちはいつも、充分理解し、心に留めておくべきだと思います。

教会憲章・第二章(九)に、「どの時代においても、どの民族においても、神をおそれ正義を行う人はすべて、神に受け入れられる。しかし、神は人々を個別的に、全く相互の連絡なしに聖化し救うのではなく、かれらを、真理に基づいて神を認め忠実に神に仕える一つの民として確立することを望まれた」と、教えられていますが、キリストによる救いは実に、人間仲間の交わりの中で実現されます。三位一体の神のみ心による救いの働きは、三位一体の神のかたどりとして創造された人間のために、人間仲間の中で、人間相互の奉仕を伴って、全うされるのです。これが神のお望みでした。そしてこのことは、わたしたち人間にとっても、美しく相応しいことなのであります。

そのために、救い主キリストは民の中から司祭を選んで、御自分の救いのみ業に与らせることを望まれました。ヘブライ人への手紙(五、一)に、「大祭司はすべて人間の中から選ばれ、人々のために神に仕える職に任命される」とありますが、教会の中で、今日も同じお恵みの働きが続けられているのであります。

神の民は大祭司キリストの民です。祭司的民です。祭司的務めを行う民、すなわち神を認め神に仕える民です。そして、キリストの唯一の祭司職に与る司祭を持つことは、キリストの教会の特徴なのであります。

二、召し出しのお恵み

マルコ福音書に次のような言葉が記されています(二、三、一三―一五)。

「イエスが山に登って、これと思う人々を呼び寄せられると、彼らはそばに集まって来た。そこで、十二人を任命し、使徒と名付けられた。彼らを自分のそばに置くため、また、派遣して宣教させ、悪霊を追い出す権能を持たせるためであった。」

福音書のこの記事は、召し出しのお恵みについて多くのことを教えていると思います。

(イ) イエスは「これと思う人々」呼ばれました。イエスは「お望みの人」を招かれました。実に、召し出しは神の選びのお恵みなのであります。

あの人たちの能力、学問などをイエスは当然、御存じだったでしょう。しかし、そのことについては何も書かれていません。余り重大視されなかったからでしょう。性格とか、人望とかについて、また聖徳についてさえも、特別に考慮されていないかのようです。弟子たちの不足・欠点が後で、厳しく指摘されました。また、本人の希望でさえ、必ずしも受け入れられるとは限りません。「悪霊に取りつかれていた人が、一緒にいきたいと願ったとき、イエスはそれを許さないでこう言われた。『自分の家に帰らなさい。そして、主があなたにしてくださったことを、知らせなさい』とあります(マルコ五、一八―一九)。

召し出し、それは神の秘密です。神の愛の秘密です。だれも召し出しのお恵みを受ける権利はありません。感謝していただくだけです。召し出しのお恵みをいただいて、だれもそれを自分の誇りとすることはできません。無償のお恵みだからです。他の人の場合と比べて優越感に浸ることも許されません。召し出しは神の愛の尊い形であって、自分にとって最高のものですが、他の人にも一つのお恵みの形が有り得るからです。

(ロ) 呼ばれた人達は「そばに集まって」来ました。召し出しのお恵みが実るためには、本人の応答が必要なのであります。四つの福音書は揃って、イエスの公生活の初期に、弟子たちの召し出しの場面を書いています。召された彼らが「すぐに従った」と言うのが(マルコ一、一八・マタイ四、一二)、その第一の特徴だったと言えます。

そして彼らは「網を捨てて」、「舟と父親を残して」(マタイ四、二〇―二二参照)、また、「何もかも捨てて」(ルカ五、二八)、イエスの後について行つたのでした。イエスに従うためには、この世のものをすべて捨てなければならぬのです。「どんな召し使ひも二人の主人に仕えることはできない」(ルカ一六、一三)からです。

イエスのお招きに直ちに応えなかった人もいました。あるとき、イエスは、自分に寄り添って来た金持ちの青年を見つめ、慈しんで、「行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。…それから、わたしたちに従いなさい。」と言われたことがあります。しかし、「その人はこの言葉に心を落し、悲しみながら立ち去った。たぐさんの財産を持っていたからである」と、記されています(マルコ一〇、一七―二二・マタイ一九、一六―二二・ルカ一八、一八―二三参照)。わたしたちは、あの青年のように、金持ちでもなく、あの人のように善良な生活を送った人でもないかも知れませんが、もしキリストのお召しを受けたなら、喜んで応えなければならぬと思います。

キリストの弟子になるためには、明確な決断をもって、すべての物を捨て、地上の諸関係を断ち切って、キリストについて行かねばならないのです。全面的に、全生涯をかけてキリストの弟子になりきる心構えを持たねばならないのであります。

(ハ) イエスは弟子たちを、「自分のそばに置くため」(そして宣教の場)に派遣するために、招かれたのでした。

それで、弟子たちはまず、キリストと強く結び合います。いつもキリストのそばに生きる者、キリストと運命を共にする者、キリストが飲む杯を飲み、キリストが受ける洗礼を受ける者となります(マルコ一〇、三九参照)。そして、もしキリストと共に死ぬのなら、キリストと共に生きることにもなるのです(ローマ六、五参照)。

弟子たちはまた、キリストの使命のためにキリストから遠くへ派遣されます。この場合、物理的にはキリストから離れるかに見えますが、キリストの働きの推進者となりますので、キリストに深く結ばれている、キリストに留まっていると言うことができるのです。

つまり、弟子たちはキリストと結ばれて一体となり、キリストと働きを共にする者となるのです。そして、今日のキリストの教会の司祭たちも、弟子たちが受けたこのような召し出しのお恵みに、深い意味で与っているのであります。

三、召し出しは神の民の捧げもの

司祭の召し出しは、神の愛の選びであり、本人の応答で実りに向かうものであることを申しました。確かにそうです。しかしそれは同時に、神の民の捧げものとも言えることができます。神の民は祭司的民です。神との交わりを求め、神の国の建設を希求いたします。そして、このためには大祭司キリストの祭司的働きに与ることが必要であり、また、キリストの祭司職に与る数多くの司祭を持つことが必要です。こうして、神の民はその特色として、司祭が与えられることを期待する存在となります。神の民は、自分のメンバーに神の選びが与えられるよう願うとともに、もしそのお恵みが与えられたらそれを受け入れる準備を整えておかねばなりません。このような土壌に神のお恵みの種が蒔かれ、このような土壌の中で、召し出しのお恵みは育ち、実を結ぶのです。

そこで、一人の司祭を育てるということはキリスト信者の家族にとっても、お恵みの印であるとともに、自分たちの信仰の証しにもなります。一人の司祭を神の教会にお捧げしたときはじめて、真のキリスト信者家族として成熟したときと言えるのです。また、新しい司祭が数多く誕生すると言うことは、その司祭たちが生き生きと働いていると言うことは、神の民全体の信仰生活の活力の印でもあります。

ところで、司祭は尊い務めに召されていますが、弱い人間性を持ち続けています。「大祭司は、自分自身も弱さを身にとっているのです。…その弱さのゆえに、民のためだけでなく、自分自身のためにも、罪の贖いのために供え物を献げなければならぬ」と聖書に書かれてあります(ヘブライ五、一二)。神の民は自分たちの司祭たちのために、神に祈る尊い務めを持っていることを自覚してほしいと思います。

また、司祭養成のために、相当多額の神学校経費が必要です。そしてまた、司祭たちの品位ある生活と活動のための浄財も求められます。この点においても、教区の信者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

(今回は司祭のことに限ってお話ししましたが、奉獻生活・修道生活に召された方々の場合もこれとよく似ています。修道生活についても信者の皆様の御理解、御支援をお願いいたします。)

結び

日本の潜伏時代のクリスチャンたちは、七代の長きに亘って司祭を待ち続けました。そして、この「司祭を待つ心」が信仰を護つたと言われています。わたしたちもこのような純粋な信仰を持ちたいものと思います。

また、今年の福岡教区の年間モットーは、「家庭で生きるキリストのこころ」です。ところで、キリストのこころは神の子のこころ、救い主のこころです。司祭のこころです。神の子の深い安らぎのこころをわたしたちも培い、人々の真の幸せのためにわたしたちも奉仕して救い主のこころを実践することができよう、努めたいものです。また、キリストのこころを生きた司祭が多く与えられるように、そして彼らの導きのもと、わたしたちがキリストのこころをよりよく生きることができるよう、心を合わせてお祈りいたしましょう。

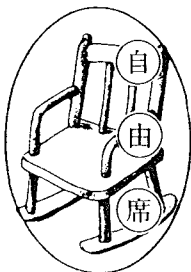
このような願いを込めて、またキリスト御復活のお恵みがすべての方々に豊かに与えられるよう祈念しながら、あらためて全能の父なる神の祝福をお祈りいたします。

一九九三年二月

カトリック福岡教区

教区長 ヨセフ

松永久次郎



心の中の鬼退治

♪鬼は外福は内。パラパラ豆の音。鬼はこっそり逃げていく。二月三日は節分。私の勤めるTカトリック幼稚園での豆まき大会は、子供たちが楽しみにしている年中行事の一つとなっています。

節分とは立春の前日のこと。古くは、立春を一年の始めとしたため、節分は大晦日としての性格をもっており、災厄を防ぐための呪術的な行事が行われていたらしいです。また、室町時代以降は中国から伝来した「悪鬼払い」の行事と結びつき、鬼打豆をまいて鬼を追い払う行事が広まったらしいです。

節分が近づくと子供たちは豆まきの歌を歌い、鬼の面や角箱を制作したりして行事を迎えるための準備をしています。しかし、幼稚園では目に見る準備だけでなく、心の準備も大切にしています。

子供たち自身に心の中の鬼を退治しようと思えます。わがまま・がまんできない・争いの心には悪い鬼がいっぱいいます。そんな鬼を追い出して、きれいな心になるようにと伝えます。園庭を元気に駆けまわった子供たちは教室に入り、折紙で作った角箱に豆を分けてもらい皆で食べます。豆まきの興奮はなかなかさめない様子です。その日のお土産として豆と鬼のお面を持ち帰る子供たち。それぞれの家庭では、きつと幼稚園での豆まき大会の話題がでることでしょう。

子供たち自身が自分の心の中に住んでいる鬼に気づき、「心の鬼退治」をするために心を強めていけたらと思います。鳥栖教会・城野敏美

'93 四旬節をあなたと…

- ① 3/6 (土) ~ 7 (日) <イエス様の栄光> ガブリエル神父
- ② 13 (土) ~ 14 (日) <イエス様との親しさ> マテオ神父
- ③ 27 (土) ~ 28 (日) <イエス・キリストは主である> 鈴木神父
- ④ 4/3 (土) ~ 4 (日) <希望のうちに主の受難を生きる> 畠 神父
- ⑤ 8 (木) ~ 11 (日) 聖なる過越の三日間の黙想

申込み・問合せ

〒811-41 宗像市名残1056

福岡黙想の家

☎ 0940-32-3222

※JR赤間駅南口よりバス

自由ヶ丘南2丁目 下車

有限会社 共立総合防災

- * 消防設備 設計・施工
- * 電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33

代表取締役 ヨハネ 土本政実

☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※求人 信者の方を求むノ

詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

ご葬儀

木下株式会社

T E L 092-526-5656

福岡市中央区平和3丁目1-5

TEL 096-352-2417

会合と催し

3・4月の行事

※ゴシックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

3月
6日 全国会議準備委員会
7日 ☆糸島・健軍・本郷
14日 教会学校リーダー研修
(熊本・手取教会)
教区信徒協議員会
☆玉名・西新・二日市
15日 教会奉仕者選任式(大神学院)
19日 松永司教霊名祝日
27日 ☆豊津巡回教会
28日 ☆行橋・武雄教会
29日 オブレイト会司祭叙階式(古賀教会)

4月
4日 ☆八王寺教会
8日 ☆聖香油ミサ(大名町)
18日 ☆天神町教会
20日 教区顧問会
25日 ☆光丘・直方教会
28日 教区青年大会
(新田原教会)

福岡黙想の家

6日 御受難会主催黙想会(ガブリエル神父指導)
8日 御受難会共同の集い
13日 熊本青年のための黙想会(森山神父指導)
・御受難会主催黙想会(マテオ神父指導)
16日 泰星・新卒業生希望者黙想会
19日 九州地区祈りの集い
24日 25日 久留米信愛職員研修
27日 28日 御受難会主催黙想会(鈴木神父指導)
28日 オブレイト会黙想

【福音宣教を考える日】

〔決定分〕新田原・小倉・箕丘・門司
浄水通・湯川・健軍・唐津・大名町
久留米・古賀・大楠・茶山・八王寺
伊万里・小郡・帯山・佐賀・美野島
二日市・糸島・西新・玉名・大牟田
行橋・豊津・高宮・多久・武雄・本郷
・大江・八代・鹿島・光丘・直方
手取・戸畑・飯塚・天神町

子供の信仰教育の集い(ご案内)

日時 3月14日(日)10:00~16:00
場所 カトリック手取教会
信徒会館2Fホール
目的 子供の信仰教育の大切さを考える
講師 熊本信愛女学院 校長 Sr. 田川
対象 教会学校の保護者及びリーダー
参加費 1,000円(昼食を含む)
申込締切 3月6日(日)
申込問合先 熊本市新大江3-19-10
カトリック山手教会
大木 幸一神父
TEL・FAX 096-382-9413

黙想会のご案内

テーマ 過越の神秘と諸宗教対話
指導 日 時 3月19日16時~21日14時 2泊3日
ご都合悪い方は20日~21日 1泊2日
費用 2泊3日 10,000円
1泊2日 5,000円
問合先 東西宗教交流センター
カトリック別院 ☎ 0968-85-3100

1993年度第2回結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター
1F講堂
日程 4月15日・17日・22日・24日・25日
5月6日・8日・13日
申込み カトリックファミリーセンター
問合先 TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】 カトリック手取教会

信徒会館2Fホール
日程 4月12日・14日・19日・21日
26日・28日
5月10日・12日
申込み カトリック手取教会
問合先 TEL 096-352-3030
*いずれも毎回午後7:00~9:20

福岡教区第32回クルシヨ案内

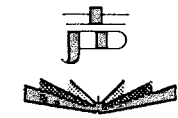
日時 5月2日(日)午後7時~5日(水)午後4時
場所 福岡黙想の家
参加費 12,000円(宿泊・食事・用品代として
当日受付)
携行品 ロザリオ・着替・寝巻き・洗面用具
(連絡先) 福岡教区クルシヨ事務局
〒813 福岡市東区舞松原5-23-9
大谷 真造
TEL(092)661-0120

♪すてきなファミリーコンサート♪

日時 3月14日(日)ミサ後(11:00より)
場所 カトリック大楠教会聖堂
=入場無料=
日曜日ミサ終了後引き続き聖堂において、
ピアノ・バイオリン・フルート独奏、及び
合唱・独唱など、それぞれ持ちまへの、のどと腕を披露いたします。
皆様の御来場をお待ちしています。
(コンサート終了後、茶話会)
鶴野泰年神父

ご案内

3月28日(日) 14:00~16:00
講演 『米国ホスピスでの生と死』
と分かち合い
講師 井田栄一(医師)
イエズスの聖心病院
<特別許可老人病院>
場所 カテドラルセンター
4階会議室(エレベーター有)
会費 500円
問合せ (092)713-8523【大山】



NICE2の
「分かち合いの
手引き」から

離婚した人との関わり

近所のカトリックの奥さんが離婚したいという話を聞き、私たちはただ祈ることしかできずしてしまつた。その夫婦は別れてからの問題がたいへんと思います。教会も離婚は出来ないというだけでなく、やむなく離婚しなければならぬ場合、どのように対処したら良いのかを信者にも教えておく必要があるのではないかと思います。
離婚した人たちが教会を離れて行く場合、救いの道はないのでしょうか。
私たち一人ひとりが、この



三位一体の
聖体宣教女会

本会の創立者であるパウロ・グスマン神父は、聖霊に導かれ御父の栄光を熱烈に求めました。
本会の目的は、三位一体に栄光を帰することです。
会の起源は、サマリアの女に証されたように(ヨハネ4)、御父への礼拝者であるイエスを観想することにあり、私たちが会員は、まず

自分自身がイエスにならない、イエスのみ跡に従う生き方を通して協力者を探し、養成するという使命をいただいています。
この実現のために、創立者グスマン神父は、一人の女性エンリケタ・ロドリゲスとの摂理的な出会いを通して、一九三六年十一月二十日、メキシコ市において本会を創立しました。
一九四九年、本部メキシコより来日し、日本での宣教活動を始めました。
下関、福岡、水戸、東京へと活動の場が広がり、「小教区での宣教活動」「幼児教育」「祈りの家」などを通して、使徒職を行っています。

元荒尾教会主任
ユウゼーヌ・ジョリ師
(パリ外国宣教会)
一九六六年三月六日
元久留米教会主任
フランソワ・マリ・ウエイ
ヨシノ

(パリ外国宣教会)
一九七三年三月十二日
元唐津教会主任
ルイ・マリ・ペリボ師
(聖ドミニコ修道会)
一九七七年三月十六日
元箱崎教会主任
ルツ・ミケレ師
(ミラノ外国宣教会)
一九八七年三月二日
元鹿島教会主任
ジョージ・ベラス師
(聖コロンバン会)
一九九〇年三月十九日
元水俣教会主任

昨年暮、急なお願いをしましたが、クリスマスの心で援助いただき、カリタス・ジャパンに二二、三二六、〇〇〇円を送金できました。心からのお礼とご報告を申し上げます。
教区担当・岩永義人神父

3月命日の司祭
マキシム・ボア師
(パリ外国宣教会)
一九九〇年三月十九日
元新田原教会主任
ジェームス・ドイル師
(聖コロンバン会)
一九九二年三月二十六日

編集室から

待っていた春。田んぼでも生きものが我がもの顔で動き出す。おたまじゃくしを観察したのを思い出す。おかげで音楽は好きになった。初々しさを感じさせる季節。いつも新しい気持ちで仕事に取り組んでいきたい。今年も教区報は一番になれるだろうか。春一番の風に吹き飛ばされないうちに。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石 真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤木 鐵三

福岡支店長 小田 正人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

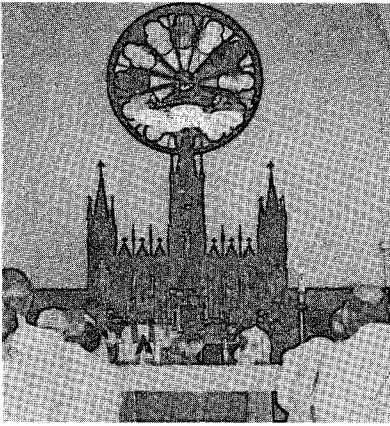
今月のみことば
古いものは過ぎ去り、
新しいものが生じた。
(IIコリント5・17)
唐津 G・カヴァーニガ神父

教区全司祭集い祝う

三月十九日、教区長ヨセフ松永久次郎司教の霊名の祝いが催された。教区で働く司教、司祭が浄水通教会にて、修道者、信徒とともに感謝のミサを捧げた。ミサ後、司教館で祝賀会が盛大に執り行われた。

ヨセフ松永久次郎司教

霊名の祝日



信者と共に神に感謝

誓った教区司祭、宣教会司祭、修道会司祭、修道者、信徒とともに感謝の祈りを捧げた。聖歌マラナタの流れる中で入堂した松永司教は、「多くの司祭、修道者、信徒とともに感謝する。」と語りかけた。

門司共同体の家庭通信は、「月間門司」で発行しているが、五年前より、皆に親しまれるように「たび」に改名し、56号を刊行するに至りました。

時の話題

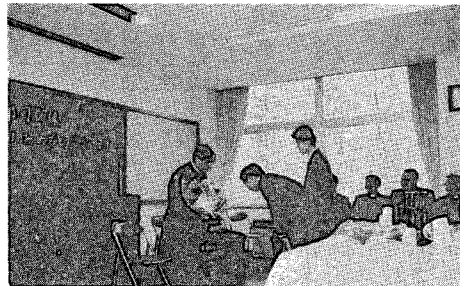
吉竹 樹人

私たちは、神より生命を受け、一人ひとりが人生の旅人として、生かされていることを思うと、この『たび』の文字を選んだことに意義深いものを感じます。

私たち共同体に、ヨセフ守山寛さん(83歳)がおられますが、長老でもあり、宝です。

『たび』の意味は

終わってお茶になると、誰かともなく『たびの話はしようや』と言い出し、笑ったり、涙をだしたりしながら『たび』の話をしたものだった。『たび』と言えば『旅行』か、何の気負いもテライもな



松永司教は福岡教区に着座して、一月で三年目を迎えた。祝賀会は、司教館で行われた。写真。この集いを感謝する。

祈りが司教館の山元真師によってなされ、教区総代理の青木保師が「聖書では、ヨセフは民の指導者であり、よき相談相手、そして守護者である。松永司教様がお元気で末永く指導してくださるよう」と祝辞を述べた。続いて、

く、タンタンと話していた姿を憶い浮べる時、当時、学問がなく、字を知らない、農民の爺ちゃん、婆ちゃん、ほんとうに偉かったナアと、今更ながら信仰の偉大さを感じ、この尊い信仰の遺産を、子孫の末まで伝えてゆかねば...と思うのであった。

このように、守山さんは考へ、毎日の祈りを続けておられます。私たちも家庭内における信仰の伝達について、悩んでいます。神の子としての自覚をもつてしっかりと信仰の喜びを伝えていかなければと思います。

(門司教会)

教区人事

異動(四月一日付)

- 司教館 松井忠之司(小神学校)
- 大名町 中村信哉司(小神学校)
- 小倉 中村彰司(大名町)
- 笹丘 ドワイヤ師(城山)
- 高宮 片岡仁志師(本原)
- 小神学校 森山信三師(小倉)
- 転動
- 北浦和 須賀澤公男師(高宮)
- 留学 梶山義夫師(泰星)
- 帰国 マカティ師(笹丘)

神から委託される

教会奉仕者誕生

―大神学校―

三月十五日、聖スルピス大神学校にて、松永久次郎司教司式による教会奉仕者選任式が執り行われた。教会奉仕者は、感謝の祭儀を頂点として集まる神の民の中で、司祭と助祭に協力する者として選ばれるのである。典礼の務めを

通して、また聖体を配ることを通して、そして愛の業を通して教会に奉仕する。写真。



松永司教は「イエス・キリストは一介の大王の子であった。しかしこのキリストの中に救いがあつた。奉仕職に選ばれた者も弱さをもつ人間である。けれど、この若者たちに信頼をもつてその奉仕職を託し、その使命に忠実であるように祈ろう。これが私たちの信仰である」と説教の中で参列者に諭した。

今回、教会奉仕者に選任されたのは福岡教区の平野植神学生を含む四人で、以下の通りである。

- 平野 植 (福岡)・川原拓也(長崎)・辻原達也(長崎)・金城風次(那覇)

(大神学校・櫻井尚明神父)

信仰の祖先を

今 記念ミサで顕彰

昨年の今村信徒発見125周年記念は、そのさまざまな場面を通して、今村・本郷両小教区の信徒に信仰の遺産の大きさを気付かせてくれた。この大きな信仰の遺産を顕彰するとともに受け継いだ信仰を鼓舞、活性化し、祖先同様に子孫へ継承するのは、今を生きる私たち信徒に外ならない。そのような意図で毎年二月二十六日信徒発見記念日には郷土出身の神父様方に交替

でミサの司式をお願いすることになりました。第一回目となる今年の記念ミサは、平田三郎司教様をお迎えし、午後七時半から、今村・本郷両教会の侍者十六人を含むおよそ四百人が参加。平田司教様、中浜一男神父様、川上惣一神父様による荘厳なミサでした。写真。



ミサ中の聖書朗読、共同祈願及び奉納は、今村・本郷両教会の信徒が分担して行いました。司教様は説教の中で両小教区が召命の苗床となるよう強く要望されました。

ミサの後、今村・本郷両教会の信徒で「今村信徒発見を記念する祈り」を唱え、感謝と熱意に満たされて帰宅の途につきました。

今村教会・久次桂二

喜びの司祭叙階

オブレート会

三月二十九日、午後二時より古賀教会にてオブレート会の新司祭が誕生した。写真。熊新司祭は、レオ川口敏師。熊本県大江教会出身。一九六〇年四月一日生。33歳。一九八四年にオブレート会に入会。高知にて修練期を過ごす。一九八六年、名古屋南山大学に入学。一九九二年に深堀敏司教(高松教区長)により助祭に叙階される。そして、三月二十九日に松永久次郎司教(福岡教区長)により司祭叙階の運びとなったのである。今後の司牧と宣教の活躍が期待される。



熊新司祭

「人の子は三日の後に復活する」(マルコ10・34)と言われた主は復活された。復活こそ私たちの希望である。レベリは違うが、スポーツ界の復活も興味をそそる。大相撲の立役者、千代の富士を忘れる人はあるまい。現役時代は1045回の通算勝ち星、31回の優勝、その他未聞の成績を打ち立てた。多くのファンの支援を得ながら好きな相撲を我が物にした。22年にわたる相撲人生。37歳の断髪式。しかし、落ち着きはらった姿はもう熟年を感じさせた。そのような大物にも数々の試練があり、涙した日々を幾度数えたらう。16回の脱ぎゅう、無念の休場、三女の死。我々と同じ苦しみを与えられたのである。しかし、彼は復活して、勝負に挑んだ。その繰り返して栄光を重ねたのである。▼さて、キリストの場合、その試練は血を流す程のものであった。ついに死に至った。しかし、キリストは誰にもまね出来ない「死から復活」されたのである。もう、苦しむことも死ぬこともない。永遠に変わらない栄光と幸福をもつておられる。これは私たちの心身ともに影響を与えているものである。私たちすべてに開くものである。それならキリストに対しては、我々に夢と希望を与えてくれた千代の富士以上の賛辞を与え、我々の思い、行いの支柱となさなければならぬ。聖体以外には見えない主であるが、世の終わりにまで共にいてくださる主をもつとよく見て、知るようになる。▼テレビには釘づけになる私たちが、聖櫃(せいぐ)の前で栄光のキリストをじっと見ようとしているだろうか。キリストは喜んで体験話をしてくださり、私たちの行くべき道も教えてくださるのに。

[S]

聖週間とともに・・・

復活を頂点とする聖なる過越の三日間を静かな祈りと
修道院の典礼の内に、ともに過ごしませんか？

4／8日（聖木曜日）	20：00～	
9日（受難の金曜日）	15：00～	
10日（聖土曜日・復活徹夜祭）	23：00～	
11日（復活祭）	11：00～	

【問合せ・申込み】〒811-41 宗像市名残1056 ☎0940-32-3222

御受難修道会・福岡黙想の家

有限会社 共立総合防災

＊消防設備 設計・施工
＊電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※求人 信者の方を求む！
詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

ご 葬 儀

木下株式会社

T E L 092-526-5656
福岡市中央区平和3丁目1-5

現代の聖者

コルベ神父さまの聲が！

二月十一日、ルルドの聖母の祝日に、サンパオリーネの集い(若い女性の祈りの集い)では、長崎巡礼の小さな心の旅をしました。



この感動をいつまでも心に

様にお会いしているような感動が伝わってまいりました。

巡礼先の教会では、福岡教区の年間テーマ「家庭で生きるキリストのこころ」を、自分のもので生かすことができようように、お互いに折り合い、よろこびに満ちた旅の恵み豊かな長崎巡礼の旅を終えました。

聖パウロ女子修道会
Sr.菊池幸江

火の国のこどもに

燃える信仰を

熊本地区リーダー研修会

中でも印象深かったのは、本河内教会のミサとルルドでのロザリオの祈り、その後、聖母の騎士の中村安五郎修道士様から、聖コルベ神父様についてのお話を伺ったことでした。

修道士様のお話を聞いてみると、私たちまでコルベ神父



家庭 第2回 全国会議 に向けて

神のみわざのふしぎ

結婚して三年目、危険な節目の一回目と言われるハードルを平和の内にクリアしようとしている時でした。ライル神父様より結婚セミナーのお手伝いをもちかけられ、弱輩の私たちは気楽な気分に参加しました。

現在の新しいスタッフに囲まれながらふと思うことは、このセミナーのおかげで、自分たちを見直しながらしつかりと歩き続けてこれたこと、それが充実した結婚二十五周年につながっているということでした。これは神様からの最高のプレゼントでした。神様は私たちを道具として使ってく

吉川信夫・京子(光丘教会)

聖霊の火を

家庭に

九州地区祈りの集い

三月十九日から二十一日まで、福岡県神志の家に、聖霊による刷新の九州地区祈りの集いが行われた。今回の目的は、ナイス2に向かって聖霊

ださっています。それは嬉しいことです。キリストの愛が静かにゆつくりと参加者の上に注がれているのが私たちに分かります。あるカップルの、感動の洗礼の場に参加させていただくとき、その喜びは最高のものとなります。先日カルメル会修道院で一組のカップルがキリストの子供として誕生しました。その側に代父・代母として付き添いながら、二人の涙を見た時、それは私たちの涙でもあると思いました。セミナーを旅立った時から、二人が厳しい山々を無事乗り越えていくことができたように、シスター方にも祈りを願いつつ、共に見守ってきた私たちでした。その彼らが不思議な力で山元真神神父様に出会い、セミナーで晴れた種が、ここにきて待ち侚っていたかのように一気に花開いたような気がします。他の多くの参加者の上にも、同じ恵みが注がれて必ず花開きますようにと祈りつつ、今後とも結婚準備セミナーのお手伝いをさせていただきたいと思っている今日この頃です。

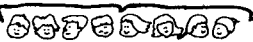
吉川信夫・京子(光丘教会)

午後のはじめ、各教会の保護者と教会学校リーダーたちの分かれ合いがありました。保護者の方からは「子供を産み育てている時が一番神様に向かいあういい時ではないでしょうか」などの話が出ていました。また、終生誓願立のためチャドより帰国されたSr.松山が、子供たちとの出会いを通して学んだいろいろな体験を話されました。そして最後に子供のためのミサをもって無事に集いを終了しました。



の豊かな実りのために心を合わせて祈ること。参加者は司祭5人と山口、広島、島根、横浜からの12人を含め、85人が会場を埋め尽くした写真。

幼稚園のできごと

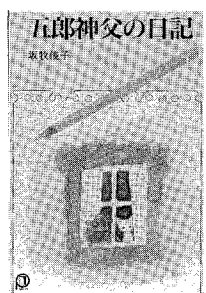


久留米聖母幼稚園
三月の声を聞き、ふと思うことがあります。それは園庭が咲き誇った花々でいっぱいになったようなそんな感じがするのです。動くそれらの花々は、いろいろな姿で、いろいろな色で、大きく小さく、自分らしく希望に満ちて咲いている花のよう

小さい子供でも、どんなに悪戯で、どんなに我がままな子供でも、意気地なく泣き虫で手こずった子供でも、又「何とも出来ないよ」と重荷を背負った子供でも、それぞれに誇らしく咲いているように見えるのは不思議なことだと思ふのです。ことに年長児の花々へは、もう手が届かなくなりました。その花々への思いはつきることがありません。

方々が園を四日間、研修訪問された時のことです。この先生方は、心臓が弱く、少し重荷をもった子供に心を魅かれたようでした。なぜなら、この子供は先生方に一日中、アンニョンハセヨと挨拶をしていったのです。先生方はこの迎えの言葉に安心し、この子供を手づるに保育室に誘われ、心と研修が出来たというのです。

「神さまはいるか?」「死後の世界は?」「真のエリートとは?」五郎神父と、彼をとりまく心優しい人々が織りなすドラマの数々。既刊「末っ子先生」でもおなじみのメンバーも登場してにぎやかに、しみじみと、日常おこるささいな出来事の中にこそ、たくさんの宝物が隠されていることを教えてくれます。

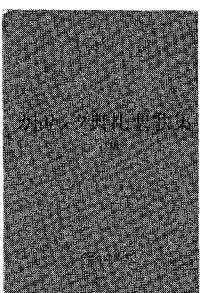


BOOK 読み専科

★五郎神父の日記

坂牧俊子著

★カトリック典礼聖歌集 典礼音楽研究会編



福岡教区第32回クルシヨ案内
日時 5月2日(日)19:00~5日(木)16:00
場所 福岡県神志の家
参加費 12,000円
(宿泊・食事・用品代として 当日受付)
携行品 ロザリオ・着替・寝巻き・洗面用具
(連絡先) 福岡教区クルシヨ事務局
〒813 福岡市東区舞松原5-23-9
大谷真造 ☎092-661-0120

本聖歌集は、かつて「合唱典礼聖歌集」I・IIの三分冊で出版されていたものを基本に、それ以降に作曲された聖歌を加えて編集したものです。愛といのちの神を探し求める者よ、みよ兄弟がきかせてください。キリストはぶどうの木、一粒の麦が地に落ちて死ねば、マラナタなど。現行の典礼聖歌集には入っていない新曲、一〇〇曲が一冊の本になりました。あれ、この歌、聖歌集に入ってなかったなあ?と思われたら一読一曲をお勧めいたします。

中央出版社 一、四〇〇円

ジャパン建築株式会社
不動産・管理・仲介・売買・建設・一般建築
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800
代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計株式会社
建築設計・企画・設計・監理
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他
石のパイオニア 高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

会合と催し

4・5月の行事

*ゴシックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

4日	☆八王寺教会
8日	☆香油ミサ(大名町)
11日	☆水巻教会献堂式
18日	☆天神町教会
20日	☆教区顧問会
25日	☆光丘・黒崎・直方
28日	☆召命のために祈る集い(大名町)
28・29日	☆教区青年大会(新田原教会)
29日	☆召命ウオーカーソン
5月	☆美野島・今村教会
9日	☆島崎教会堅信式
9日	☆多々・手取・若松
15日	☆全国会議準備委員会
16日	☆広報の日(研修会)
18日	☆戸畑教会
18日	☆福岡地区教会学校
21日	☆聖書講座(前期)

福岡黙想の家

30日	佐賀教会カトリック・フェスティバル
3日	ダブルツート会黙想
3日	御受難会主催・四旬節の黙想
5日	泰星学園職員研修
8日	聖週間・復活祭
16・21日	サン・スルピス大神学生黙想

93年 福岡教区青年大会 お知らせ

日時：4月28日 18:00～
29日 17:00
目的：ブロック間の交流、分かち合い
場所：新田原教会 参加費：2,500円
主催：福岡教区青少年委員会
協賛：福岡教区青少年担当司祭団
申込み締切：4月11日
問い合わせ：カトリック帯山教会 大水幸一神父
〒862 熊本市新大江3-19-10 ☎096-382-9413

北九州地区 教会学校リーダー 研修会

日時：5月7日(金) 10:00～15:30
講師：ガエタノ・コンプリ神父
(サレジオ会員 日向学院理事長)
テーマ：子どもの祈りについて
場所：カトリック小倉教会
対象：リーダー(関心のある方はどなたでも)
費用：会費1,000円(弁当希望者 別に500円)
申込み：4月30日まで Sr. 木俣八千
カトリック門司教会 ☎・FAX 093-371-2944

聖書講座【前期】《マタイ福音書を読む》

主催：教区聖書委員会
日時：5/21～7/23までの金曜日 19:00～21:00
場所：カテドラルセンター1階ホール
講師：松永久次郎司教/西田邦洋神父/青木悟神父/平田寛神父/浦俊雄神父
参加費：5,000円(個別受講は1回 800円)
申込み/問合せ：教区本部事務局
☎092(522)5139/FAX (523)2152
締切：5月10日

1993年度第2回結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター
1F講堂
日程 4月15日・17日・22日・24日・25日
5月6日・8日・13日
申込み カトリックファミリーセンター
問合せ先 TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】 カトリック手取教会

信徒会館2Fホール
日程 4月12日・14日・19日・21日
26日・28日
5月10日・12日
申込み カトリック手取教会
問合せ先 TEL 096-352-3030
*いずれも毎回午後7:00～9:20

「旅」

いよいよ今年に年を考える年齢になった。
一九八八年に叙階されて今年で二十五年、銀祝を祝われる年齢になった。
久留米で三年、小倉で十二年として大牟田で十年。久留米での三年間をのぞいて不思議と労働者の町、それも旧産炭地をかかえた斜陽産業の地域での司牧がつづいている。

最近写真を撮っている。それも炭住(炭鉱住宅)を中心に。日本の産業構造の変化、エネルギー革命、度重なる石炭産出の結果、大牟田の三井鉱山を例にとると、私が赴任した十年前に

は三川・四山・有明と三つあった鉱口が、今では有明鉱口一つに合理化されてしまっている。市内にはいたるところに人気のない、いわゆる炭住が朽ち果てた姿でつらなっている。五木寛之さんの小説「青春の門」に描かれている炭鉱で働く人々の生き生きと

した生活の営みは、そこですでにみられない。たしか山田洋二さんの映画「幸せの黄色いハンカチ」の舞台となった北海道・夕張の風景と同じである。付近で営業していたバー・小料理店も訪れる人が少なくなり廃業におひこまれ、今では閉店の紙が風にふ

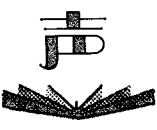
るえ、ネオン管がこわれてぶらさがっている。何ともうらさびしい気分になせられる。しかし、人間の生活の営みは力強い。アブラハムが自分の故郷を出て旅をつづけ、やがてイスラエルにユダヤ人たちが定住し、歴史の流れの中で解放に向けての闘い、生活

をつづけ、最終的に自分たちの国籍は天にあるという悟りに至る境地を旧約聖書と新約聖書はみごとに描いている。大牟田小教区のスタートウ・ス・アニマルム(信徒籍台帳)を眺めると、多数の先輩たちが長崎から当地に移住し、生活を営み根をおろし、



あるいは、故郷に帰られた様が手にとるようになうかがい知れる。社会生活と信仰生活を見ごとなまに融和させながらけんめいに生きてきた人々の証しがある。

今私たちがそれぞれ旅の途中にあり、どのような故郷に帰るべきなのかを模索しながら生活を営んでいる。アブラハムに旅立ちを呼びかけられた神は、同じ呼びかけを今も私たちに投げかけられている。
大牟田教会
西田邦洋神父



NICE2の「分かち合いの手引き」から

第3回 パイプオルガン チャリティーコンサート

日時：5月15日(土) 開場15:30 開演16:00
会場：カトリック大名町教会大聖堂
内容：J.S.バッハ/トッカータ、アダージョとフーガ
J.クラーク/トランペットヴォランタリーほか
出演：本村孝二(トランペット)・江尻孝子(伴奏)・佐伯智恵子(オルガン)
チケット：(前売)小学生以上¥800 (当日) ¥1,000
主催：ぶどうの樹の会
後援：エリザベト音楽大学・女子パウロ会・カトリック大名町教会信徒会
問合せ：☎092-851-9467(高木21:00以降) ★チケット：聖パウロ書院

福岡 生と老い・死をみつめる会

★総会と分かち合い
日時：4月25日 14:00～16:00
場所：カテドラルセンター 4階会議室
参加費：500円
事務局：☎092-713-8523 【大山美穂子】
★トピックス
「生と死を考える会」会長アルフォンス・デーケン(上智大学教授)によるコラム「あすへの話題」が日経新聞火曜日夕刊 連載中です



本会は一六九六年フランスの寒村、ルヴェウイール・ラ・シュナールに創立され、最初の使命は村の少女たちを教育したり、貧しい人や病気のの人を見舞ったりしながら、村の宗教的、文化的水準を高めるために働くことでした。一七〇八年にシャルトルの司教パウル・ゴテ・デ・マリ師の招きでシャルトルに赴き、そこで会としての正式な「シャルトル聖パウロ修道女会」という呼び名となりました。公会議後、本部がローマに移されるまで、シャルトルのノートル

ルダム聖堂の尖塔の陰にあるもう一つの小さな鐘楼が本会の母院でした。現在の会員数は四千八、二十八カ国の国籍で福音宣教の場は二十六カ国です。日本における活動は、一八七八年三人のフランス人修道女の函館到着とともに始まり、以来百有余年の歩みのうちに、会の創立当時からの力を注いだ教育事業(現在十二カ所)、社会福祉事業(現在三カ所)そして、老人ホームでのお手伝いなどを通して福音宣教に携わっています。九州における本会の事業は、一九〇〇年コルシエの招きにより、熊本県八代市で三人の姉妹によって始められました。現在は「養護施設」と「八代白百合学園高等学校・幼稚園」の教育事業、そして、八代教会での奉仕など人々との交わりのうちに過ごしております。

4月命日の司祭

*アンリ・レウトル師
(パリ外国宣教会)
一九四四年四月二十五日
元新田原教会主任

(佐賀教会)

編集室から

桜の季節。酒が席をにぎわす。心は浮つく。こんな楽しいことは誰しも前向きだ。しかし、苦しいことにはどうだろう。イエスは自分の死をも惜しまず苦しみ込まれた。編集室も生みの苦しみを味わう。桜の花を横目にしながら「美しいなあ」と味わえる時を期待して筆を運びよう。しゅが私たちに共に働かれる。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01

福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤木 鐵三

福岡支店長 小田 正人

加わり
福岡教区報

松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 リック福岡司教区
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

主の復活を讃えよう



神の家族の一員として

「キリストのひかり」

復活徹夜祭で約130人が成人受洗

聖木曜日、聖金曜日に続いて復活徹夜祭の荘厳な典礼が福岡教区五十八の小教区で行われ約一三〇人の成人の受洗者があった。カテドラル大名町教会では九人が松永久次郎司教から洗礼と堅信の秘跡を授けられた。

高く掲げた大ローソクに明々とひかりが輝き、「キリストのひかり」という先唱者に続いて「神に感謝」という信徒の喜びの音が暮

大聖堂に入室するにつれ、ひかりが手から手へ移され、暗い聖堂にひかりが広がった。ミサ中、松永司教は「キリストは本当に復活なさいました。もう死ぬ事のない栄光の世界、霊の世界に復活されました。そして、私たちもこの同じ栄光の世界にやみがえることを信じています」と語り、「みことばを信じキリストの心に倣って愛を実践して下さい。まず家庭の中に、そして友だちの間に、その日その日、自分を捨てて愛の奉仕に生きることが復活の信仰を生ずることです」と復活したキリストに倣うように励まし

れかけた天神のビルの谷間に響きわたる、カテドラルの復活徹夜祭のミサが始まった。大ローソクに先導されて、司式者、信徒が

喜びであるかのように。しかし、人は何のために生きていくのか、またどのよう

現代日本の社会の中で、若者が自分の将来について考えてみると、ひとつのステレオタイプされた枠組みのよう

なもの頭が浮かんでくる。すなわち、

いい大学を出て一流の企業に入り、安定した経済力を手に入れ、結婚してそれな

宮本 克司

時の話題

会のために捧げるといふ図式である。また、いい大学に入るためにはいい高校に入る。そのためにはいい塾に通う。それが人生の幸せ、はたまた

カトリックの若者の基準とは

し極端な言い方かも知れないが、全く否定はできない。自分を含めて日本の若者は、どういふ基準で物事を考え、行動しているのか。ここでいう「基準」とは、「よりどころ」というような意味である。それは極めてあいまいなものと

大学に入って私はカトリック

今月のみことば

見よ、わたしは来た。神よ、み旨を行うために

(ヘブライ 10・7) 天神町 マヌエル・ラバルタ

説教に続いて洗礼式に移り九人が喜びの洗礼を受け、引き続き堅信の秘跡が司教から授けられた。恵に満たされた受洗者と共に全信徒が洗礼の更新を宣言し、信仰を新たにしました。

聖香油ミサ厳かに

カテドラル

四月八日、聖木曜日に大名町教会にて「聖香油ミサ」が行われた。司式は教区長ヨセフ松永久次郎司教。教区で働く司教が参集した。式中、バルサンを混ぜたオリブ油が聖別された。

聖香油のミサの中で、松永司教は「折しも、今日は聖体の制定の日であり、ミサの制定の日、そして役務の司祭職制定の日でもある。呼ばれた者としてこれからは主キリストに忠実な司牧者・宣教師であるように」と語った。

聖別された聖油は各小教区に持ち帰られ、秘跡執行に用

クの洗礼を受けた。神様は私に、キリスト者として生きることを選ばせてくださった。毎日、キリスト者としてどのように生きていくかを問われ

ていくことを神様は大切にしてください。だが自分の生き方など、ほとんど考える暇も

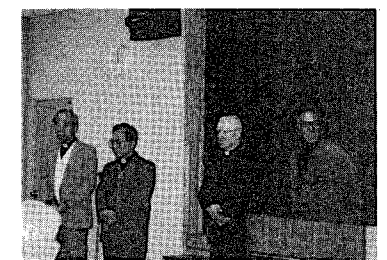
与えられない状況にある日本人にとっては、これほど厳しいことはないように思う。今の社会では、「キリスト者」というと、やはり「普通」で

ないことになるかも知れないが、私は自分自身でその生き方を選んだことを毎日の生活の中で少しずつでも語っていき

(小倉教会)

金祝・銀祝

聖木曜日の聖香油ミサ後、司祭職制定の記念が、大名町教会一階ホールで催された。席上、教区で働く司祭の金祝と銀祝組が紹介された。金祝司祭は、M・マッコネル師(手取)。銀祝の司祭は以下の三人。春山勝美師(高宮)、牧山勝美師(健軍)、西田邦洋師(大牟田)。



喜びの四人の顔

マッコネル師は「司祭職に感謝して聖務に励みたい」と挨拶した。

オブレート会に新司祭誕生

三月二十九日、古賀教会(主任司祭・F・ハーン師)にて、オブレート会のレオ川口敏新司祭が誕生した。写真。福岡教区長松永久次郎司教



いられる。尚、聖油は三種あり、洗礼志願者の塗油、病者の塗油、そして洗礼・堅信・叙階の塗油のために用いられる。写真。



司祭は、魂の救いのために聖油が生かされるようにし、信者は喜びをもって受け入れるのである。

教区人事

異動(五月一日付) 馬渡島 畠山七郎師(美野島) *美野島小教区は大橋小教区に併合される 引退 司教館 伊東誠二郎師(馬渡島)

より、叙階の授けを受け、司祭職のための聖香油を塗られ神の民の奉仕のために聖別された。司教は、福音の中から「聖体の制定のみ言葉はカトリックが受け継いできたものであり、司祭のうちに実現する。また、司祭はこの世で最も尊いミサを挙行することです。キリストを現存させ、信仰を深めさせるのである。司祭の務めを命のかぎり遂行するように。信者もそのために祈るように」と諭した。母親の川口キヌエさんと長兄の譲さんから渡された祭服を着衣した川口師は、司教から授けられたバテナとカリスを用いて感謝のミサを捧げ祝福を与えた。川口師は「この日のため

に関わってくれたすべての方々に心から感謝したい。今までは司祭になるための準備期間であったが、これからは司祭らしくなるための準備期間にしたい。引き続き祈ってください」と挨拶した。式後、幼稚園のホールで祝賀会が催され、信徒を代表して折尾宗親氏の喜びの挨拶、オブレート会日本管区長A・シアニ師の感謝の挨拶があった。会場は喜びの声で満ちていた。川口師は川口作男(故人)さんとキヌエさんの六番目の子(兄弟は八人)として生まれた。福岡教区の竹森勇師(新田原教会主任)のいとこであり、亡くなった川口康頼師の甥にあたる。

復活の日に落成式

水巻教会

四月十一日、水巻教会(主任ベリオン・ルイ神父)の聖堂・信徒会館の落成式が行われた。写真。松永久次郎司教は、ミサの中で「新しく建った教会が福音宣教の新しい起点となるように希望する」と述べた。小笠原勝己信徒会長は「完成までにはいろいろとあったが、これからは新たな気持ちで信徒一丸となって臨



みたい」と挨拶した。建物は一階が信徒会館、二階が聖堂で三階がオルガン室と泣き部屋鉄骨造り三階建て。周囲に高い建物がないため遠方からでも眺めることができる。また、身障者、高齢者用にスロープ、身障者用のトイレも設置されている。 水巻教会・山口一隆

みちくさ

現代の長物にコインロッカーがある。荷物を入れたら自由に歩き回れる。しかし、そんなコインロッカーにも入れられないものもある。いくら身軽になってもいって他人の道を外れることはしたくない。▼ロッカーにはお金が要る。百円が活躍する。その百円も返ってくるもの、こないものがある。ある銭湯に行った。そのロッカーでは百円が返ってくる。なんとなく得した気になる。のども渴いているせいか自然にジュース販売機に百円が入る。客の心理を読んだのか、客の方はもったいないとは思わない▼お金は「もったいないなあ」と思ってしまう。「何かの形で返ってくるから」と思って出すのは価値が違ような気がする。特に教会のために出されるお金は決して損ではない。自分たちの宝である教会が維持できる。信仰の源の聖体になるホスチア、聖書が買える。ろうそくも買える。暗い所で神様を賛美しなくては。司祭を養うことができる。いろいろなものが揃う。それらは天国行きに必要なものだ。信仰用のロッカーにお金を入れると倍以上になって返ってくる。輝くものが返ってくる。とは言え、働かなければお金は手に入らないのである。ある人が「神父さん儲けていますか」と言った。「神父は儲けませんよ」と答えた。「だって儲けた字は信者と書きますよ」とその人は言う。神父の仕事はお金のためではない、人の心のためのもの、儲かるはずがない▼お互い、霊的な向上のために持っているものを活用しよう。「信者たちは皆一つになつてすべての物を共有にし、財産や持物を売り、おのおの必要に応じて、皆がそれを分け合っていた」(使2・44・45)【S】



1992年度 福岡教区教勢 (1992.1.1~12.31)



※司祭・修道者・神学生数は含まれません

地区名	小教区名	信徒総数			洗礼		求道	堅信	ミサ参加者			婚姻				転入			転出			死亡	不明	初聖体	世帯数
		男	女	計	幼児	成人			主日	復活祭	降誕祭	信徒	信ブ	混	宗他	教区内	教区外	他	教区内	教区外	他				
福岡地区	大名町	641	891	1,532	19	8	41	49	500	1,000	2,000	2	0	39	65	17	34	51	28	17	45	8	306	26	765
司祭 [55]	浄水通	164	237	401	8	13	30	11	240	290	940	0	0	11	101	12	7	2	4	21	0	2	5	19	193
	西新	533	620	1,153	9	5	13	2	400	500	500	0	0	5	3	28	32	0	20	35	0	2	0	12	416
	茶山	263	298	561	4	1	0	0	250	280	400	0	0	4	0	6	15	2	1	4	0	4	0	6	145
	笹丘	316	439	755	19	10	8	45	350	550	800	0	0	7	14	5	37	0	12	26	0	8	3	39	308
	高宮	218	337	555	10	10	6	10	110	200	300	0	0	5	37	9	19	0	3	18	0	4	21	13	150
	大楠	92	104	196	13	4	4	17	70	90	150	0	0	4	3	0	4	0	5	3	0	1	4	7	61
	美野島	59	68	127	2	0	0	0	30	60	270	0	0	2	0	0	1	0	11	2	0	0	40	0	27
	光丘	545	602	1,147	18	10	7	46	400	700	800	3	0	11	1	14	32	0	14	19	0	10	61	26	457
	老司	280	333	613	6	9	0	8	220	350	370	0	0	2	3	1	5	0	6	1	0	0	5	16	240
	吉塚	286	379	665	8	4	4	4	300	450	500	1	0	3	0	6	7	0	18	5	0	5	0	8	245
	箱崎	137	181	318	5	0	5	14	100	180	250	1	0	0	0	4	14	0	2	6	0	2	0	6	52
	糸島	121	118	239	4	1	5	3	100	130	200	0	0	0	0	24	8	0	9	1	0	2	0		83
	二日市	178	227	405	7	6	6	3	220	280	500	0	0	0	0	5	6	0	6	7	1	3	11	7	95
	小郡	168	203	371	4	4	2	3	130	310	360	1	0	3	0	8	2	0	1	4	0	3	7	11	126
	久留米	526	711	1,237	16	11	4	37	400	650	1,100	1	0	13	18	20	18	132	12	22	0	5	0	23	292
今村	449	536	985	11	7	6	3	650	850	900	0	0	5	0	2	2	26	3	2	0	11	0	7	222	
本郷	324	337	661	8	1	2	20	380	500	550	0	0	7	0	6	1	0	1	1	0	6	14	8	180	
大牟田	72	138	210	3	0	10	0	80	190	230	0	0	8	33	7	1	0	9	0	0	1	0	2	122	
古賀	336	375	711	8	5	16	22	220	350	480	1	0	6	10	17	32	0	16	10	0	5	0	13	280	
小計		5,708	7,134	12,842	182	109	169	297	5,150	7,910	11,600	10	0	135	288	191	277	213	181	204	46	82	477	249	4,459
北九州地区	水巻	297	363	660	8	5	0	4	200	300	450	0	0	3	2	30	2	0	11	0	0	2	0	14	254
司祭 [19]	戸畑	379	375	754	9	6	35	20	180	300	550	3	0	8	4	5	6	0	23	8	0	7	0		230
	黒崎	408	666	1,074	4	10	15	0	400	450	700	1	0	9	9	10	5	8	14	5	0	7	0	24	430
	八王寺	95	123	218	2	0	11	0	70	110	200	0	0	2	2	0	6	0	0	0	0	2	0	1	80
	小倉	1,109	1,430	2,539	22	16	29	60	550	750	1,500	4	0	27	30	17	20	1	19	17	4	13	28	35	728
	天神町	129	176	305	4	1	1	3	80	140	180	0	0	1	0	2	7	1	11	2	0	2	0	2	140
	若松	154	182	336	5	0	2	0	70	160	210	0	0	1	1	1	9	0	4	0	0	3	0	1	89
	門司	157	231	388	4	10	2	25	170	220	400	1	0	1	1	8	6	0	14	3	0	3	0	13	174
	門司港	71	94	165	3	0	1	0	40	80	70	0	0	0	0	0	0	5	4	2	0	2	0	2	56
	湯川	553	633	1,186	9	5	0	26	350	600	700	2	0	6	0	27	7	0	5	11	0	5	0	21	320
	行橋	309	351	660	10	11	2	10	260	400	500	2	0	7	0	12	3	0	6	3	0	7	3	21	213
	新田原	901	971	1,872	17	3	3	21	800	1,400	1,400	1	0	16	0	5	6	2	15	5	0	13	0	19	460
	飯塚	104	139	243	2	2	3	0	90	130	180	0	0	0	12	1	1	2	2	0	0	5	0	3	106
	直方	60	70	130	5	1	4	0	30	80	80	0	0	2	0	2	7	0	1	1	0	0	10	1	34
田川	56	93	149	0	0	0	0	35	100	135	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	26		
小計		4,782	5,897	10,679	104	70	108	169	3,325	5,220	7,255	14	0	84	61	121	85	19	129	57	4	71	67	157	3,314
福岡合計		10,490	13,031	23,521	286	179	277	466	8,475	13,130	18,855	24	0	219	349	312	362	232	310	261	50	153	544	406	7,773
熊本地区	手取	520	724	1,244	16	43	42	0	530	600	700	5	0	9	53	12	41	0	5	26	0	25	102	25	595
司祭 [17]	菊池	26	50	76	1	1	0	0	30	50	100	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	28	0	27
	玉名	52	76	128	2	0	3	0	50	140	140	0	0	0	2	3	3	0	1	1	0	0	0	0	41
	荒尾	38	97	135	1	4	10	2	55	80	80	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	6	67	
	武蔵ヶ丘	179	219	398	6	9	18	33	165	220	300	0	0	3	0	5	9	0	11	0	0	5	73	6	163
	帯山	126	177	303	0	7	2	6	130	150	180	0	0	3	1	11	4	0	8	7	0	4	30	12	102
	健軍	213	281	494	9	3	4	3	200	250	350	0	0	0	0	9	4	0	4	19	0	3	37	8	171
	島崎	140	220	360	5	1	7	0	150	200	300	0	0	2	6	2	4	1	2	2	0	7	0	0	145
	人吉	63	135	198	1	1	1	29	70	100	240	0	0	2	6	4	6	0	6	3	1	3	2	0	101
	八代	58	103	161	0	4	6	25	90	120	400	0	0	2	1	0	8	34	3	7	0	6	0	0	
	水俣	34	60	94	0	0	2	0	27	45	45	0	0	1	0	4	0	0	4	1	0	1	4	0	0
	本渡	38	57	95	4	0	6	0	30	70	130	0	0	3	4	2	3	0	2	0	1	3	3	0	38
	大江	128	183	311	2	0	2	0	200	300	416	0	0	2	5	0	1	0	1	2	0	4	0	12	136
崎津	114	159	273	4	0	0	0	75	150	170	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	3	3	0	76	
小計		1,729	2,541	4,270	51	73	103	98	1,802	2,475	3,551	5	0	30	80	53	83	35	48	68	2	66	282	69	1,662
佐賀地区	佐賀	297	417	714	20	10	10	0	160	300	400	0	0	5	17	0	37	0	8	10	3	3	5	10	368
司祭 [10]	鳥栖	128	179	307	6	6	7	1	120	230	250	1	0	2	5	3	5	0	13	5	0	3	0	8	72
	武雄	31	38	69	1	0	0	0	15	60	80	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	28
	鹿島	21	24	45	1	0	0	0	8	20	40	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0	26
	伊万里	103	121	224	4	3	0	18	55	130	150	0	0	1	3	0	11	0	2	9	0	2	0	9	88
	多久	53	55	108	2	0	3	16	35	60	70	0	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	48
	唐津	165	209	374	6	2	0	17	95	140	220	1	0	0											

信徒総数
3万人を超える
88年以来

久方ぶりに教区の信徒総数が三万人を越えた。前回は一九八八年度の三〇、八〇八人増加の要因として、次のようなことが考えられる。
教区外からの転入者が増えたこと（教区外への転出者との差が昨年の五十五人から百四十人に増加）
その他の転入者（神学校・修道会への入・退会、棄教者何らかの理由で名簿から落ちていた者で、新たに発見された者など）が増えたこと。
幼児洗礼（昨年度比七十八人増）、成人洗礼（同三十五人増）の増加。
不明者の減少（同十九人減）など。
婚姻についてみると、信徒同士の結婚は減少（昨年度比十二組減）しているが、それ以外の結婚は増えている（昨年度比十五組増加）。
混宗婚と未洗者同士の結婚式が年間七二〇組もあることを考えると、結婚式を機に教会を訪れる未洗者が、単純計算でも二万人ほどいることになるだろう。この数はクリスマスに教会を訪れる未洗者の数を大きく上回っている。
結婚式とその準備、アフターケアなどを福音宣教のよい機会として利用することが望まれる。初めて教会を訪れる人たちと司祭、信徒との温かい関わり、式の美しさや司祭の説教が教会の第一印象を決めるともいえる。この点での司祭、信徒のより一層の努力が期待される。
「信仰は知ることから始まる」のであれば、このような機会を通してキリストと教会を宣伝する方法を考え、実行することが福音宣教への第一歩になると考えられる。
キリストと教会についての情報を提供する「教会案内」などを考えてはどうだろうか。
教区本部事務局 山元 眞

ひなたぼっこ黙想会

神様の あたたかいひびきを いっぱいあびて・・・
思いっきり優しくゆつくりと、黙想してみませんか？

① 5月10日（月）～14日（金） 9月27日（月）～30日（木）

《時間》17：00～最終日の朝食後まで
《対象》65歳

会合と催し

5・6月の行事

※ゴチックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

2日 ☆美野島・今村教会
世界召命祈願日
5月 クルシリヨ(5日まで)
9日 島崎教会堅信式
☆多手・手取・若松教会
15日 司教巡礼の旅
(6月3日まで)
16日 全国会議準備委員会
広報の日「研修会」
18日 ☆戸畑教会
福岡地区教会学校
リーダー研修会
21日 聖書講座第1回
28日 聖書講座第2回
30日 佐賀教会カトリック・
フェスティバル
6月 聖書講座第3回
4日 本渡教会堅信式
6日 ☆箱崎教会
11日 聖書講座第4回
13日 NICE研修会

(新田原教会)
18日 聖書講座第5回
21日 司教総会(26日まで)
25日 聖書講座第6回
27日 佐賀教会堅信式
NICE研修会
(教区修道女連盟)

福岡黙想の家

2日 クルシリヨ
9日 湯川教会・地区黙想会
10日 御受難会主催・ひ
なたぼっこ黙想会
17日 修道女のための8
日間の黙想
指導・マテオ神父
29日 祈りの集い
31日 サン・スルピス
大神学生黙想会

広報研修会

テーマ：情報の生かし方
講師：Sr. 白井詔子
日時：5月16日(日)
13:30~15:30
場所：カテドラル大名町教会
会費：1,000円
問合せ：☎092-522-5139

日本カトリック児童施設協会
第27回全国会議

テーマ 「家庭」
期日 6月28日~30日
6/28 13:30 開会ミサ
(松永司教との共同司式)
15:00 基調講演：松永司教
(キリスト教的児童教育
の基本的考え方)
6/29 9:00、13:30、分科会
6/30 9:00 全体会
11:00 派遣ミサ
会場 リコホテル博多
福岡市中央区渡辺通り1丁目
*一般の方で、司教様の講演をお聴き
になりたい方は、ご連絡下さい
【連絡先】三井郡大刀洗町山隈377
清心慈愛園内 野田 聡 ☎0942-77-1538

聖書講座【前期】

—マタイ福音書を読む—

第1回 5/21(金)・青木 悟 神父
「マタイ福音への導入」
第2回 5/28(金)・青木 悟 神父
「マタイ1~4章①」
第3回 6/4(金)・青木 悟 神父
「マタイ1~4章②」
第4回 6/11(金)・平田 寛 神父
「マタイ5~7章 山上の垂訓①」
第5回 6/18(金)・平田 寛 神父
「マタイ5~7章 山上の垂訓②」

*以下毎週金曜日に第10回まで続く
場所：カテドラルセンター1階ホール
時間：金曜日 19:00~21:00
参加費：全5,000円 各800円
申込み：教区本部事務局
☎(092)522-5139
締切り：5月10日

心の遺産

わたしの父は、八十七歳で亡くなりました。父はとても苦労した方でしたので、自分の人生をどう思っているのか聞きたいと、かねがね思っていました。ある日、見舞いに行ったとき、「お父さんは八十七年生きてきたけども、今、自分の人生をどう思っているのね」と聞きました。父はしばらく考えて、「今までいろんなことがあった。苦しみや悩みもいっぱいあった。『どうして!』『なぜなのですか?』と神様に向かって叫んだこともあったけれど、自分は神様から愛されていたから、やって

ようと思うなら、司祭職を全うしてあげたい」と言いました。父は「自分のような者の家から司祭が出たということは、非常な恵みであり、光栄だ」と言っていました。が、いつもわたしのことを心にかけて、司祭職を全うすることができるよう祈っていました。

また、わたしが「天国に行つてマリア様に会ったら、わたしのことをマリア様にどう言うのね」と聞きました。父は「天国に行つてマリア様に会ったら、司祭職を全うできるように、どうぞご指導下さい」と答えました。父は「ええ、そう」と言つて、何回も「主祷文」「天使祝詞」を唱え

ました。わたしが目が見えなくなると、父は「司祭職を全うできるように、天国に行つたらマリア様にお願いする」と言っていました。父は「神から愛された人生だった」と言う言葉は、わたしの心には深く残りました。父がわたしの心に残した心の遺産だと思います。健康教会・牧山勝美神父

福岡双葉学園創立60周年記念展

期日：6月2日~7日
場所：天神岩田屋 8階
展示物：60年の歩みのパネル、サン・スルピス聖書研究所の世界に稀な聖書、今村キリシタン館の貴重な遺品など多くの物品
☆問い合わせ先：福岡双葉学園 ☎092-531-0438

第2回 カトリック愛と性を考える研修会

日時：7月11日(日) 14:00~17:15
会場：カテドラルセンター(大名町教会)
テーマ：家庭で生きるキリストの心
—創造への参加と夫婦愛—
講師：ヨセフ松永久次郎司教
会費：700円(学生400円)
主催：信仰教育委員会・家庭委員会
連絡先：カトリックファミリーセンター
☎092-541-6207

第3回 パイプオルガン チャリティーコンサート

日時：5月15日(土) 開場15:30 開演16:00
会場：カトリック大名町教会大聖堂
内容：J.S.バッハ/トッカータ、アダージョとフーガ
J.クラーク/トランペットヴォランタリーほか
出演：本村孝二(トランペット)・江尻孝子(伴奏)・佐伯智恵子(オルガン)
チケット：(前売)小学生以上¥800 (当日)¥1,000
主催：ぶどうの樹の会
後援：エリザベト音楽大学・女子パウロ会・カトリック大名町教会信徒会
問合せ：☎092-851-9467 (高木21:00以降) ★チケット：聖パウロ書院

《福岡地区教会学校リーダー研修会》

日時：5月18日(火) 9:30受付
場所：聖パウロ修道会(福岡市中央区小笹)
対象：教会学校リーダー
内容：夏のキャンプ・錬成会のためのレクレーション研修
会費：1,000円
申し込み：教区本部事務局 深堀邦枝 ☎092-522-5139
締め切り：5月16日

《世界広報の日》

5月16日(日)
テーマ
「文化と良心を形成する
ビデオカセットと
オーディオカセット」



数十人おりましたが、現在は七人です。会員も二十人おりましたが、現在は三人です。小学校を卒業したばかりの若い少年たちが、祈り、学び、遊び、毎日元気に楽しく頑張っています。彼らが祭壇に立つ日を希望しながら奉仕出来る事は私たちにとても大きな喜びであり、司祭として活躍している姿は私たちにとても大きな励みです。また、色々な事情で小神学校を去った神学生が、社会人になつて訪ねてくれるとき、本当に大きな喜びに包まれます。神に感謝しながら頑張つて参ります。召命のために祈りください。

5月命日の司祭

*フェルナンド・チリ司教
(パリ外国宣教会)
一九三〇年五月十日
初代福岡教区長
*フランソワ・ルマリエ師
(パリ外国宣教会)
一九四五年五月五日
元八代教会主任
*ヨハネ棚町正刀師
一九六八年五月十五日
元茶山教会主任

編集室から

「明日は晴れ時々曇りでしょ」との天気予報。翌日目を覚ますと曇天。予報を聞くと「今日は曇りでしょ」。雨は降らないだろうと思つて仕事場へ。ところが、車のフロントガラスにボツリボツリと雨音。着く時には傘が要る。予報はあくまでも予報。苦情の電話をしても仕方がない。人は地を治めても天は治められない。神こそが天を治められるのである。編集が支障なく出来るようにと祈る。予想では「大丈夫」。しかし翌日は様相が違つている。心に雨が降る。けれど、神がよい方向に導いてくださることを期待しながら筆を運ぶ。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01

福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石 真 澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤 木 鐵 三

福岡支店長 小 田 正 人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

今月のみことば
わたしが来たのは、羊に命を得させ、
しかも豊かに得させるためである。
(ヨハネ 10・10)
本渡教会 F・マツケイ神父

初の特別聖体奉仕者誕生



37人
神の国の建設と
発展のために
熊本

福岡教区で初めて信徒の「特別聖体奉仕者」が熊本地区で誕生、手
取教会で任命式が行われた。司祭がいない現状を踏まえ、教区の課題
としていた聖体奉仕職を信徒が共にすることが実現した。

四月二十四日、教区長松永久次郎司教の
司式ミサにおいて、特別聖体奉仕者の任命
式が挙行された。司教は、「あなたがたは
み言葉を大切にキリストとの一致を深め
るよう努力するように。知識の面でも、生
活の面でも相応しい人であるように。『尊
いもの』に近づくのであるから、生活のあ
り方においても尊いものになるように。司
祭と信徒を助け、仕える人になるように」
と諭した。写真。任命に先立ち、牧山勝美
師（健康教会）による一年間の研修期があ
り、遠く人吉・八代・天草から宿泊しなが
らの参加もあった。今回、任命を受けたの
は、熊本地区の九教会の信徒、総勢三十七
人。任期は二年間。
聖体奉仕者の任務は、主任司祭がその奉
仕に当たることが出来ない場合に、その許
可を得たうえで、教会で認められた典礼に

従って集会祭儀の司式や、病
人訪問に際して聖体授与等
を行うことである。
司祭の高齢化と召し出しの
減少という状況を憂慮しなが
ら、このような特別な奉仕職
が誕生した現実をよく見てい
かねばならない。奉仕者と司
祭召命のために祈ろう。

教区青年大会に五十七人

「あなたの帰るところはどこですか」

四月二十八日から二十九日まで、新田原教会（主任
竹森勇師）で、福岡教区青少年委員会主催の青年大会
が開かれた。教区内から青年五十七人（男性三十四人、
女性二十三人）が集まり分ち合った。写真。

「NICE2」に向けて
あなたの帰るところはどこで
すか」をテーマに青年が参集
した。開会式の後には山元眞師
のカトリック信者の価値観に
ついての講話があった。
その後、グループに分かれ
ての分ち合いと懇親会が行
われた。二日目は、谷口和徳
氏（新田原教会）の「幼児洗



時の話題

増田 将司

近くの教会
との交流を深
める意味から
も、北九州地
区の教会や修
道院を訪ねよう

道院を訪問しよう、と、「北九
州地区教会巡礼バスツアー」
が企画され、一九八八年の十
二月に、八王子、小倉、門司、
門司港、湯川、水巻、黒崎、

近隣の教会へ 巡礼ツアー

川、飯塚、直方の各教会、聖
母訪問会新田原修道院、宮崎
カリタス修道女会新田原修道
院、新田原聖母病院、援助修
道会黒崎修道院、聖ヨゼフ園
を訪ねました。行橋教会で

するこのもてなしを受けた思
いがけない楽しい昼食。田川
教会ではグロージャン神父様
が奏でる小さなパイプオルガ
ンの、今でも心に残る音色。
飯塚教会ではベルトラン神父

召命学校ご案内

今年も、小神学校では司祭
修道者の召命を祈願し、
召命学校と題して、錬成会が
行われる。教区や修道会の聖
職者の誕生が減
少している中で
司祭および信徒
が現状を認識し
一人でも多くの
志願者を送り出
すことが強く望
まれる。
この錬成会に
おいて、司祭に
なりたいたい、修
道
者になりたいたいという少年が
増えることを期待するもので
ある。

パウロ小神学校「召命錬成会」

対象：小学3年生～6年生男子
日時：7月21日(水)午後4時～23日(金)午前10時
場所：福岡聖パウロ小神学校
参加費：1,000円（交通費は自己負担）
7月15日までに下記へお申し込み下さい
〒810 福岡市中央区小笹4-11-11
聖パウロ小神学校 ☎ 092(531)0924

福岡小神学校「召命学校」

日時：8月19日(水)午後4時～21日(土)午後1時
場所：福岡小神学校
対象：小学校4～6年生男子（中学生
の希望者も可）
参加費：¥2,000（交通費各自負担）
定員：30人／8月10日締め切り
申込み：福岡小神学校 森山信三神父宛
TEL 092-531-6821 FAX 092-524-7373

名古屋教区に新司教誕生



五月四日、教皇ヨハネ・パウロ
二世は、野村純一神父を名古屋教
区司教に任命した。
司教叙階式は、七月四日(日)
午後2時より布池司教座聖堂。

NICEキャッチ 6

「分ち合
い」を
もっと

五月二十二日から
二十三日まで、名古
屋の日本カトリック
研修センターで、各
教区の全国会議担当
者会議が開かれた。
三人の担当司教や事務局員を
含めて約五十人が参加。福岡
教区からは深掘純氏（大名町
教会）と、St.黒木紗耶子（幼き
イエス会熊本信愛修道院）
が出席した。
今回の会議は、今年十月の

その後、約三時間に及ぶ分科
会。そして、全体会を行なっ
た。最後に松永久次郎司教と
教区青少年担当司祭団との共
同司式に参加者も心を一つに
喜びのミサを捧げた。
閉会式で松永司教は「家庭
や社会の中で、バラのように
自分の信仰を輝かせて下さ
い」と諭した。最後に大水幸
一担当司祭（帯山教会）が感
謝の挨拶を述べた。

第二回全国会議の準備のため
に開かれたもので、各教区の
準備状況が「中間報告」とい
うかたちで出され、それにつ
いての分ち合いがなされ
た。さらに、第二回全国会
議のありかたと具体的な内容に
ついて話し合いがもたれた。
会議の結果は、六月末の定
例司教総会で承認を受けたあ
と、公表される。

福岡教区では全国会議の準
備として、昨年末から各小教
区で「福音宣教を考える日」
を設けていただき、信仰の見
直しを勧めている。その機会
を利用して、信仰の分ち合
いをしていく小教区もある。
今後とも、地道な分ち合
いや「福音宣教」について考
える機会を、各家庭や小教区
のグループでぜひ持つていた
だきたい。そのために準備委
員会が作った「手引き」を利
用し、みなさんの声も送って
いきたい。
(全国会議教区準備委員会)

おわび

五月号
4面の
小神学校基金へのご寄
付のお礼の所で「故吉
塚テル子様香典返しと
して」とありますのは
「吉塚テル子様ご寄
付」の誤りでした。お
わびして訂正致します。



みちくさ

教会の敷地に修道院が建つ
というので地質調査が始まっ
た。その折、埋蔵文化財が見
つかり、発掘調査が始まった
のである。古い時代の器が出
た。次第に発掘地帯が広まり
深くなっていく。そしてつい
に、日本でもまれな多丑（た
ちゅう）細文鏡が出土した。
四月一日の出来事である。う
そではない。これがもとで、
新聞社、テレビ局に公開され、
土地も「小都若山遺跡」と命
名され、現地説明会も行われ
た。有名になろう。鏡発見の
時、偶然にも居合わせた神父
はカメラを取り司祭館へ急
いだ。が、電話のベルが鳴り、
通話しているうちに、現場の
人たちはいなくなってしまう
た。写真が撮れなかったのは
残念だったが、今でも鮮明に
その場面を覚えている▼今度
のことで改めて発見したこと
がある。それは、土地の中に
何が埋められているのか分か
らないように、人の心にも何
があるのか分からないという
こと。ただ、神から多くを与
えられているのだから、良い
ものはたくさんあることは疑
いない。しかし、不必要なも
のも埋められているのは確か
である。掘って出たものが
輝くものならうれし。柔
和・謙遜・慈悲などもっと
輝くように磨きたい。そして
披露したい。不必要なものな
ら砂にして元の形でないよう
にしてしまおう。ごうまんの
器・うその機械など▼人の心
の敷地がよいもので輝くよう
に。それを見る人が喜んで近
づいてくるように。くれぐれ
も、イエス様がファリサイ人
に「あなたがたは外側はきれ
いにするが、自分の内側は強
欲と悪意に満ちている」（ル
カ11・39）と言われたことが
自分に言われないように。

[S]

キリストの聖体



私がミサを捧げている最中、祭壇に近づいて来て、「しんぶさん、しんぶさん」と呼びかけ、ご聖体拝領の時には「おいしい？どんな味がするの？」と尋ねていた9才の姪から、先日こんな手紙が届きました。

「しんぶさんへ しんぶさん、てがみを出すのがおくれでごめんさい。わたしは、ごぶつかつさいのとき、はつせいたいをうけました。……ごせいたいをうけたくと、なんだかみさまがわたしをよんでるかんじです。……」

32回 各人の信仰が高められ 第32回 磨かれたことに感謝

クルシリヨのすばらしさは二つの面にあります。一つは参加者が各方面からの人であり、秩序ある雰囲気の中で幸福な意味深い日々を過ごすことが出来るということです。そして神の恵みを感じる「共通の経験」が出来るのです。第二の面は、グループで行動するということです。超越的な段階まで高められた彼らは強い友情で結ばれていきます。それがクルシリスタ（参加者）の姿です。写真。



クルシリヨ（使徒職練成会）後は彼らは「パン種」としていろいろな場で行動していきます。それ故、使徒として活動するのに必要な知識、機会、熱意、助けが一層与えられるように努力しなければなりません。同時に、種々の集いを快活にしなければなりません。小教区では活動していない組織や眠っている人が

様の大切な呼びかけをいただいているのです。その聞こえ方は様々ですが、大切な響きがあるはず。信仰の耳をすまして。

それぞれの家庭で、お母さんは食事の準備が出来ると「ごはんですよ」と、みんなを呼びます。お父さんや子供たちは、その愛情の一杯こもった料理を食べて元気を受けて、子供たちは身も心も成長してゆきます。同じようにイエス様も私たちに呼びかけられます。「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければあなたもわたしのうちになることはない。……わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲みものである。……わたしは父によって生きていますように」

召命のために祈る集い

四月二十八日午前十時より、福岡カテドラルで「召命のために祈る集い」を行いました。この日第三十回世界召命祈願日を前に、刈り入れの主に教区の皆様と共に、次の意向でミサをささげました。



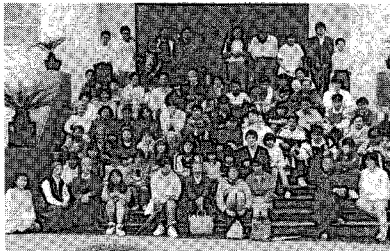
ご聖体に強められて

に、わたしを食べる人もわたしによって生きる」（ヨハネ6・54-57）。ここにはご聖体に込められたイエス様の呼びかけ、イエス様の愛の御馳走があります。汲み尽くせないイエス様の深い愛です。

参加者からは、「召し出しのために祈る責任を強く感じました」「よいお話をもちった大勢の人に聞いて欲しかった」「定期的にこのような集いをお願いします」などの声が聞かれました。

歩きながら祈ります

四月二十九日、祈っていたにもかかわらず、第四回召命ウォークソン



たくさんの足で祈りながら

と喜びが胸を交錯するうちにウォークソンは始まりました。残念ながら、雨のために大神学校に行くことが出来ず、聖パウロ会の小神学校まで歩いて

知ったかぶり教会法



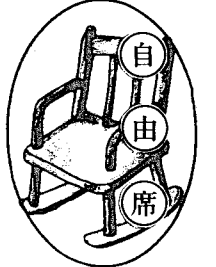
「義務」や「掟」

「義務」や「掟」についてわたしたちはどのように考えているだろうか。

教会は昔はもつと厳しかった、と一種の郷愁さえ感じながら語る人がある。今は何もかも甘く、簡単になってしまった、と嘆く人もある。ある意味でその通りだと思う。しかし、必ずしも甘くなったとはいえず、別の面が厳しくなっているところもあると思う。

か。主日のミサ参加はまったく自由です、といわれたらどうするだろうか。今ほど努力して行くだろうか。

主日のミサが神との出会いの場であり、私が生きていく上で決して欠くことの出来ないものだとき、



自然に学ぶ子育て

先日、墓参りの途中、高塔山でのことです。まぶしい程の新緑の中に、色とりどりのツツジの花があふれていました。きれいな一見事ねー、の連発でした。私は自然のうつろいをあまり意識せずに成長しましたが、結婚し、五人の子供を育てる中で、健康について学ぶうちに自然の食べ物の大切さを知りました。その時期、その土地に出来るものを感謝していただくことが一番体に良いこと。夏は細胞をゆるめ、体を冷やすトマトやキュウリ、冬は体を暖めてくれる大根などを神様はちゃんと準備してくださっていることを知ったのです。

祈りの日へどうぞ	
◆ 毎週火曜日	◆ ミサ
◆ 11:00~	◆ 昼食（沈黙・粗食無料）
◆ 12:00~	◆ 十字架の道行き
◆ 13:00~	◆ 聖時間・夕の祈り
◆ 14:00~	
◆ 15:00終了	

【申込・問合せ】 御受難修道会・福岡黙想の家
☎ 0940-32-3222 〒811-41 宗像市名残1056
※JR赤間南出口よりバス（自由ヶ丘南3丁目行き）自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

＊消防設備 設計・施工
＊電気工事 保守点検
〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289
※求人 信者の方を求む！
詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUL-EN)

ご葬儀
木下株式会社
TEL 092-526-5656
福岡市中央区平和3丁目1-5

神の望みを伝えるために

各地区の教会学校リーダー研修会が定期的に
行われている。今回は、五月中旬に北九州地区
と福岡地区で開催された。

北九州地区 —小倉教会—

今回の研修会は、「子供の
祈りについて」というテーマ
で、講師はガエタノ・コ
ンプリ神父様でした。参加者
は約五十人を数えました。
ガエタノ神父様は、流暢
(ちよう)な日本語でユーモア



ユーモアいっぱいのコンプリ神父(左)

り、おどろきから生まれる
神への感謝の気持ちである。
それは、たとえば美しい花を
見て、「どうしてこんなに美し
いのか。そんなおどろきか
ら、神様ありがとう」など
のさけびが出てくるのです。
また、祈りは長くなくても良
い、神と人とのコミュニケーション
です。祈りは、身近
な所からおこるものと確認さ
せてくださった神父様に感謝
致します。

福岡地区 —聖パウロ小神学校—

五月十八日、聖パウロ小神
学校で開かれた研修会には、
各教会の教会学校担当者、大
神学生の五十数名が参加し、
楽しい中にも有意義な集いが
行われた。
講師には、福岡市レクリエ
ーション協会事務局の大橋



ゲームを学ぶリーダー達

光雄氏を迎えた。午前中はキ
ャンプはどうあるべきか、キ
ャンプの安全管理、子どもが

私たちの自身 メデア

カテドラル

五月十六日、世界広報の日
に、教区広報委員会主催の広
報研修会がカテドラルセン
ターで開かれた。講師は聖パ
ウロ女子修道会の視聴覚製作
部長、Sr白井詔子「写真」。
シスターはビデオ・オーディ
オ・カセットやCD、映画の製
作にあたり、小教区の
広報担当や一般信徒、司祭、
修道女、大神学生を含む約四
十人が参加した。
この研修会は毎年「広報の
日」の前後に各小教区の広報
担当者対象に開かれていた
もの。今年は教皇ヨハネ・パ



自然な家族計画 に関する宣言

①教えやすく理解しやすい。どのような社
会環境や文化、宗教にも矛盾しない。
②母子の健康がともに高められ、夫婦
の健康もそこなわれない。経済的な負担
もない。
③妊娠可能日が明らかにになるので、妊
娠が容易になる。不妊と誤っていた夫
婦にも喜びを与えた。妻の体を大切に
話し合っ出産計画をたてるので、夫
婦の絆は強められ、互いが尊敬し合
い、家庭生活はより堅実になる。
④子供に対する態度は肯定的になり、
いかなる発達段階にある生命も尊重さ
れる。

⑤正しい生殖の知識により、自律ある婚前
の貞潔、夫婦の貞節が高められ、性交渉に
よるAIDSその他の病気の感染から守り、
性の保健の分野にも重要な意味と力を持つ。
福岡教区 家庭委員会

心の触れ合い大切に —バザー盛況 老司教会—

五月九日に、恒例のバザ
ーが実施された。朝からの雨に
出足が心配されたが、近隣の
未信者の方や他教会の神父様、
信徒の方々がためかけ、例年

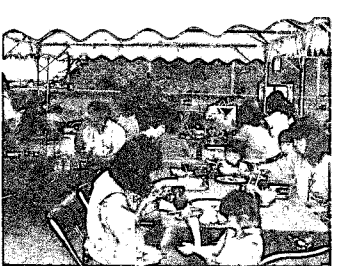
カトリック唐津幼稚園 二十一世紀の曙

「二十一世紀を目指して」と
いうことは最近頻りに叫
ばれていますが、度々こうい
う表現には暗い警戒心を感じ
るようになります。私は幼稚
園の子供を見て、二十一世紀
がもう始まったような気がし
ます。この子供たちが二十一
世紀の曙ではないかと、思っ
たからです。強い希望のセン
スを与えてくれます。幼稚
園の子供たちがいなかったら
教会は月曜日から金曜日まで
荒れ野のようになってしまう
かもしれません。子供たち
の祈りが神様が造られた喜
びに満ちたエデンの姿を見せ
てくれます。

幼稚園のできごと

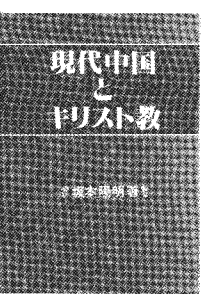
ベツレヘムの喜び
日本にきてから、毎年十二
月二十五日になると寂しさを
感じさせられました。それは
日本でその日が平日なので、
町(東京)を歩いてみたら、

と変わらぬ盛況となった。バ
ザーの目的を、新聖堂建設資
金返済のためだけでなく、教
会共同体の協調と近隣の方
との触れ合いにおき、一丸とな



神の国の発展を目指し

「中国で起きている
いろいろな出来事や問題は、
…神の似姿である人間がよ
りよい社会をつくりあげてい
こうとする人間社会全体の進
歩の課程の出来事として、捉
えていくことが大切である」
(まがきより)



★現代中国とトリスト教
坂本陽明著
本書は、中国人社会の中で
生活している著者が、キリス
ト教を中心に、政治、宗教、
社会問題などについて紹介す
る。
中央出版社 一、五〇〇円



★もくもくドーム
作・岩国哲人
絵・土田義晴
野球のだいすきな子どもと
んたちと町の人々。でも、子
どももおとなも、ずっと負
けてくやしい思いを続けてき
ました。まっ白な砂浜で、甲
子園をめざして、きょうも練
習です！そんなある日、思い
がけないことが…
小学一・二年生向けの絵本。
出雲地方に、野球の本場アメ
リカの木を使った世界一の高
さの木のドームが誕生しまし
た。このドームにちなんで、
少年たちの夢をふくらませた
美しい物語が生まれました。
女子パウロ会 九五〇円

ジャパン建築株式会社

不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築

〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800

代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計株式会社

建築設計/企画・設計・監理

〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550

代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア
高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

素材 { 大御影 石 他 }

会合と催し

6・7月の行事

※ゴシックは司教日程
☆は「福音宣教を考える日」

6月
6日 三位一体の主日
本渡教会堅信式
移動青年の集い(大名町)
☆箱崎教会
教区顧問会
11日 聖書講座第4回
キリストの聖体
13日 二日市教会堅信式
NICE研修会(新田原教会)
18日 イエスの心
聖書講座第5回
20日 教区信徒協、役員会
14時00分 カテドラル
司教総会(26日まで)
21日 洗礼者ヨハネの誕生
25日 聖書講座第6回
27日 聖ペトロ使徒座・献金
佐賀教会堅信式
教区修女連研修会
29日 聖ペトロ・聖パウロ使徒

7月

2日 聖書講座第7回
3日 聖トマ使徒
9日 聖書講座第8回
16日 聖書講座第9回
17日 夏期信徒研修会(18日)
23日 聖書講座前期最終回
福岡黙想の家
5/31 6/2
サン・スピリウス大神学生
黙想
2/11 修道女のための8
日間の黙想
指導・鈴木忠一神父
6日 典礼・聖歌と祈りの集
い
14/18 那覇・鹿児島・大分
教区合同・司祭黙想会
20/21 聖母カテキスタ会
黙想
23日 日本聖公会婦人会祈り
の集い
28日 日本キリスト教福岡地
区婦人会祈りの集い
聖ペトロ使徒座への献金
ヨハネ・パウロ二世教皇様
の宣教活動援助のために、六
月二十七日(日)に献金をお
願いたします。よろしくご
協力ください。(教区会計)



聖徒の交わりという信仰
簡条が、しきりと心にしみ
る。聖徒の交わりという
聖人のことと、かけ離
れた感じがするが、「心の通
い」といえばピンとくる。
忙しさにまかして信者訪問
を後回しにしていると、し
きりと呼び寄せられる。

先日も、半年も前に電話
をいただいていたお年寄り
の方から呼び寄せられ、
やっとの思いで家を見つ
け、訪ねた。手帳に書き付
けていたのだが、年を越し
て昨年のもので、年を越し
て家を建てたような次
第。狭い路地らしく、ある
いは悪魔の邪魔なのか、何

聖徒の交わり

度も試みたがなかなか見つ
かない。やっとなにに名前を
見つけ、一安心。半年以上たっ
ているので、いるものか覚え
ておられるのか。多分前払
いだらう。覚悟しておるお
そるベルを鳴らした。娘さん
か嫁さんか分からないが、一
人の女性が玄関に出られた。

夕方七時、今頃何の用とい
わんばかりの顔。「ちよつと
今は……」と体いお断わり
の言葉。「いえいえ、結構です。
家を探ただけです。また来
ます」早々に引き上げようと
急いで挨拶をすまし、帰りが
けたところで「おばあちゃん
どなたか湯川教会からお見え

です」と本人を呼んでくれ
た。「今はちよつと……」ま
たおばあちゃんも追い払いの
言葉。「いえいえ、また来ま
すから……」。とにかく家を
探したし、暮れかかったら、
早く退散したいばかり。
ところがこのおばあちゃん、
自分が半年か一年前に電話し

ていたことを思い出したらし
い。「本当に神父様ですか。
わたしは目がほとんど見えま
せん(せつかく窮屈なローマ
ンカラーをしていたのに)。
湯川の神父様ですか」それか
ら玄関先で平田勇神父様のこと
と、平田惣五郎神父様のこと、
ボンカズ神父様のことなどを

日本カトリック児童施設協会
第27回全国会議

テーマ 「家庭」
期 日 6月28日～30日
6/28 13:30 開会ミサ
(松永司教との共同司式)
15:00 基調講演:松永司教
(キリスト教的児童教育
の基本的考え方)
6/29 9:00、13:30、分科会
6/30 9:00 全体会
11:00 派遣ミサ
会 場 リコホテル博多
福岡市中央区渡辺通り1丁目
*一般の方で、司教様の講演をお聴き
になりたい方はご連絡下さい
【連絡先】三井郡大刀洗町山隈377
清心慈愛園内 野田 聡 ☎0942-77-1538

聖書講座【前期～続き(全10回)】

一マタイ福音書を読む一
第4回 6/11(金)・山元 眞神父
「マタイ5～7章 山上の垂訓①」
第5回 6/18(金)・山元 眞神父
「マタイ5～7章 山上の垂訓②」
第6回 6/25(金)・西田 邦洋神父
「マタイ8～9章 権威について」
第7回 7/2(金)・浦 俊雄神父
「マタイ10章 神の国宣教者」
第8回 7/9(金)・松永久次郎司教
「マタイ11～12章『この時代』の不信仰」
第9回 7/16(金)・同上
第10回 7/23(金)・松永久次郎司教
「マタイ13章 神の国の秘義」
場 所:カテドラルセンター1階ホール
時 間:金曜日 19:00～21:00
参加費:各800円 一括:5,000円
申込み:当日会場にて

【スピリット・ソング募集】

8月29日、日本カトリック会館マレラホールに
て「第1回スピリット・ソングフェスティバル」
が開催されます。全国からオリジナルで新
鮮な聖歌を募集しています。
応募要項については下記へお問合わせ下さい。
SSF実行委員会 担当:渋谷
〒166 東京都杉並区高円寺南2-33-32
東京教区青年ネットワーク内 ☎03-3314-6039

協力者募集

社会福祉委員会(カリタス・ジャパン)

目的:教区内の諸問題を共に考え・発展
させていく。ボランティアの現状把
握と育成に携わる。

問合せ先:社会福祉委員会教区担当

(カリタス・ジャパン)

司教館 松井忠之神父

☎092-522-5139 FAX 092-523-2152

第23回 日本カトリック保育施設研修会

◎テーマ 子どもとともに

一地域につながる家族へのかかわり一

期 日:7月13日(火)～15日(木)

場 所:九州厚生年金会館

申込み/問合せ先

聖母園(湯川) ☎093-931-0322

平田 寛神父 ☎093-922-7997

※ 一般の方の参加も出来ます。

第2回カトリック愛と性を考える研修会

日 時:7月11日(日) 14:00～17:15

会 場:カテドラルセンター(大名町教会)

テーマ:家庭で生きるキリストの心

一創造への参加と夫婦愛一

講 師:ヨセフ松永久次郎司教

会 費:700円(学生400円)

主 催:信仰教育委員会・家庭委員会

後 援:日本カトリック医師会福岡支部

連絡先:カトリックファミリーセンター ☎092-541-6207

映画「月光の夏」

カトリック中央協議会広報部推薦
文部省選定 [舞台は佐賀県鳥栖市]
福 岡:5/22～ KBCシネマ北天神
小 倉:6/5～ 小倉東映シネマ
佐 賀:5/22～ 佐賀セントラル
本 本:6/5～ 熊本シネサロン
大 牟 田:6/8～9 大牟田文化会館
鑑賞券・上映についてのお問合せ
福岡・佐賀 092(712)5297
熊本映画センター 0963(81)1214

韓国巡礼

日 時:8月27日～29日
場 所:釜山を中心に
対 象:青少年
定 員:15人
参加費:50,000円
主 催:教区青少年担当司祭団
申込問合:カトリック小倉教会
中村 彰 神父
☎093-921-0093
締切り:7月末日

小神学校基金への
ご寄付

原千代子様より小神学校に
金一封いただきました。
心より感謝申し上げます。

福岡小神学校 森山信三神父



聖パウロ女子修道会

一九一五年イタリア・アル
バで、ヤコボ・アルベリオー
ネ神父と共同創立者、テレ
ザ・メルロによつてはじめ
られた本会は、一九四八年来日
した。
出版物や視聴覚メディアを
通して、主キリストを宣べ伝
える使命をもつた私たちは
時のしるしをよみとり、教会
と共に宣教するよう招かれて
いる。
「全世界に行つてすべての
造られたものに福音を宣べ伝
えなさい」との主キリストの
みことばに従い、今、世界に

6月命日の司祭

*平田好師
一九三八年六月二十一日
元門司港教会主任
*ドミニコ深掘仙右衛門司教
一九八五年六月二十一日
第三代福岡教区長

編集室から

日差しが日増しに強くなつ
てきた。女性にとつては一層
気になるところだ。実に、光
があたる所は明るい。見えな
かった所もよく見える。置物
のほこり、隅のゴミ。見たく
なくとも見えてしまうのであ
る。お客さんが見えたら大変
だ。あわててきれいにしよう
とする。いつも心掛けていれ
ばよいのであるが、ほこりだ
けの部屋は息苦しい。ほこ
りのある人はいが。さあ、
主の光のシャワーをあびて、
ほこりをもつて仕事をすすめ
よう。頭の中の蜘蛛の巣も取
り払って、新鮮な空気を取り
入れながら。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転
を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害
保険、保育園、幼稚園児を守る、企
業賠償保険

〒814-01

福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤木 鐵三

福岡支店長 小田 正人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

今月のみことば
わたしは道であり、
真理であり、いのちである
(ヨハネ14・6)
荒尾 K・オマホ二神父

司祭の不足深刻

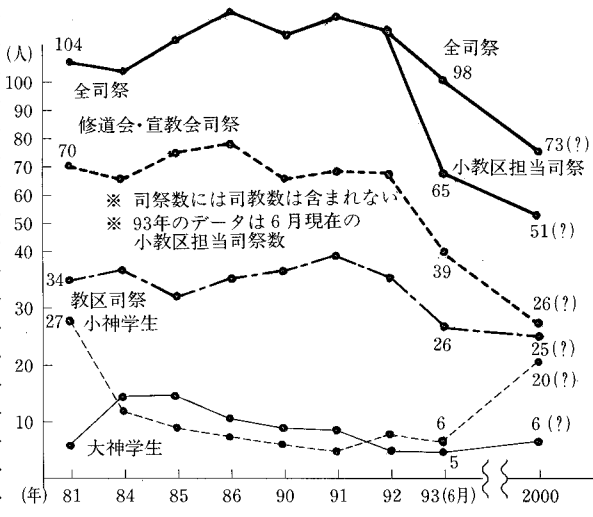
一教会に一司祭は困難?!

「召命の危機にある」といわれて久しいが、司祭の数だけを考えても、神の国発展に力不足を危惧せざるを得ない。何も対策を考えずにこのままだと、近い将来「一教会に一司祭」は困難な状況になる。

「福岡教区報」編集部では、一九九一年の七月号から三回にわたって「召命をより真剣に考える」をテーマに召命について論じた。今回も、より深く召命について考えるための関係資料を、教区事務局(事務局長・山元眞師)に求めた(グラフ参照)。

それによれば、現在、教区には98人の司祭がいるが、そのうち小教区を担当している司祭は、教区所属司祭が26人、修道会・宣教会所属司祭が39人である。この数は八十一年から九十二年の統計では最も少ない数である。外国人司祭の来福がこれ以上望めないのに合わせて司祭全体の老齢化が進むなかで、小教区で働く司祭の数が減少の一途をたどるのは必至である。

二〇〇〇年には、現在の全司祭数の約三分の一(三十人)が75歳以上になる。75歳は原則的に引退の年齢である。現在の大神学生は



10年間の司祭・神学生数の推移
2000年に注目!!

5人(最も低い数値)。順調にいけば、そのうちの4人が二〇〇〇年には司祭になる。小神学生は6人であるが、現在最上級生は中学三年生。つまり、このままだと、向こう十一年間で司祭は5人しか生まれないことになる。この

時の話題

得藤 己代治

今、神が各々に与えて下さる恵みは、各々に対して唯一のもの。これを「ハイ」は「ハイ」の心で受ける。これが信仰の充分条件であり、それを証することが必要である。私たちが神を遠くから求めるとき、神が必要とする恵みを超えて、その御旨を「人間の考え」で誤った「神の偉大な計画」に「人間の考え」を差し挟もうとした事件とも似てくる。もともとこの福音は、現代の私たち

福音に従順に生きる

「あなたの信仰があなたを救った」として神に結ばれた。彼らはひたすらに神の知らせを待ち望みその知らせの中に自分の信仰をおいた。今は福音とそれを解く鍵も与えられていない「聖霊の時代」。それ

を私たちは無償で預かっている。その小さな預言者だとして、その中にこそ私たちの真の信仰を確実に成長させない手はないはずである。まことの自分の在り方を発見するために、私たちは福音の中に一つでも多くの神の御旨を求め、それを共に証して信仰の更なる糧としたものである。小郡教会では五月十六日に信徒総会による「召命の基金」を誕生させた。これは、マタイ福音九章三十七節・ルカ福音十章二節に基づいて神の御言葉への忠実、従順を示す信徒の心意気である。このユニークで元気な小さい種が、教会の役に立つ日も遠くないと信じている。(小郡教会)

召命学校ご案内

召命学校について再度ご案内いたします。今月の教区報第一面には、司祭数の減少と将来の深刻な見通し、召命の危機が叫ばれています。召し出しの増加と豊かな実りは、信徒一人ひとりの願いであるはずで、そのようないいことを、どうかたくさんの子供をこの召命学校に送り出して下さり、危機打開の希望ある第一歩としたいものです。

パウロ小神学校「召命錬成会」
日時: 7月21日(水) 16時~23日(金) 10時
場所: 福岡聖パウロ小神学校
対象: 小学3~6年生男子
参加費: 1,000円(交通費は自己負担)
7月15日までに下記へお申し込みください
〒810 福岡市中央区小笹4-11-11
聖パウロ小神学校 杉原寛信神父宛
☎ 092-531-0924

福岡小神学校「召命学校」
日時: 8月19日(木) 16時~21日(土) 13時
場所: 福岡小神学校
対象: 小学4~6年生男子
(中学生の希望者も可)
参加費: 2,000円(交通費は自己負担)
定員: 30人/8月10日締め切り
申込み: 福岡小神学校 森山信三神父宛
☎ 092-531-6821 FAX 092-524-7373

ことから分析してみると、二〇〇〇年(七年後)に小教区で働いている司祭は51人になると予想され、現在の小教区数が57であることを考えれば「一教会に一司祭」は無理なことになる。つまり、今後は巡回教会が増えていくということである。

過度の悲観はゆるぎのないとしても、より一層の祈りが要求されることは明らかである。現在の神学生を励まし、召命の促進を具体的に計るとともに、信徒の養成も急務と考えられる。

推進して行けばよいのかを全国レベルで考える会議です。昨年六月末の定例司教総会で第二回全国会議の「課題」が決定されました。この課題の意味をもう一度確認しておきたいと思っています。

「神父様、いつも黒いドレスを着ているけど、どうして？」とスータンを引っ張りながら子供が聞く。ある集会では大人がそう聞いた。「黒いのを着るのはね、イエス様がそうだったように、世の中の悪いこと(罪)に死んだためだからだよ。悲しみの色なんだよ」とあまり分らない答えをする。罪に死ぬ。それは、キリストを模倣することである。キリストは罪こそなかったが、私たちのために世の罪を背負ってご自分を捧げられた。司祭もそれを思いつけて黒い服を着る。さらに主は、当時最高の悪とされていた死に勝利し、預言通り復活された。そして「勝利の白」をまわされたのである。▼「神父様はミサの時にいろんな色の服を着るけどどうしてなの？」と聞かれる。もちろん、祈りに専念して、色のことなど気にしない信者は多いが、教会学校でも習うことであるが、それは五色(白、赤、緑、紫、黒)ある。そしてそれを、典礼の季節や祝祭日に応じて着る。決して気分転換ではない▼先日、「助祭・司祭候補者認可式」に与った。荘厳なミサの中で、福音に奉仕する若者の希望が教会に受け入れられる時である。それまでの数年間、心身共に神に捧げながら司祭職に就きたいとの思いで頑張ってきた若者の喜びの時である。彼らは、あこがれの黒い「スータン」を着けた。初々しいスータン姿は、よれよれのスータンしか持っていない司祭には、まぶしく見えた。しかし、彼らに若かりし頃の自分の姿を思い出した。自分が決めた道、そして神が引っ張って歩んでくださった道を是非、最後まで歩んで欲しい。信者も待っている。五色の祭服を着るその姿を早く見たい。

助祭・司祭候補 福岡教区から 3人認可

六月二日、サン・スルピス大神学院聖堂において、大分教区長平山高明司教の主司式の下、助祭・司祭候補者の認可式が行われ、福岡教区三人と長崎大司教区三人の神学生が司祭職への決意を公に表明しその決意が教会に公に受け入れられた。平山司教はミサの説教の中で、多くの人が神を求めている現代社会の状況を指摘し、それに応え得る司祭になるために「司教養成の場である神学校において、中途半端な態度ではなく、真面目に誠心誠意、司教職の準備



左から、牧山、田中、日高 各神学生

「課題」を知って ますか
今年の十月二十一日から二十四日まで長崎で第二回福音宣教推進全国会議(NICE2)が開かれます。この会議は文字通り、どのように福音宣教を

者家族・友人で一杯になった。式後は神学院の食堂に場所を移し、祝宴が行われ、一同で喜びを分かち合った。この日認可を受けた教区神学生の氏名と所属教会は次の通りである。日高弘・牧山美好(糸島) 田中重治(西新)。そのためです。二人、三人で、家族で、いろいろなグループで、小教区で、「現実」に目を向ける時、その現実の中で働いておられる神に気づくでしょう。それが「福音」に他なりません。それに気づいて初めて福音を「宣教」することができるようではないでしょうか。ぜひ「分かち合い」を続けていたいただきたいです。(全国会議教区準備委員会)



聖人と私たち



狭い通りを大型のトラックがゆつくりと走って来る。道の端を若い母親が、片手に4、5歳の子供の手を引き、他方の手に赤ん坊をしっかりと抱いて歩いて来る。トラックに気づいた母親は、子供たちをトラックから守るようにして道の端により、トラックが通り過ぎるのをじっと待っている。この母親も小さい時、同じように自分の母親によって守られて来たのだらう。

しかし、手を引かれ、胸に抱かれた子供たちは、この母親の些細ではあるが精一杯の愛

情を感じているのだろうか。どんな人でも、その人なりに両親の、また他の人々の愛情を受け、守られながら育つ。愛を受けるほど、そしてその愛に気づくほど、愛してくる人を仰ぎ、模倣し、愛することを知らずにはいない。

ところで、キリストは言われる。「天の父が完全であるように、あなたがたも完全な者とならなさい」(マタイ5・48)。このキリストの勧めによりよく生きた者は聖人たちに近づくことと日々努めている私たちが模倣すべき、仰ぐべき人々である。福音宣教による世の聖化に招かれている私たちは、彼らに倣い、聖人にならなければならない。聖人であることは、現実の生活を棄て、全く別人になることではない。人間の本来の生きるべき姿に生きた人たちが聖人なのである。私たちの存在は神に向けて常に開かれている。この神への傾きに生きていることが人間の本来の在り方である。言い換えれば、全ての人が生きる限りにおいて聖人になるように招かれている。聖人は今、ここに、現実の生きる私たち自身(のあるべき姿)なのである。

愛に包まれることによって初めて生きることを、そして愛することを悟る。私たちは神の愛に包まれて生きている。「神は愛である。愛に留まる人は、神に留まり、神もまたその人に留まっている。こうして愛は私たちの内に留まる」(ヨハネの手紙1・4・16-17)。

この神の愛を、自己の全存在を挙げて感じるものになりた。その為には心の目を、自分の姿を飾ることにではなく、神の愛に生きた聖人たちの仰ぎ、見做うことに向けた。丁度子供が母親の姿を仰ぎ見て、本当の愛を悟り、見做う者となり得るように。

サン・スルピス大神学院
大山 悟神父

神父様へ質問しますQ

聖書はほんとうに神さまが書いたのですか。

(T・Y)

そうですね。でも神さまがこの地上に降りてこられて、えんぴつやボールペンを使って書かれたわけではありませんが、聖書ってどんなふうに書かれたのでしょうか。

「T君が、わたしのノートにいたずら書きをした」といいます。わたしがそれを知らないで「これ、だれが書いたの?」と尋ねたとします。そうするとT君は「このペンが書いたのです」と答えたといします。わたし「冗談を言わないで、だれが書いたか言ってください。」と「ぼくです」と答えます。そう、確かにいたずら書きをしたのはT君ですが、ノートの上に直接字を書いたのはペンです。T君がこのペンを使って書いたのです。ペンが一人歩きするはずはないから、でも同時に、T君の頭(脳)や手がないとやはり書けないでしょう。これと同じように、聖書を書いたかたは神さまで、神さまが人間というペンを使って書いた



す。わたしが教会学校の子に「ここに線を引きなさい」というと、T君はそれをしないうかた迷うでしょう。マジックでいろいろな色を使うと楽しいですね。神さまもマタイとかヨハネとかいろいろな色を使って書きました。でも書いたのはいつも同じ神さまです。そして、そのお弟子さんたちは、みんな神さまから力を受けて、神さまがこれを書いてほしいなあと思われていることを全部書きました。神さまは、マタイとかヨハネというペンを使って書くとき、そのお弟子さんたちの性格を大切にしました。だから聖書の中には、やさしい性格の人が書いた本もあるし、厳格な人が書いた本もあるし、漁師さんが書いた本もあるし、牧師さんが書いた本もあるし、自分のおつしやりたかったことを、たくさんの人を使ってわたしたちに伝えてくださったわけですね。

小神学校・森山信三神父

福岡ブロック

移動青年の集い

毎年恒例になった福岡ブロック移動青年の集いが今年も六月六日にカテドラルで行われた。写真。



ブロックの青年が各教会(大名町、光丘、笹丘、吉塚、箱崎、西新、老司、二日市)から手伝いにつけ、移動青年と合わせて三十人程が集まった。内容は、ブロック担当司祭と会長の話、自己紹介、茶話会、フォークギターによる聖歌の合唱、礼拝会修道院での夕食会などがあり、お互いになごやかな雰囲気の中に交流を深めることが出来たようだ。

知ったおきたの 教会法



キリスト 信者(1)

現在の教会法は一九八三年に公布されたものです。この中から、「信者」に直接触れているところ(本分)を紹介いたします。

(キリスト信者とは)

第二〇四条(一)「キリスト信者とは、洗礼によってキリストに合体されたことにより神の民とされた者である。キリスト信者はこのゆえに、各人各様に、キリストの司祭的、預言的及び王的任務にあずかり、各自に固有の立場に応じて、神が教会にこの世で果たすように託した使命を実践するよう召されている。」

(二)この教会は、この世に設立されかつ秩序ある社会として、ペトロの後継者及びそれと交わりのある司教たちに

よって治められるカトリック教会のなかに存する。(聖職者と信徒)

第二〇七条(一)教会においては、神の制定によってキリスト信者のうちに、法的に聖職者と呼ばれる聖務者がある。他は信徒と呼ばれる。

(信者の義務)

第二〇八条 すべてのキリスト信者は、キリストにおける新生のゆえに、尊厳性においても行為においても真に平等であるから、みな、それぞれ固有の立場と任務に応じて、キリストの体の建設に協働する。

第二〇九条(一)キリスト信者は、常にその行動様式においても教会との交わりを保つていなければならない。

(二)キリスト信者は、全教会に對し、かつ、法の定めにより自己の所属する部分教会に對して有している義務を慎重に果たさなければならない。

【教会法上での「信者」と「信徒」の区別に注目】

移動青年たちの中では、長崎から来ている学生が多い。知らない土地に来て心細い思いをしている人が多いと思うが、こういう機会を通して、新しい仲間を増やし教会共同体から離れずに頑張りたい。未来の教会共同体を運営していくのは、ほかでもない若い彼らのみだから。

福岡ブロック青年担当司祭 中村信哉神父

共感求めて

バザーを!

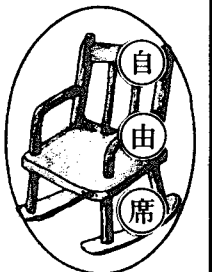
五月三十日、聖霊降臨祭の恵みの日に「共感を求めてバザーをしよう!」のスローガンのもと、光丘カトリック会館の建設バザーが行われ、大いに盛り上がりました。

天気にも恵まれて、盛況のうちに終えることができました。



の思い出を頂き、光丘教会一同大いに励まされました。皆さんどうもありがとうございました。このバザーを通して相互の交わりが、少しでも深まったのではないかと思っています。これからも、このつながりと共感の中で、共に歩んで行きますように。神に感謝!

光丘教会・青木 悟神父



幼子の心のように

先日、友人の一歳六ヶ月になる女の子と、思いがけなく二人だけで散歩をする機会に恵まれました。まだおぼつかない足取りですが、それでもかわいい手をしっかりとつかんで、一生懸命歩きます。彼女にとって目に映るものが好奇心の対象です。興味あるものを見つけると、一目散にかけて行ってはしゃぎ回し、じつじつと観察です。私も彼女と一緒に歩いて、うすうすの草の小さな花や萌え色を眺めながら、うわーかわいいわね、などと言いがら、すっかり大人であることを忘れていました。思えば、幼い日にこんな風に小さな、それでいて広い世界に感動していたのかと思ふな気がします。わたしがまだよちよち歩きの時、心は余裕がなく無我夢中で、あれもなければこれもしなければと毎日せきたてられるように動いて、共に楽しむことも少なかったように思います。随分すまぬことをしたと反省することしきりです。

小さな天使は目の前のモノシロチョウに心を奪われ、「あっち、あっち」と催促です。今度はどんな所に連れて行ってくれるのでしょうか。生命の不思議、生命の輝きをあらためて教えてもらった貴重な一日でした。洗礼のお恵みを受けてからまだ日も浅い私ですが、毎日を今までのような充実感をもって迎えられるのがうれしくてたまらないです。これからも幼子のような素直な気持ちで、神様の言葉に耳を傾け、感謝の気持ち忘れず、信仰を深めていきたいと思っています。

戸畑教会・高島千晴

祈りの日へどうぞ



- ◆ 毎週火曜日
- ◆ 11:00~ ミサ
- ◆ 12:00~ 昼食(沈黙・粗食無料)
- ◆ 13:00~ 十字架の道行き
- ◆ 14:00~ 聖時間・夕の祈り

【申込・問合せ】 御受難修道会・福岡黙想の家

☎ 0940-32-3222 〒811-41 宗像市名残 1056

※JR赤間南出口よりバス(自由ヶ丘南3丁目行き)自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

- * 消防設備 設計・施工
- * 電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33

代表取締役 ヨハネ 土本政実

☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※求人 信者の方を求む! 詳しくは電話をしてください。

別れ・出会い・旅立ち

草苑 (SOUEEN)

ご葬儀

木下株式会社

TEL 092-526-5656

福岡市中央区平和3丁目1-5

一般市民を招き交流

93 佐賀カトリック・フェスティバル

五月三十日の聖霊降臨の祭日に、「93・佐賀カトリック・フェスティバル」が開かれた。佐賀教会では、今回初めての試みとして、カトリック教会の姿、心、活動を「フェスティバル」という形で一般市民に楽しく紹介しようと企画された。

盛り沢山の催し物を観ても、キリストと教会を身近に感じてもらうと同時に、このイベントを通して教会内の活性化・信者間の横の連携を図った。

一人ひとりの参加を考え、結果よりも準備の過程を大切にし、神の家族また共同体としての関わりも重視された。前日の準備は雨天。当日はどのようなことやらと心配したものの天気は良好であった。まず、聖堂では、ミサ聖祭が行われ、誰もが分かるようにと解説がつけられ、初めて訪れる人も理解できるようにされた。その後、テンドグラスの紹介があり、教会の音楽に親しんでもらうためにオルガンによるミニコンサートも行われた。多数の人が聞き入った。お祭り広場では教会に関するスケッチ大会、ゲーム、コーラス等が



小雨の中、先輩クルシリシタの運転するワゴン車で、私たちは黙想の家に向かいまし。その日の十九時、練成長の号令の下、いよいよクルシリヨが始まりました。初めのうちは何をさせられるのやらと思っていたのですが、スケジュールをこなしていくうちに、同じ目的に向かって助け合って歩く喜びを味わっていました。一日一日心は開放され、参加者の顔はさらに明るくなり、休憩時間にはあちら

あった。特に紙芝居では、「今日の出来事」のタイトルで聖霊降臨のことが分かりやすく説明された。

また、国際交換会では、ガナ、インド、ペルー、フィリピン等の研修医留学生を迎え交流を深めた。出身国は違えども、神を信じる者が集い、交わった。

神の家族として心を一つにし佐賀教会から宣教に携わろうと意思確認をし、終了した。佐賀教会・佐藤昭伸

こちらに談笑の輪が広がっていきました。最終日は肩を抱き合い再会を約束して黙想の家を後にしました。

私たち参加者にとっては僅か四日間のことでした。しかし、今年三十二回を数える陰には多くの方の愛と奉仕の心があつたことを知りました。私たちも神様のお望みを生きるためにどう生きたらよいのか問われていると思います。光丘教会・竹市ヒロ子

飯塚聖母幼稚園

かつて炭鉱の町として栄え現在は学園都市として、また国際的な車椅子テニス大会の会場ともなっている飯塚市の中心部に本園はあります。園児たちは、父母の車や徒歩、JR、西鉄バスを利用して登降園をしています。

昭和十年、初代ドルレ神父様が創立され、約六十年の歴史と伝統を持つ幼稚園です。園舎は木造平屋で、市内でも一番古く、園庭には大きな桜の木や緑も多く、桜や藤の花等が美しく咲き花等の目を楽しませてくれる、子供たちにとつては、とても素晴らしい自然環境を目にする事ができます。また園庭には二ワトリ、ヤガモ等が放し飼いられ、ウサギ、カメ、ウズラ、インコ、チャボといつも仲良しく過ごしています。またハトも毎朝夕定期的に餌を食べに来ます。そのような環境の中で

子供たちは毎日のように動物に餌を持って来て、「ウサギさん、お早よう。大きくなつてね」「ニワトリさん、ご飯をあげるから今日も卵を産んでね」等と会話ははずみ、動物との触れ合いから一日が始まります。子供たちは自然保育の中で遊んでいます。五月十二日、年長組はライオンズクラブの方々と近くの公園で巣箱を作り、四十個の巣箱を掛けました。聖霊降臨の日にウズラが初めて卵を産み、子供たちも職員も大喜びです。五月三十一日には、聖母行列を行い、女の子は花の冠をつけて花をまき、天使役の男の子は金の冠をしてマリヤ像を担ぎ、アウエ、アウエと歌いながら行列しました。今年七月に、六十周年の温もりの園舎が壊され、新園舎建設の運びとなります。職員は園庭の木が大好きなのでちよびり淋しい気もしますが、新園舎に喜びと期待を持ち、感謝の気持ちで忘れずに皆、聖母の子供として頑張っていきたいと思っています。

園長 A・ペルトラン神父

★ちいさなアコーディオン

作・飯島敏子
絵・高橋貞二

★ちいさなアコーディオン

町はずれのあき地に捨てられ、「もういっとう空を見たいなあ……」とさびしく空を見ていた小さなアコーディオンが、風にのって遠くへ飛んでいきました。森の動物やひとりぼっちのおじいさんに拾われたアコーディオンは、みんなを幸せに、しあわせを運ぶアコーディオンになって、今、森でうたっているのです。

女子パウロ会 一、〇〇〇円

クルシリヨに参加して

五月十五日から二十日間の日程で、松永久次郎司教様を団長に司祭、シスター、信徒（長崎、福岡、倉敷、佐賀、熊本、横須賀）総勢五十人の一行は、神の祝福のもと、ミサを中心とし、み言葉を思いながら、祈りの心をこめて、主イエス・キリストの地上の生活の場所、四つの聖福音書の背景の地を訪ねる聖地巡礼の旅をしました。

聖地巡礼

夜明のシナイ山

50人が立つ

幼稚園のできごと

子供たちは毎日のように動物に餌を持って来て、「ウサギさん、お早よう。大きくなつてね」「ニワトリさん、ご飯をあげるから今日も卵を産んでね」等と会話ははずみ、動物との触れ合いから一日が始まります。子供たちは自然保育の中で遊んでいます。五月十二日、年長組はライオンズクラブの方々と近くの公園で巣箱を作り、四十個の巣箱を掛けました。聖霊降臨の日にウズラが初めて卵を産み、子供たちも職員も大喜びです。五月三十一日には、聖母行列を行い、女の子は花の冠をつけて花をまき、天使役の男の子は金の冠をしてマリヤ像を担ぎ、アウエ、アウエと歌いながら行列しました。今年七月に、六十周年の温もりの園舎が壊され、新園舎建設の運びとなります。職員は園庭の木が大好きなのでちよびり淋しい気もしますが、新園舎に喜びと期待を持ち、感謝の気持ちで忘れずに皆、聖母の子供として頑張っていきたいと思っています。

園長 A・ペルトラン神父

幼稚園のできごと

子供たちは毎日のように動物に餌を持って来て、「ウサギさん、お早よう。大きくなつてね」「ニワトリさん、ご飯をあげるから今日も卵を産んでね」等と会話ははずみ、動物との触れ合いから一日が始まります。子供たちは自然保育の中で遊んでいます。五月十二日、年長組はライオンズクラブの方々と近くの公園で巣箱を作り、四十個の巣箱を掛けました。聖霊降臨の日にウズラが初めて卵を産み、子供たちも職員も大喜びです。五月三十一日には、聖母行列を行い、女の子は花の冠をつけて花をまき、天使役の男の子は金の冠をしてマリヤ像を担ぎ、アウエ、アウエと歌いながら行列しました。今年七月に、六十周年の温もりの園舎が壊され、新園舎建設の運びとなります。職員は園庭の木が大好きなのでちよびり淋しい気もしますが、新園舎に喜びと期待を持ち、感謝の気持ちで忘れずに皆、聖母の子供として頑張っていきたいと思っています。

園長 A・ペルトラン神父

★ちいさなアコーディオン

作・飯島敏子
絵・高橋貞二

★ちいさなアコーディオン

町はずれのあき地に捨てられ、「もういっとう空を見たいなあ……」とさびしく空を見ていた小さなアコーディオンが、風にのって遠くへ飛んでいきました。森の動物やひとりぼっちのおじいさんに拾われたアコーディオンは、みんなを幸せに、しあわせを運ぶアコーディオンになって、今、森でうたっているのです。

女子パウロ会 一、〇〇〇円



家庭 第2回 全国会議に向けて

一九九二年十二月に行われた「自然な家族計画に関するローマサミット」に、私たち（科学・社会・倫理学者）は異なる国、文化、宗教的背景を持つて会したが、前記に関して以上の点を勧告する。

①教会は、今後とも伝統的な宗教や人間の価値を定めるために「自然による家族計画」の促進に一層の努力をすること。②医学の専門家は、自然の家族計画のための科学的方法を研究促進し、全ての医学教育機関で教えられるようにすること。③国立の協会を結成し、自然による家族計画の方法を擁護する人たちが協力し、助け合い、情報交換できるようにすること。④「自然による家族計画」を世の男女に広め、結婚した夫婦が責任ある親となるように指導すること。

自然な家族計画のすすめ

⑤司祭は、「フマーネ・ヴィテ（人間の生命）」と「家庭—愛のいのちのきずな」に述べられた「司牧的な手引き」に注意し、具体的に生かし、また自然による家族計画の研究と指導を進める上で具体的な援助を与えること。⑥家族のため、母子のため母乳育児を推進し、公共の福祉は母親が母乳育児ができるようにすること。

一九九三年は、「フマーネ・ヴィテ（人間の生命）」発布から二十五周年を迎える。私たちはヨハネ・パウロ二世の「家庭—愛のいのちのきずな」における教えと絶えざる援助と励ましに感謝の意を表明したい。また、①自然による家族計画を通して責任ある親となることを強く推奨してきたカトリック教会 ②希望と自信を持って将来を見つめ、これまでこの方法を真の方法として選んできた世界中の夫婦 ③自然の方法を助け推進することに専念してこれた指導者の方々にも感謝する。

（自然な家族計画に関する勧告より抜粋）
福岡教区家庭委員会 記



シナイ山の山頂に立つ

どの聖地においても、かぎらない神の愛の恵みで満たされ、一同は感謝の日々でした。この感動、感激はこれから先の各自の心の糧となることでしょう。また、お互いにすばらしい仲間として、多くの思い出を持ったことは、この巡礼の大きな実りだと思います。行程の中で、特筆すべきことは数々ありますが、中でも、モーセが主から命じられて登ったあのシナイ山を、懐中電灯で足もとを照らしながら自

結婚準備セミナー

ノンクリスチャンの声

結婚式場を選択する時、披露宴会場での略式結婚が何だかいかにも形式的、商業的で出来ればきちんとした形で式を挙げたいと思ひ、教会式を申し込んだ。ただ、教会式の前提として、準備セミナー参加が義務と知り、正直やっかいだなと思ひ、その内容も知らなかった。が、実際にセミナーの回数を重ねる度、本来、結婚する人たちは全てこのようなセミナーを受けるべきだと思ひ、我々は見合

決めたのである。一緒になつていく者たちとしては、このセミナーを通してお互いのより深い対話、普通なら言いにくい話題を、心から対話できたいことは非常に幸運だったと思ひ、これからの心身の対話を大切にして二人の人生を大切に生きて行きたいと思ひ、このセミナーを通して、妻となる人より深い対話をすること、これを本書の意図である。『おわりに』から抜粋。

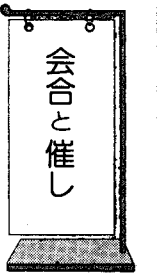
中央出版社 一、二〇〇円

主内容。偉大な使徒・パウロ／愛の学者・アウグスティヌス／友のために生命をささげた殉教者・コルベ神父／病院の天使・ナイチンゲール／アリの町のマリア・北原玲子ほか。

子供たちが、本書に挙げた著名な人物の神様と人々に対する愛にうたれ、自分のかけがえのない人生の意味、固有の使命を発見し、それに向かって全力を尽くすのを助ける。これが本書の意図である。『おわりに』から抜粋。

中央出版社 一、二〇〇円

ジャパン建築株式会社 不動産・管理・仲介・売買・建設・一般建築 〒810 福岡市中央区六本松4-9-4 TEL 092-761-8800 代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子	吉田設計株式会社 建築設計／企画・設計・監理 〒810 福岡市中央区六本松4-9-4 TEL 092-711-0550 代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博	祭壇・洗礼盤他 石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417
--	---	---



7・8月の行事

※ゴチックは司教日程

27日	23日	17日	16日	13日	11日	9日	8日	4日	3日	2日
モニカの日福岡地区婦人会感謝ミサ	聖書講座前期最終回	福岡地区信徒夏季研修会(18日)	聖書講座第9回	教区顧問会	カトリック愛と性を考える研修会	聖書講座第8回	教区修女連役員会	湯川教会信徒研修会	聖トマ使徒	聖書講座第7回
3・4日	6日	8日	15日	27日	31日	8/9日	8/2日	26日	21日	17日
老司壮年会黙想	主の変容	平和祈願ミサ	平和祈願ミサ	主の受胎	主の受胎	主の受胎	主の受胎	主の受胎	主の受胎	主の受胎

福岡黙想の家

3・4日 老司壮年会黙想



それは遠い昔のことでありながら、今も脳裏に焼き付いて鮮明度を保っています。大神学生時代のことでした。

窮状を察してか、「学資にでもしてください」と一宣教師から差しされた援助金を私が断った時、「実際に困っているんですよ。今は受け取りなさい。そして、あなたが出来るようになった時に、私があなたにしたいように隣人にしてあげなさい」と彼は言ったのでした。貧乏学生でありながら、気位だけが、他人の好意を素直に受け入れることの出来ないでいた私は、そ

宣教師の中に見たキリスト像

の宣教師の言葉に打たれました。彼自身が清貧質素な生活をしていたために、貧しい者のプライドを傷つけることなく愛の実践が出来たのです。「はつきり言っておく。私の兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたことなのである」(マタイ25・40)と仰せになった主のみことばが現に生きている思いがしました。あれから三十有余年経っているのに、あの宣教師のことばがいつも聞こえています。「あなたが出来るようになった時、私があなたにしたいように隣人にしてあげな



ビデオ ナイス なんだらう

聖パウロ会中央出版社は、ナイスの精神とその流れを簡単に説明した『なんだらうナイス』NICE・1からNICE・2へ」と題したビデオを、五月二十日に発売した。カラー版・三十分。価格は三千八百円。申し込み先は、中央出版社福岡支部 ☎〇九二一五三一〇八九九

和国墓地に関するお知らせ

- ① 一般清掃 8月1日(予備日8月8日) 8時より 清掃終了後 ミサがあります
- ② 納骨堂開放日時 8月13日・14日・15日 いずれも 10時～15時
- ③ 死者のための合同ミサ 15日14時より 委員は12時30分までに集合の事

1993年度結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター 1階講堂
日程 9月2日・4日・9日・11日・16日 18日・25日・30日
申込み カトリックファミリーセンター
問合先 TEL 092-541-6207 FAX 092-552-5022

【熊本会場】 カトリック手取教会

信徒会館2階ホール
日程 9月6日・8日・13日・19日・20日 22日・27日・29日
申込み カトリック手取教会
問合先 TEL 096-352-3030
※いずれも毎回 19:00～21:20

秋の青年のための巡礼

期 日：9月11日(土)・12日(日)
対 象：青年
行き先：津和野・乙女峠
参加費：5,000円
主 催：召命をともに祈る会
問合せ：福岡小神学校 森山信三神父 ☎ 092-531-6821

韓国巡礼

日 時：8月27日(金)～29日(日)
対 象：青少年 定 員：15人
行き先：釜山を中心に
参加費：50,000円
主 催：教区青少年担当司祭団
問合せ：カトリック小倉教会 中村 彰 神父 ☎ 093-921-0093
締切り：7月末日

参加者募集

あなたの人生の
チョイスに

福岡チョイスが2泊3日の集いを開きます。ぜひ参加してみてください。
【日時】 8月13日(金)～15日(日)
【場所】 福岡市中央区大濠 聖母訪問会
【条件】 23歳～35歳の男女
【参加費】 一万五千元
【問合せ】 深堀純・邦枝(〇九二六二五五) 松山真吾(〇九二六四四四) 桜井 真(〇九二六二四三六) 〔申込締切〕7月末日
司祭・修道者・夫婦・男女の若者の分かち合いを聞いて、ひとりで考えたり、3人くらいで分かち合ったり、グループで話し合ったりしながら進められます。

Christmas

in DOME

ドームチャリティーのつどい

「大海の一滴になるために」マザー・テレサのこぼ

日時：12月10日(金)

会場：福岡ドーム

料金：指定A 5000円/指定B 3000円(7月中旬発売予定)

主催：ドームチャリティーの集い実行委員会 [教区共同主催]

7月命日の司祭

- *ジョセフ・ブルトン師 (パリ外国宣教会) 一九五七年七月二十五日 元呼子教会主任
- *ルネ・ルイエ師 (パリ外国宣教会) 一九七〇年七月二十八日 元聖小崎育児園園長
- *ヤコブ平田勇師 一九八〇年七月二十日 元西新教会主任
- *ジョルジュ・ラクレフ師 (パリ外国宣教会) 一九八二年七月二十五日 元門司天使園園長
- *ウィリアム・シュルツ師 (スカボロウ) 一九八七年七月二日 元吉塚教会主任
- *ヨハネ平田惣五郎師 一九八九年七月三十一日 元浄水通教会主任

編集室から

梅雨も終わると、夏らしくなる。季節は自然に映える。人の心は「文字」に映える。いい心でいたい。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01

福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石 真 澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤 木 鐵 三

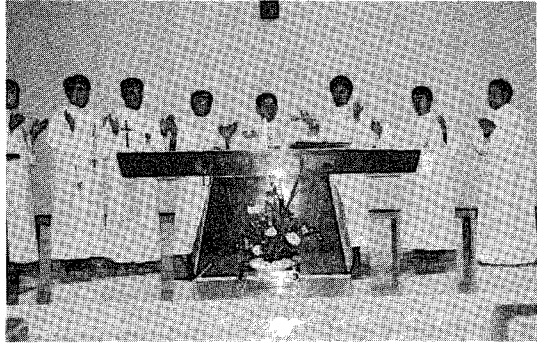
福岡支店長 小 田 正 人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

今月のみことば
罪のほかは、すべてにおいて
わたしと同じように生活された
(ヘブライ4・15)
イエズス会 S・オチョア神父

福岡は司祭を必要とする



この食卓を囲む司祭を...

祈りと共に 神の望みに応えよう

教区報編集室では、福岡教区長松永久次郎司教に「司祭召命」について寄稿をお願いした。司教は機会あるごとに教区民に「召命」について強調されるが、今回は紙面でその必要性を説かれる。

小神学校に入ってから、大神学院を経て司祭になるまで、通常十四年間の勉強・修養の期間が必要です。ところで、現在福岡教区には、小神生、大神生合わせて十一人です。すべてが順調に行っていたら、今から十四年の間に十一人の新司祭の誕生が期待できます。しかし、十四年後と言いますと、時は西暦二〇〇七年になります。そしてその西暦二〇〇七年までに、現在、直接信者さんのお世話をしている神父様がたのうち、四十人余りが七十五歳の定年を迎えます。結局、差し引き三十人余りの司祭が少なくなることになります。

どうしたらいいでしょうか。修道会や宣教会の神父様を新しくお迎えすることは、ほとんど不可能です。そこでも召し出しが少なくなり、司祭の高齢化が進んでいるからです。信者の中から数多くの優秀な聖体

う使命です。

「みなさんは洗礼の時、祭司職を与えられたでしょう」「えっ?」「油を塗られたでしょう。あの時です」

十数人いた仲間たちは互いに顔を見合せて、

すると、その司祭は話しはじめた。

時の話題

橋本 芳子

「神は人を個人として救おうとはしませんでした。」

民として救おうとしたのです。洗礼は神の民になるということです。そこで個人として使命が与えられます。それは祭司であり、王であり、預言者になるという

油を注いだ(詩編89・21)。だから我々は洗礼の時、油を塗られるのです。我々が王であり、祭司であり、預言者であるということにはどんな意味があるのか、一人ひとり考える必要があります。

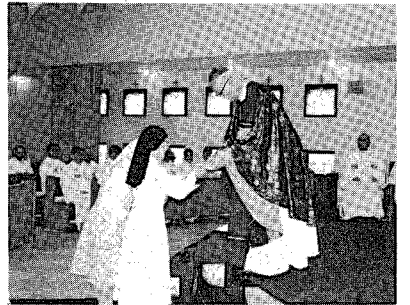
王・祭司・預言者

旧約の時代、王・祭司・預言者は、神の意志を人々の中に実現していくための人でした。そして油を塗られ、神の望みに応えようという使命が与えられました。王としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。祭司としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。預言者としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。

王としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。祭司としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。預言者としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。

つまりイエスの生き方の中に、本来的な王・祭司・預言者の生き方があるという事です。王としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。祭司としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。預言者としての役割は、神の意志を人々の中に実現していくことです。

前教区長 ペトロ平田三郎司教



満80歳を祝う 隅の親石に...

謝のミサが行われた。薄日連日の梅雨も中休み。薄日

のさすカテドラルに七十人ほどの司祭、信徒・修道者など約三百五十人が参列した。

ミサ中、平田司教は「マタイ福音書のペトロの信仰宣言にふれ、イエスは、ペトロを隅の親石にするに当たって信仰宣言を要求されました。皆さんも生ける石です。一人だけが隅の親石になるのではな

「創造への参加と夫婦愛」

パウロ六世教皇回勅「フマーネ・ヴィテ(人間の生命)」発布25周年を記念して、「第二回カトリック愛と性を考える研修会」が七月十一日、福岡のカテドラルセンターで行われた。写真。

松永久次郎司教は、基調講演「創造への参加と夫婦愛」で回勅フマーネ・ヴィテ発布の経緯や、回勅に対する反響について語り、①人間の命は聖なる尊いものであって、人間が勝手に手をつけてはならないもの。②夫婦は、神の恵みに信頼して、自然に刻みつけられた掟を尊重しながら、



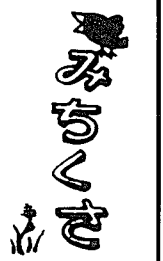
に倣うこと。以上のことから自然な家族計画にしたがって受胎調節をすべき教会の姿勢を示した。その後、「自然な家族計画、排卵法(ビルングス・メソッド)による生き方」の証しがあり、排卵法は夫婦のため、親子のため、子供の性教育のためにも大きな恵みをもたらすものであること。25年前に出された回勅「フマーネ・ヴィテ」の預言的な真理の教えそのものにも驚かされた。その他ビデオ鑑賞や小グループ分かち合いなど、普段語り合えないテーマを通して分かち合えた実りや、今後正しい知識を学ぶことの必要性も感じさせられた。この様な研修会が継続して行われることを希望したい。

神の創造のみに協力すべきこと。したがって、出産を妨げるいかなる行為も許されないこと。③生命の誕生に関わることは、「十字架を通して復活に至るキリストの生き方」



二日目は五つの担当(乳幼児、小学一・四年、五年一・中一、中二・有職、施設長と理事)の分科会をもった。各分科会では、現場からの実践に基づき意見発表がなされ、先の講演や意見発表からテーマを決め、昼食をはさみ、約六時間にわたって熱心に話し合った。

最終日は各分科会の報告があり、大会宣言では「第二回ナイスのテーマ「家庭」に視点を置き、カトリック福祉理念のつくり、託された児童たちへの自立支援の実践に努める」と朗読され、日程が終了した。閉会式後、派遣ミサの祝福を受け散会した。



神を選んだ婚約者

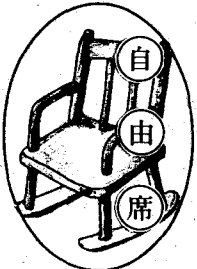


ある日一人の青年が教会を訪れた。見るからに上品な好青年であった。勉強して信者になりたいという。もちろん私は喜んで。早速、私は彼に求道者の要理に来るように勧めた。彼は、決められた日に約束通り、やって来た。そして、その時から一年間本当に真面目に、忠実に要理に通い続けたのである。私はある日彼に、「教会に来たきっかけは何ですか」と尋ねると、彼は「実は、僕のフィアンセがカトリック信者なんです」と言った。次の週、彼は私に「

信仰教育をする事など、あなたにこういうことが理解できるでしょうか。たぶん、判断に苦しめる事だと思います。あなたが、そういう私と結婚するのはいやだと言われるのではありません。私には、あなたから愛されていますが、私自身から愛していません。しかし、私はキリストの愛に迫られて、そのみ手から逃げる事はできません。あと二週間です。その日まで心の準備をしたいと思います。その時に洗礼を受ける事になります。その日まで、お願いです。会合に来ないでください。そして、電話もかけないでください。神様の祝福があなたの上に注がれますように心からお祈りいたします。」私はこの手紙を読んで感動した。そして、彼に尋ねた。「それで、言われたとおりに行かなかったのですか」「いいえ、すぐに会いに行きました。安心して洗礼を受けようと思った。そして僕もカトリックの信者になることを約束したのです。」熱心な要理研究の後、彼も洗礼を受けた。そして彼は当然のことながら、めでたく結婚した。やがて、六人の子どもたちに恵まれ、すばらしい家庭を築いたのである。・・・夫よりも神を選んだ彼女の信仰・・・

「私よりも父や母を愛する者・・・私よりも息子や娘を愛する者も私にふさわしくありません。」(マタイ10・37)大楠教会・鶴野泰年神父

教会に向かおうと歩く。路傍に可憐な野草が咲いている。立ち止まる。かすかに揺れている。初夏の微風が通り抜けたのであろうか。光る楓の梢に目をやる。そばで男の子が同じように空を見上げています。目が合う。その子はニコリ笑う。「お早う」と言うと、直ぐ澄んだ声で「お早う」と応える。心がはざむ。また歩く。その子がスキップをしてついて来た。とっさにカバンの中にあつたマリア様の像をその手に差し出した。子供の心には神様がいらした。やったのかも知れない。イエス様は、生涯お歩きになった。灼熱の砂漠の中を、氷のような岩山を、湖の上を。私たちに肉の生き方ではなく、霊的な生き方を教えて下さった。イエス様は心の足をお持ちになつていらっしゃる。人間は思ひ上がった知性が災いして、心の足で歩くという神様からの賜物を粗末にしていないだろうか。車を利用して歩いている。物理的には便利の上にもないものである。しかし、それによって失うものは計り知れないほど大きい。歩くことは体力作りに大きな効果があり、脳細胞の活性化にもつながるといえる。神様にアプローチするのに車は要らない。車で駆けつけるといふ訳にはいかない。祈りをもちて歩く。今日も歩く。明日も歩く。優しき、思いやり、謙遜、寛大な心の栄養源かも知れない。歩くことも祈りのうちといえないだろうか。



NICE キヤッチ 8

ナイスのキーワード

教区情報誌「くろすろーど」第6号が発行されています。今回はNICE特集です。座談会形式で全国会議(NICE)の説明がされています。ぜひご覧下さい。そのさわりの部分を紹介します。

▽「課題」の意味は？

↑課題、読んできた？

A 「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」でしょ？

B みんなよく分からないって言うてますよ。

C 家庭問題を持ち寄り、その解決を図ること？

↑いや、さっきも話したように「福音の場」というか「福音が生きているところ」というのは、今の現実の世界なんだ。だから、全国会議はその家庭の問題を解決する場ではないんだ。その家庭の現実、それぞれ信者みんなが生きている生活の場、それを見なおし、そこに生きている「福音」に気づき、それを「福音宣教」に生かそうというものなんだ。

その一番基本的なところというか、ベースが「家庭」になるわけですね。

↑だから、信者が生きている場、家庭での生活をしつかりと見つめよう、ということなんだ。

B だとしたら、教会の中には神父様もいるしシスターもいる。家庭だけが問題じゃないと思うんだけど？

↑とてもいい指摘だね。課題の中の「家庭」とか「司祭団」とか「教区」とか「教会(小教区)」とかいろいろ置き換えられると思う。だから、例えばシスターたちも「修道院の現実から福音宣教のあり方」を今探っているところなんだ。だから、ここで一つの結論を出すとして、今度のナイスは、単に代表者の会議だけではなくて、みんながそれぞれで参加する会議だということができると思うよ。

・・・

続きは「くろすろーど」第6号をぜひご覧ください。

「福音」「宣教」「NICE(全国会議)」「課題」「分かち合い」など、ナイスに関

六月二十七日、カテドラルセンターにおいて、教区の修道女連盟は定例総会に引き続き、NICE・2に向けて研修会を開いた。32修道院より集まった百十余人の修道女は、山元真師司の感謝の祭儀に与り、キリストに結ばれた信仰共同体の一致と喜びに満たされた。

山元師は「修道院も家庭です」のテーマで、福音宣教を単なる理想や抽象論として目指すのではなく、自分の現実を直視する時、そこに共に生き働いておられるキリストに気づくことに宣教の第一歩があることを、エマオの弟子に語りかける如く、導々と説き



心が一つに溶け合う時

「祈りの家庭から」

「召命は生まれる」

六月十三日、新田原教会では、NICE・2に向けての講演会が、教区ナイス担当の山元真師を迎えて行われた。日曜日のミサ後ということもあって聴衆が多く、聖堂の空席が埋められた。

開口一番、師は司祭の召命について教区の厳しい現状を訴え、「主に祈って下さい。召命の基本は祈りです。祈りの家庭から召命は生まれるのです」と結んだ。

その後、NICE・2に向けての講話が行われた。師の心は内へ燃えていたのではないかと、この思いに促されて「主の愛に生きよう」を力強く歌い、福音宣教の召命と使命に感謝して散会した。

新田原教会・切江敏夫

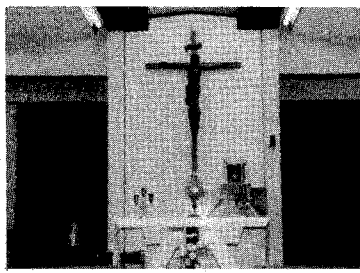


教会の内からナイスの風が

聖体礼拝

―二日市教会―

「私は天からくだってきた生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる」(ヨハネ6・51) このみことばを心にこめながら、今年は六月二十日、聖体礼拝式が感謝と賛美のうちに予定どおり行われた。



聖体に思いをはせる時

ちょうど、当日は父の日で幼稚園の行事があるため、第二ミサは一時四十分前八時から行われた。続いて聖体展示。恒例により午後三時までは順番で礼拝を続け、各自で祈り黙想して、午後三時の聖体賛美式をして終わった。信徒



家庭第2回 全国会議に向けて

私が排卵法ビリングス・メソッドを知ったのは、四年前のビリングス博士ご夫妻来日の時です。夫人のエルベ博士の「まず今日から頸管粘液の観察を始めよう。観察はそこに注意を集中するだけでいいのです」という言葉通り実践し始めてから我が家に変化が起きました。まず、こんな簡単な方法で自分の排卵日が分かる驚きと喜びでいっぱいになりました。そして、このような自分のリズムを理解し、体得することで、自分自身を管理することができるようになり、真に自立しました。夫への依存がなくなり、夫婦として責任を平等に負うことができるようになった事で、とても解放感を味わいやすくなりました。夫も私の中にある法則を大事にし、信頼して協力してくれる

家庭に生きる 排卵法

のとても感謝しています。以前よりもずっと同じ立場で、共通のものに向かいコミユニケーションは深まりました。夫との関係もより良くなった時に、子どもたちを見守る私たち親の心にも喜びと責任感が湧いてきます。中三の長女は自分のリズムを知った時から「女性に生まれて良かった」と誇らしく思っています。先日NHKの中学生日記の放送を見て、「お母さん、この番組おかしーよ」と訴えてきました。性教育は学校任せでなく、その時の年齢や関心に応じて逃げないで自然に話し合いながら教え、また、親の生き方で示していくことだと思えます。夫婦に任せられた生き方の選択として、排卵法は、真の喜び、平和、幸福をもたらす福音的生き方であるからこそ、私たちカトリック者がまず、実践すべき真理への道であり、この生き方が福音宣教につながると確信しています。

高宮教会・野川啓子

聖体行列挙行 ―老司教会―

六月十三日、ミサ後、聖体行列が行われた。朝から雨が降ったり止んだり不安定な梅雨空であったが、ミサが終わった頃には雨もあがり、聖堂での聖体賛美式に続いて、十字架を先頭に待者、花まきの少女、司祭、信徒の順に行進、駐車場と無原罪の聖母像の前に設けられた仮祭壇に聖体を安置、「タントゥム・エルゴ」が高らかに歌われ、助祭、子供並びに典礼委員長の

たちは、この式に与り、当日の父の日の感謝の心をさらに天の父である神に向けながら感謝を捧げた。幼稚園の教員も父の日の行事が終わった後、全員が自主的に式に参加した。現代は物質主義に偏っていて堅実な信仰者として生き続けるには強い信仰を必要とする時代である。このような時、聖体への信心を続けることは大変意義あることだと思う。

二日市教会・堤 敏雄神父



聖体と共に歩く

聖霊は

すべての人に

黙想会

生命山カトリック別院で、六月二十六日、二十七日に、「すべての人に及ぶ聖霊の働

き」というテーマで黙想会が行われた。聖霊は神の生命、神の生命は愛。聖霊は神にしか分らない方法ですべての人、宗教の中でみえを行っておられる。現代世界憲章の一章22節にはこう記してある。「復活の秘義に結ばれキリストの死に似た姿となるキリスト者は希望に力づけられて復活に向かっている。このことはキリスト信者ばかりでなく、心の中に恩恵が目にみえない方法で働きかけているすべての善意の人についていえる。このことが出来る(中略)。したがって、わたしたちは神だけが知っている方法によって、聖霊が過ぎ越しの秘義に与る可能性をすべての人に提供すると信じなければならぬ」。

老司教会・松本純一



聖霊の豊かさを身にうけて

黙想者は、ふかい感銘を受け、静かな自然の中で過ごした二日間を感謝し、山を降りてきた。

S・フランコ神父

心をつなげて 召命を祈る

七月六日、福岡地区十四の小教区から約八十五人が参加して、東光町のルルドではミサ、吉塚教会ではロザリオと召命のための祈り、最後に古賀教会で聖体賛美式、と巡礼をしました。

皆さん雨の中、召命のためという意向をもって心をつなげてお祈りを捧げた一日でした。ごミサの中で大山悟神

カトリック光丘幼稚園

終戦の傷が癒えない昭和二十七年、福音の光修道会によって光の園保育園が開設。昭和三十三年、三十人で光丘幼稚園が誕生して今年で三十二年。定員二百四十人が現在二百九十人になりました。

「宗教教育とは?」について長年問い続けていた時、モンテッソーリ教育に出会い光をいただきました。人間は自分の力で成長できるように神様から造られている。それを引き出してあげる教育。あれから二十年余りになりましたが、毎年試行錯誤しながら歩んでいます。国がようやく「子供中心の保育」という方針を出した時代の中で、モンテッソーリ教育の見直しを迫られている気がしています。当園では特に大自然の中の保育、実際に体験する保育を大切にしています。園庭の桜と栗の大木、五本の夏ミ

幼稚園のできごと

お互いの交わりが薄くなった昨今、十月の父親母親、先生、子供全員参加の楽しいバザーでは、子供から学ぶ事の好評です。子供から学ぶ事の多い日々を感謝しています。

園長・佐藤優文子



いろんなところから集まるこの日

第3回 SE・COバザー 盛大に

フィリピン援助活動のための、第三回SE・COバザーは六月二十日に、聖心ウルスラ幼稚園の構内で行われました。一同の心からの祈りで前日までの激しい雨も忘れただけで、各コーナーで

BOOK 読は専科

★父・山本信次郎伝



日本カトリック界において山本信次郎と聞いても、それが何者であるのか存じない方のほうが多いことであろう。彼逝いて、すでに五十年。彼は理論家でもなく、思想家でもなく、一個の実践家であつた。けつして専門の宗教家ではなく、世俗の中にあつて、一社会人として、一信徒として、変動の国内情勢の中を、生きた人物である。天皇側近の奉仕者という特異な存在の中でカトリック信者として、強烈な生きざまをみることが出来る(まえがきより)。

中央出版社 一、八〇〇円

★性のすばらしさ ジャック&バーバラ・ウィルキー著 篠崎 榮訳



この本は副題が「子供たちに、どう教えるか」である。今、家庭でも学校でも子供の「性教育」に頭を痛めているが、この本は親や大人が自分の「性」をどう見てきたか、どう見ているか、結婚をどう捉えているか、まさに発想の転換をせまられる。あらゆる年代の人に読んでもらいたい。そして読後、数名で分かち合えれば素晴らしいだろう。

燦葉出版社 八〇〇円

ジャパン建築 株式会社

不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築 〒810 福岡市中央区六本松4-9-4 TEL092-761-8800 代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計 株式会社

建築設計/企画・設計・監理 〒810 福岡市中央区六本松4-9-4 TEL092-711-0550 代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他

石の影の 大御そ 素材

石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL096-352-2417

会合と催し

8・9・10月の行事

*ゴチックは司教日程

1日	老司教会・福音宣教を 考える日
6日	主の変容 平和祈願(15日)
8日	平和祈願ミサ ナイス準備委員会研修 会(9日)
15日	教区墓地ミサ 「召命学校」福岡小神 学校(21日)
27日	モニカの日福岡地区婦 人会感謝ミサ
29日	呼子教会堅信式
6日	修道女連盟役員会
7日	司教評議会・顧問会 国際協力の日
12日	NICE・2成功のた めの「祈りの月間」 (10月24日)
19日	大名町教会・NICE 研修会
23日	老司教会・婦人会黙想

26日	教区信徒協役員会
3日	高宮教会堅信式
10日	宗像てんてんまつり
12日	教区司教黙想会 (15日)
21日	第2回福音宣教推進全 国会議(24日)
8月	福岡黙想の家
31日	修道士のための8 日間黙想
11日	幼きイエズス修道 会志願者黙想会
13日	幼きイエズス修道 会黙想
20日	サレジオ会黙想
28日	久留米信愛女学院 職員研修
29日	オブレイト会黙想
10日	福岡聖母小6年生 練成会
12日	典礼と聖歌と祈り の集い
14日	御受難会きょうだ い会
16日	聖母カテキスタ会 修道女のための8 日間の黙想
21日	女子パウロ会静修

1993年度結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター
1階講堂
日程 9月2日・4日・9日・11日・16日
18日・25日・30日
申込み カトリックファミリーセンター
問合先 TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】 カトリック手取教会
信徒会館2階ホール
日程 9月6日・8日・13日・19日・20日
22日・27日・29日
申込み カトリック手取教会
問合先 TEL 096-352-3030
※いずれも毎回 19:00~21:20

秋の青年のための巡礼

期 日：9月11日(土)・12日(日)
対 象：青年
行き先：津和野・乙女峠
参加費：5,000円
主 催：召命をともに祈る会
問合せ：福岡小神学校 森山信三神父
☎ 092-531-6821
申込み締切：8月31日

聖書講座【後期～全10回】

—マタイ福音書を読む—
第1回 10/1(金)・大水幸一神父
「マタイ14章～17章 弟子の信仰」
*以後12/3まで毎金曜日19:00~21:00
場 所：カテドラルセンター1階講堂
参加費：各800円 一括：5000円
申込み：当日会場にて
★特別講演会：11月28日(日) 雨宮慧神父

十で一を知ること

『世の中には想像しにくいよ
うなことが時々起こる。最近
の金日成発言に驚いた人は多
かったに違いない。金日成主
席はこんな話をしたという。
「個人が車を持つと大変だ。
電気車はいいがガソリン車は
肺ガンになるのだめだ」。
そのあとこう続けたそうだ。
「日本人の友人から聞いたと
ころでは、東京では三階以上
に住む人で、肺に穴があいて
ない人はほとんどいないそう
だ」と。一酸化炭素が多いか
ら、と話はガソリン反対の結
論につながる。どこからこう
いう知識を仕入れたのだろう
か。ジョークのつもりか、い
や誇張修辞法のものか、解

私たちの福岡教区に「く
ろすろーど」という素晴ら
しい情報誌があります。情
報交換により、教区内のつ
ながりができ、福音宣教に
努力している人々をよりよ
く知り合う貴重なものと
喜んでいきます。しかし、そ
れを利用しなければ、折角
の宝は無駄になります。現
代は情報化時代と言われて
います。あらゆる情報を大
切にしなければなりません
が、その情報により、良く
もなり悪くもなることがあ
ります。情報は正しい情報
であるべきです。昨年の二
月頃、ある新聞に次のよう
なことが載っていました。

一を知る気持ちが必要だと思
います。自他ともに頭が良い
と思っている人に限って、一
つの情報である事柄、またあ
る人を判断し、決めつけたが
る傾向があります。相手の全
部の話を聞かずに、「ああ、
解った」と早合点する悪い癖
も出てきます。一を知って十

和田墓地に関するお知らせ

- ① 一般清掃 8月1日(予備日8月8日)
8時より
清掃終了後 ミサがあります
- ② 納骨堂開放日時
8月13日・14日・15日
いずれも 10時~15時
- ③ 死者のための合同ミサ
15日14時より
委員は12時30分までに集合の事

小神学校基金への
ご寄付

故マルセルロ中村実様の香
典返しとして金一封いただき
ました。
故人の永遠の安息をお祈り
し、ご報告申し上げます。
福岡小神学校 森山信三

8月命日の司祭

*アルベルト・ブルトン師
(パリ外国宣教会)

——子供聖歌隊メンバー募集——

出演日時：12月10日(金) 20:00~20:30 (ドームチャリティー・フィナーレ)
出演場所：福岡ドーム
練習日：9月11日(土)~12月4日(土)
原則として毎週土曜日15:30~17:00
練習場所：カトリック大名町教会 対象：小学3年~中学2年 男女
定 員：約30名 *くわしくは福岡・北九州地区小教区掲示ポスターをご覧ください
問 合 先：江尻 電話 (092) 731-5989 [21:00以降]
申 込 み：〒810 福岡市中央区浄水通り39(郵送にて) 締切：8月25日(水)



アシジの貧者と呼ばれる聖
フランシスコ。今年はそのフ
ランシスコ会の日本宣教四〇
〇年記念の年です。そして時
を同じくして本年度は聖女ク
ララの生誕八〇〇年を併せ迎
えています。聖フランシスコ
に倣って聖福音のキリストに
従って生きる生活に全く共鳴
したので聖クララでした。聖
女クララは師父フランシスコ
の小さな草花と呼ばれるよう
に召命を共にし、師父が望ん
だ観想の生活を体現したので
あり、自分のため、また他の
姉妹たちのために与えられた

聖クララ会

その生活様式を私たちに伝え
たのでした。
「私を造りたまひし神は賛
美されますように」とその死
の床で口にしたように、聖女
クララの生涯は福音の聖なる
貧しさを生きる者の喜びと賛
美でした。「たえず聖なる単
純、謙遜、清貧、および聖
なる徳の道をたどられるよう
に。これこそ、父フランシス
コによって形づくられた生活
です」と聖女クララはその遺
訓にのりしました。この固有
の生活様式の全体は聖福音を
絶えず守るという目的に向け
られていて、教会の中
で全く観想生活にささげられ
た修道会です。
「我が神よ我がすべてよ」
と幸いな声をあげ、すべての
被造界を兄弟姉妹と呼んだフ
ランシスコとクララの小さく
貧しいものの賛美の道を歩み
たいと願うものです。

熊本地区で宣教
*アナトール・ヒューゼ師
(パリ外国宣教会)
一九四四年九月十五日
福岡司教館

*ユスチン・ヴィオン師
(パリ外国宣教会)
一九六九年九月二十九日
福岡司教館

*ピオ・オジョニ師
(ミラノ外国宣教会)
一九八二年九月十七日
ロザリオの園付

お知らせ
9月号は休刊です
昨年同様8月と9月は合併
号です。

編集室から

夏だから暑いのか、暑いから
夏なのかよく分からない。
少年時代の夏休みには、雨が
降っても、監視人を呼んで泳
いでいた。お陰でカッパみた
いになった。しかし文字もカ
ッパみたいでは困る。よく練
習して執(と)り組もう。

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転
を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害
保険、保育園、幼稚園児を守る、企
業賠償保険

〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石 真 澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)

取締役社長 藤 木 鐵 三

福岡支店長 小 田 正 人



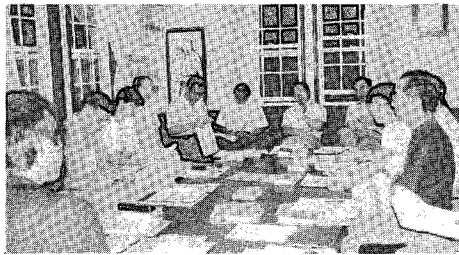
松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

今月のみことば
わたしは限りなき愛をもって
あなたを愛している
(エレミヤ31:3)
人吉 T・フィッシャー神父

いよいよ開催！長崎で 第2回福音宣教推進全国会議

回心と刷新を求めて

第二回福音宣教推進全国会議 NICE・2 が今月二十一日から二十四日まで長崎で開催される。教区では、約二年前からこの準備に取り組んできたが、この度、中央事務局に最終報告が出された。



準備委員・代表者 阿蘇で合宿

現代の日本社会で、どのように福音宣教を推進していったらよいのか。いよいよ第二回目の全国会議が開かれる。課題は「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」。

教区では、約二年の歳月をかけてこの会議の準備に取り組んできた。準備委員会では、毎月の例会の他に、八月と九月に特別に集会をもち、会議に先立って全国会議事務局に提出する「教区最終報告」をまとめた。この報告は、信徒、修道者、司祭の協力のもとに、なされた種々の集まり、公聴会、分かち合いやアンケートの結果出された教区

民の声をまとめたものである。会議当日には、全国から提出された「最終報告」を基に分かち合いの形式で会議が進められ、今後の福音宣教のあり方が探られる。今回作成された報告の全文は、各小教区と修道院に配布され、教区情報誌「くろする」にも掲載されている。教区での取り組みは、決して満足はいくものではないが、短い時間の割りには前回に

比べると、よくできたのではないかと評価されている。全国会議をきっかけに、各信者の福音宣教の使命の自覚がより一層深くなることが望まれている。

NICE・2 成功のための

「祈りの月間」

九月十九日から第二回福音宣教推進全国会議 NICE・2 の成功を祈る月間が始まった。この月間は全国会議終了日の十月二十四日(世界宣教の日)まで続けられる。

司教団は、今年六月の定例司教総会で「教会共同体の回心の恵みを願って祈る月間」を設けることを決定した。

教区代表参加者が神の導きと兄弟姉妹のささえによってその使命を果たすためにもお祈り下さい。

平和はひびきまわって願うもの 私たちの協力、犠牲、与える心が必要

平和旬間

八月八日、松永久次郎司教は、カテドラル大名町教会で平和旬間に伴う「平和祈願ミサ」を行い、平和について次のように語った。

平和の基本は、神の子として神の家族の中のやさらかな心だと思えます。人間は罪ある存在であり平和を作ることにはできません。神の恵みによって享受できるのです。

平和の喜びは争い、戦いが無いだけではなく、ある程度の豊かさが必要で、神の恵みがなければならぬと思えます。だから、平和は膝まづいて願うもの、神がくださるものを感じて頂くものだと思います。平和のために祈ることは、あらゆる平和運動、活動に無くてはならない要素です。また人は、知恵と力をもっています。祈り、恵みを受け止めるだけではなく人間として努力するべきです。

平和は、地上の家族、神の前に兄弟である私たちがお互いに助け合うこと、心を配り働きを分かち合い、受け止めることから出来上がります。だから、平和は神のみに従

教区青年巡礼

【長崎巡礼】

八月九日、十日、つまり長崎の原爆記念日に、教区内の青年と共に巡礼を行った。当日は、台風のために参加を断念する人がいたが、決行。司祭を含む十二人が参加し、平和のために祈りを捧げた。今年、例年行われていた「たいまつ行列」はなく、代わり

【韓国巡礼】

八月二十七日から二十九日まで、司祭二人と青年七人で釜山と慶州を周り、韓国の景勝地と歴史の跡を見ました。釜山中央聖堂に行き、日曜のミサに与かることができました。この教会には信者が一万五千人いて、司祭三人で日曜のミサを九回していること、永久礼拝のための特別な聖体安置所を作った、信者が交替で礼拝をしていること等の話を聞きました。今回は教会関係の場所や人々との交流が少なかつたことを残念に思いました。

小倉教会・中村彰神父

長崎 1993年10月21日(木)～24日(日)

家庭の現実から
福音宣教のあり方を探る

祈り 回心

第2回福音宣教推進全国会議



また台風が襲った。一昨年の十九日の爪痕が癒えられないうちに、それに匹敵するほどのやつがやって来た。恐怖の中にも十九号を体験しているせいもあってか、多少なりとも準備はした。窓にはガムテープを貼り、植木鉢も中に入れた。三十分毎に天気予報を見る。「今、あそこが台風の目か」などと独り言を言いながら、招かれざる客を待つ。そして、とうとう前回と同じ音を響かせてやって来た。「また窓が割れたらどうしよう。文書が飛び散ったらどうしよう。被昇天祭を前にしてスケジュールが狂うな」と思いながら通り過ぎるのを待った。運よく、今度は思ったよりひどくなかった。屋根もはがれず、車は傷ついてもなかった。やつて来るものを恐怖の中で待つのは嫌である。ましてや、抵抗出来ない相手だから方法がない▼我々の生き方の終わりに必ず「死」が到来する。これこそいつ来るのか分からない。来た時には後ずさりも追い返すことも出来ない。またそれを通って行き着く所は永遠である。永遠の死か永遠の生である。だから心の準備だけはしていないと間に合わない可能性もある。司祭もいなければますます困る。準備しよう。与え、かつ取り去られる神の前にいつぬかづいてもいいように▼この前、金魚が泳いでいるのを観た。大きな口をパクパクしながらあちちに行ったり、こっちに来たり。まるで祈りをしながら泳いでいる様だった。無垢な生き物に見えた。神から見られる人間もそうなのだろうか。慈しみ深い神は、我を救ってくださる。けれど救われるための準備をして待たないといけない。金魚のように破けない網で守られたものである。

【S】

「神の国」

その一



「さあ、みんなで考えよう」など、明るく周りを和やかにさせているタレントの逸見政孝氏がガン告知を受け、「腹部に再発したガンの治療のため、三ヶ月間、タレント活動を休止する」と発表した。命の期限を告知され、それを公表する彼の勇気と、病に、また死に対する恐怖に打ち勝ちたいとする彼の意気込みに感心させられた。

生活に懸命の私たちは、死についてどう真剣に考えることをしていないであろう。突然命の期限・死の宣告を受け

信徒としての誇りと自信

福岡地区信徒研修会

第五回目を迎えた福岡地区信徒研修会（福岡信徒徒職協議会主催）が七月十七・十八日に福岡黙想の家で開かれた。五十五人が参加した。

講師には昨年に続き松永久次郎司教を迎えた。テーマは「キリスト者として生きる喜びを持つために」。司教は、ヨハネ・パウロ二世の「信徒の召命と使命」をもとに講話し、「キリスト者の喜びの」とは洗礼と堅信を受けて神の子とされたことにある」と、まず信者の召命と尊厳を強調した。「その喜びを共にし互いに奉仕し合うように神に呼ばれた人たちの『交わり』が教会である」と説明。そして「信徒はこの教会から力を得て、職場、学校、家庭でキリストを伝えていくよう派遣されるのである」と信徒の活躍の場は社会の中にある独自の使命を明らかにした。

参加者は司教のユーモアあふれる講話とグループでの分かち合い、また夜の懇親会を通して信徒として生きる喜び

たとするならどうだろう。あわてふためき、嘆き悲しむのではないと思う。しかし、私たちはどちらかというと、私利私欲のことに気を奪われ、心を留めて先の事は考えないようになっている。『幸せ』についても同じである。復活を信じ、永遠の命、失われることのない幸せを信じ、知っている私たちがはるが、どうしても目先にある幸や喜びに目を向け、心を奪われているように思う。太り過ぎた私に対して医者に見つめていかれたらと思う。

今年の召命学校は、八月十九日から、二十一日まで、四十二人の参加者を得て行われた。長雨で天候が非常に心配されたが、皆の祈りが通じて、何とか野外の活動もすることができた。小神学生とともに祈り、学び、語り、あるいはスポーツで汗を流した三日間は参加した子供たちにとっても教会のキャンプとは一味違うものだったのではないかと思います。

最終日の松永久次郎司教様のミサでは、たくさんの子供たちの心が動かされたようでした。また高学年との面接では、司祭への道を積極的に考えている子供が多く、たのしく思いました。今後とも神父さま方のご協

れた。このままいくと命を擦り減らすというのである。適度の運動とカロリーをへらした食事を心掛けるようにと勧められた。しかし、好きなものを食べたいという欲求は、なかなか一杯食べられたいと思ってしまう。どうしても目先に捕らえられてしまう。神は私たちの先を見、私たちよりもっと広い視野で私たちの幸せを考えてくださっている。しかし目先をみる私たちが思い通りにいかないとき、神に不平不満をこぼしたり、自暴自棄になってしまったり、熱を出した子どもが友達に誘われて遊びに行きたくても行かなくても母に駄々をこねてくるようなものである。目先だけでなく、もっと先を見つめていかれたらと思う。

力と、皆様のお祈りを心からお願い致します。小神学校・森山信三神父

今年度の全国大会は、九州プロックが担当で、七月十三日から十五日まで北九州の厚生年金会館で行われました。東北の秋田から鹿児島まで、百二十余人が参加しました。初日は横浜教区長濱尾文郎司教の式で幕が上がり、基調講演は保育指導専門官の杉尾典氏のすばらしいお話でした。夕食には懇親会がありました。

二日目はフォーラム形式による保育者の研修日でした。

幼児の成長を考える

今年度の全国大会は、九州プロックが担当で、七月十三日から十五日まで北九州の厚生年金会館で行われました。東北の秋田から鹿児島まで、百二十余人が参加しました。初日は横浜教区長濱尾文郎司教の式で幕が上がり、基調講演は保育指導専門官の杉尾典氏のすばらしいお話でした。夕食には懇親会がありました。

福岡地区 八月十五日 教区和泉墓地及び納骨堂に於いて、聖母被昇天のお祝いと死者のためのミサが捧げられた。参列者は

各地で墓地ミサ

今年度の全国大会は、九州プロックが担当で、七月十三日から十五日まで北九州の厚生年金会館で行われました。東北の秋田から鹿児島まで、百二十余人が参加しました。初日は横浜教区長濱尾文郎司教の式で幕が上がり、基調講演は保育指導専門官の杉尾典氏のすばらしいお話でした。夕食には懇親会がありました。

北九州地区 リック納骨堂で、八月十五日、デシャンブ（天神町教会）、平田寛（湯川教会）の両師の司式による聖母被昇天祭と戦争による犠

ミサは、松永久次郎司教司式の下、十二人の司祭が加わり、聖歌と祈りがこだまする中、荘厳に挙行された。ミサ後、納骨式が行われ、永一師、牧山藤房師、外二人が納骨された。

司教を中心に死者ミサ

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

佐賀地区 賀市金立町の教会墓地にて、アルベルト師司式により、信徒約二十人が参加して、雨のバラつく中、野外ミサが捧げられた。

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

湯川教会・吉田 晃

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

湯川教会・吉田 晃

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

湯川教会・吉田 晃

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

熊本地区 熊本カトリック納骨堂において、熊本地区長ジョー師と常山教会の大永一師の共同ミサが捧げられた。参加者は六十数人。ミサに続いて納骨堂内で灌漑式が行われ午後七時過ぎに終了した。式後、遺族はそれぞれの永眠者の前で祈りを捧げた。

第五回

みなとフェスティバル

崎津

「第五回教会の見える崎津みなとフェスティバル」(同実行委員会主催)は八月七・八日に熊本県天草の崎津で開催されました。崎津は教会を中心とした集落で、教会と山と海が見事に調和した漁村。フェスティバルはこの崎津の特性を生かして町おこしと、地元漁協青年部や町商工会青年部を中心として平成元年から始まりました。

初日は、船上で夕日を眺めながら海の幸などの料理を楽しむものとサンセットクルージングや遊覧船も出航。地元音楽グループ「コレジョ」の仲間による中世西音楽の古楽器演奏会を開催。教会信者による聖堂から町立体育館

（約四百メートル）までのキャンドル行進があり、体育館では、世界平和を願う深い祈りが捧げられました。この行進と同時に教会周辺にセットされた照明が入ると、夕陽のなかに教会が映し出され、幻想的な美しさに会場から歓声が上がりました。初日日程の最後には花火も打ち上げられ、尚一層の彩りを添えました。写真。

八日は、午前九時から、かし網・タコつぼの漁体験、てんまペロン大会、水上バイクレジャー体験、崎津ハイヤ道中踊りなどが行われ、最後に大漁を祈願して餅投げで二

私たちが教会では、少なくとも年に一回は信徒の研修会をもっています。今年は最近新しく出された教会法を探り上げました。七月四日、テーマを「教会とは」「信徒と司祭の関わり」とし、講師に司教館の山元真神父様を迎え、初めての試みでしたが、近隣の教会にも呼びかけ、多数の参加を得て共に学びました。教会は、日曜日に義務的にミサに与かり、あるグループの活動の場という従来のイメージから脱皮して、キリストを中心とした信者同志の交わり(コイノイア、第二〇八条)であること。また、教会には位階制度はあっても、上下関係ではなく、職務の違いから聖職者と信徒が区別されませんが差別ではなく、皆がキリストの名において洗礼を受けている信者であること。教会の組織は、一般社会の運営、組織、管理とは異なるものであり、必ずしも民主主義ではなく、少数の小さな人々の声が重要視されることもある(第五一五条)等々。

こうした話を聞いて、私は自分の家庭を顧みて、果たして信徒らしく生きているだろうか？と反省し、先ず身近な家庭からこの交わりを始め、そして教会共同体へといくべきだと思いました。私たちがこれだけ祈ったから、犠牲を捧げたからではなく、キリストの救いの恵みで、私たちがそれを無償でいただいているのです。山元神父様のお話のなかで、度々ミサの意味とその力強さを感じ、この喜びを周囲の人々に伝えていきたいものだと思ひました。

湯川教会・吉田 晃



実り豊かな信徒研修

むなかた
TEV-TEV
てんてんまつり

◆ 10月9日(土)前夜祭
◆ 10月10日(日)てんてん祭り

【問合せ】 御受難修道会・福岡黙想の家
☎ 0940-32-3222 〒811-41 宗像市名残1056
※ JR赤間南出口よりバス自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

- * 消防設備 設計・施工
- * 電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎ 会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※ 求人 信者の方を求む！
詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

ご葬儀

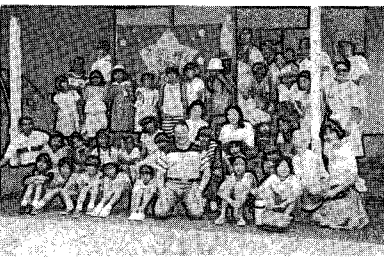
木下株式会社

TEL 092-526-5656
福岡市中央区平和3丁目1-5

神さまといつもいっしょ

北九州 CYG

北九州地区では、七月二十五日から二十七日まで女子のキャンプが行われた。場所は大部分の住吉浜リゾートパーク。参加者は神の創造された大自然と人々に触れ、満足な顔をしていった。感想をお載せる。



恵みを体験した喜びの顔

熊本地区

七月二十三日から二十五日、津和野にて熊本地区少年少女の集いが行われた。総勢百四十人の大所帯だった。最初は、カルメル会に行きました。自分もシスターの方のように神様といつも親しい生活をしなればと思われま

佐賀地区

七月二十三日から二十五日、津和野にて熊本地区少年少女の集いが行われた。総勢百四十人の大所帯だった。最初は、カルメル会に行きました。自分もシスターの方のように神様といつも親しい生活をしなればと思われま

福岡地区

大名町教会において、八月三日、四日の二日間、「ゆるしの秘跡・聖体拝領について」の小

幼稚園のできごと



鳥栖カトリック幼稚園 私の勤める幼稚園では、夏休みになると、東大阪のむぎの穂保育園（モンテソーリ教育法導入の園）と合同研修会を行っています。

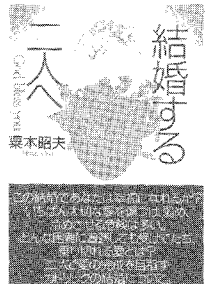
会いたくない先生方など様々です。しかし、皆、キリスト教の愛の精神のもとで寝食を共にし、お互いの分かち合いを深めていきます。清々しい朝の祈りで始まり、感謝のうちに、それぞれがイエス様と出会い、教師としての心や精神性を深めていきました。十年間続いたこの研修会を通して、今年の復活祭では、むぎの穂保育園に受洗のお恵みを頂かれた先生がおられます。十年余りご指導下さった鳥栖教会主任神父様司式のもと、東大阪からは保育園の園長・理事長ご夫妻や同僚の先生方も洗礼式に参列しお祈り下さいました。数カ月前、ネオカテキュメナート（新求道共同体）の二人の方（スペイン人、イタリア人）が祈りの家を訪問して下さり、一緒に福音宣教について語り合うことが出来ました。この方々の愛の精神に倣って、先の夏期研修会をますます実り豊かにしていきたくと心から願いながら夏休みを終えました。

主任教諭・坂田久美子



★結婚する二人へ

栗本昭夫著



本書は福岡の浄土通教会で働き、一九八九年から東京の聖イグナチオ教会で司牧し、結婚講座を担当しているイエズス会司祭の著書です。カトリックの結婚観、人生観を、ゆるす愛、強められる愛、愛の成長、不滅の人生、人への賭け、神への賭け、秘跡などの面から、わかりやすく述べています。結婚講座で多くのカップルに話された、とても具体的な内容ですから、結婚なさるお二人へのプレゼントにも最適です。

女子パウロ会 一、二〇〇円



家庭 第2回 全国会議に向けて

私は、教皇パウロ六世の「ファミリー・ウィテ」（人間の生命）発布二十五周年を記念した「第2回カトリック愛と性を考える研修会」に参加しました。生命の神秘と、性といのちの尊さを訴えるビデオから入り、司教様の基調講演によって、回廊「ファミリー・ウィテ」発布前後の経緯を知り、私たち全世界のカトリック信徒のパパ様が、主キリストからゆだねられた機能を正しく行使して、私たちを主のみ旨にかなう道へと導くために、祈って、祈って、神のみ旨をたずね、どれ程苦しくても妥協せず、キリストとともに十字架を背負っておられることに気付かされました。「ファミリー・ウィテ」発布当時、多くの非難が浴びせられ、どんなに心を痛められたか。あ

愛と性を考える研修会に参加して

る参加者が「今こそ「ファミリー・ウィテ」が生かされる時が来たのでは」と言いました。本場にそうあって欲しいと思いましたが、現教皇様も「ファミリー・ウィテ」によって提唱された教義について「不自然な避妊行為の根源にあるのは、創造主である神、人の生と死をつかさどる唯一の主に対する反逆であり、本質的に神を除外してしまうような世界を造りあげようとする愚かな試みに他ならない」と述べられ、自然な家族計画を推進する教会の姿勢をはっきりと打ち出しておられます。最後に「自然な家族計画」について、勇気あるお二人の体験発表があり、私の妻はどれ程の不安と不満を抱えて我慢してきたのだらうかというところを、今一度振り返ってみる必要を感じました。神は人を男と女につくり、生命創造の尊い業と、子育てを人類に委ねられました。神の愛と恵みに応えるためにも、夫婦して力を合わせて誠実に歩みたい。そう思った研修会でした。

天神町教会・富田敦夫

修道会

聖パウロ小神学校では、今年も、七月二十一日から二十三日にかけて「召命錬成会」を行いました。

小学二年生から中学三年生まで二十六人が、福岡、大隈長崎から参加してくれました。毎年参加して顔見知りになっている者、初対面で少し緊張している者など様々。しかし自己紹介が終わるとすぐに溶け込んだ雰囲気になった。イエス様との関わりもこうあって欲しいと願ひながら、ご聖体の前で祈り、共にミサに与り、お腹一杯食べ、スポーツをし、皆が友達になり、イ

小神学校基金への寄付の御礼

西田邦洋神父様のご母堂、故アガタ西田イヅヨ様の香典返しとして金一封頂きました。故人の安息を祈り、感謝のうちに報告させて頂きます。一九九三年八月 福岡小神学校 森山信三

小神学校基金への寄付の御礼

青木悟神父様のご母堂、故マリア青木シツカ様の香典返しとして金一封頂きました。故人の安息を祈り、感謝のうちに報告させて頂きます。一九九三年八月 福岡小神学校 森山信三

ジャパン建築株式会社
不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800
代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計株式会社
建築設計/企画・設計・監理
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他
石のパイオニア 高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

会合と催し

10・11月の行事

※ゴチツクは司教日程

1日	聖書講座第1回
3日	高宮教会堅信式
8日	福岡地区信徒協役員会
10日	聖書講座第2回
12日	宗像でんてんまつり
15日	聖書講座第3回
17日	教区修道女研修会
21日	第2回福音宣教推進全国会議（24日）
22日	聖書講座第4回
24日	世界宣教の日（献金）
29日	聖書講座第5回
31日	教区墓地ミサ
11月	
1日	諸聖人の祭日
2日	死者の日
3日	召命の集い
5日	聖書講座第6回
12日	聖書講座第7回
14日	今村教会堅信式
18日	神学院祭

福岡黙想の家

19日	聖書講座第8回
21日	王であるキリスト聖書週間(28日)
26日	聖書講座第9回
28日	聖書特別講演会
1日	3日 御受難会召命黙想会・ウオード神父指導
9日	てんてんまつり前夜祭
10日	てんてんまつり
12日	福岡教区司祭黙想会
19日	24日 聖母カテキスタ会黙想
24日	サレジオ会黙想

各地区の死者ミサ

福岡地区	和岡墓地	10月31日 14時
北九州地区	湯川納骨堂	11月7日 11時
熊本地区	龍田山の共同墓地	11月7日 11時

集合!!

青年スポーツ大会

十一月二十三日
泰星高校体育館

女子青年のための黙想会

日時: 10月9日(土) 15:00~11H(朝食後解散)
指導: 塩谷恵策神父(イエズス会 泰星高校)
場所: 福音の光修道会「由布院祈りの家」
対象: 「神さまの私への望みを知りたい」未婚の女性信者
会費: 6,000円
問合先: 福岡市博多区光丘町2-3-44 福音の光修道会 ☎ 092-581-1663

北九州教会学校 リーダー研修会

日時: 10月25日(月) 9:30~15:30
場所: カトリック小倉教会
講師: 川添 猛神父(浦上教会主任司祭)
テーマ: 子どもと典礼(特にミサ)
会費: 1,000円・弁当代 500円
申込み: カトリック門司教会 ☎ 093-371-2944
Sr.木保/締切: 10月16日

聖書講座【後期〜全10回】

—マタイ福音書を読む—

- 第1回 10/1(金)・大水 幸一神父
「マタイ14~17章 弟子の信仰①」
- 第2回 10/8(金)・大水 幸一神父
「マタイ14~17章 弟子の信仰②」
- 第3回 10/15(金)・平田 敬神父
「マタイ18章 神の国の共同体」
- 第4回 10/22(金)・西田 邦洋神父
「マタイ19~20章 権威についての論争①」
- 第5回 10/29(金)・森山 信三神父
「マタイ21~22章 権威についての論争②」

場所: カテドラルセンター 1階ホール
時間: 毎回 19:00~21:00
参加費: 各800円 一括: 5,000円
申込み: 教区本部事務局 (092)522-5139
または当日会場にて
特別講演: 11/28(日)・雨宮 慧神父
14:00~16:00 参加費 1,000円

宣教師の中に見たキリスト像

突然、電話のベルが鳴る。
「久しぶりに古巣に帰って来たので」となつかしい電話越しの声である。先日「神父様、魚が釣れてますよ」と某人から誘いをうけたばかり。「遠方より友きたる。これ楽しからずや」に似て、本当に心温まる心の触れ合いの一時である。司祭生活三十余年。転勤の度に「人との関わり」の輪も広がっている。こちらに来て一年有余がアツという間に過ぎている。赴任当初、聖週間直前で、会う人ごとに典儀式の協力を無我夢中で仰いでいたのもついに前だったように思えるの

礼に奉仕した」という連帯感と親近感が醸成され、復活祭を温かい心の触れ合いのうちに寿ぎ合えたことを感謝したものである。この感謝のうちに始められた宣教師牧生活の中で、今日も、「神父様お電話です」と呼ばれ、慌てて受話器に耳をあてると、「お忙

に！
今思えば聖週間のお陰で、日曜日が一ヶ月分、一度に訪れたように、沢山のひとと何度も交わる機会に恵まれ、ある人々とは、典儀の役割分担を通して「旧知の中」になり、信仰共同体の中には、自分たちの仲間が司祭と一緒に典

しそうですね！ お元気ですか」とつい数日前に会ったばかりの聞き覚えのある人の声が返ってくる。「お忙しそうですね。」この言葉は、最近、挨拶の代名詞になっているようである。私も、この言葉をよく使っている。「忙しい」を口にする。しかし、この「忙しい」

という言葉は、無意識のうち、自分の身を守り、人を遠ざける心のバリエーションを張りめぐらす方便になっているのでは……？ふと、そう思うとハッとさせられる。確かに「忙しい」という口実のもとに「自分の果たすべき務め」を疎かにしたり、「嫌な

西新教会 平田敬神父

死者のために祈る日

下記のように計画いたしましたので、ご案内いたします。どなたでもどうぞおいで下さい。

記

とき: 11月14日(日) 13:30~15:30
ところ: カトリック黒崎教会
ミサ: 司式司祭 岩永義人神父(小倉教会主任)
主催: 援助修道会黒崎修道院 ☎ 093-621-5670

召命の集い'93

テーマ: 神さまのはなしをきかせてあげよう!
とき: 11月3日(木) 文化の日
受付開始 8:30 閉会式 15:00
ところ: 福岡サン・スルピス大神学院
対象: イエズ様に呼ばれているすべての人々
問合先: 福岡市城南区松山1-1-1 福岡サン・スルピス大神学院 ☎ 092-864-4203
「召命の集い」実行委員会 実行委員長 辻原達也

大ヴァチカン展

ヴァチカンから届いた秘蔵品95点
(日本初公開) 展示例: ダンテ「神曲」の手写本・ナポレオンが贈った三重冠・ラファエロの素描・ミケランジェロの直筆書簡
会期: 10/20(木)~31(日)
会場: 小倉そごう 9階 特設会場
主催: 西日本新聞社 テレビ西日本
協力: カトリック中央協議会
前売券: 大人(900円) 大高生(700円) 小中生(500円)

10月命日の司祭

*エミール・ラゲ師
(パリ外国宣教会)
一九二九年十月三日
福岡司教館

*ジャン・パブチスト・ドラ
ビ師(パリ外国宣教会)
一九六七年十月二十三日
元黒崎教会主任

*ジュリオ・ペルトラン師

編集室から

教区報を心待ちにしていますと嬉しい声を聞く。ありがたいことである。休刊した後にはまた頑張ろう。夏の日差しで黒くなった顔を真っ青にし

ご寄付お礼

故マリア平田ミドリ様の香典返しとして平田作平様他ご一同様より小神学校に金一封を頂きました。
故人の永遠の安息をお祈り致します。
福岡小神学校 森山信三

故ヨセフ平田一雄様の香典返しとして平田節子様より司教館に金一封を頂きました。
故人の永遠の安息をお祈り致します。
教区会計 深堀勝人

Christmas in DOME……ドームチャリティの集い

福岡市在住の森本司郎氏(森本能舞台/観世流準職分)の呼び掛けにより、12月10日(金)に福岡ドームで開かれます。この集いは、アジアの貧しい人々を支援するのが目的で、福岡教区も共同主催いたします。義援金は神の愛の宣教者会(マザー・テレサ)に贈られます。この催しは、教会が社会の人々と共に歩むよい機会、また宣教の機会になると思います。皆様のご協力とご参加を心より願います。チケット販売をしております。ご協力ください。



FUJIKI

未来へ——安心を創る

藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 小田 正人

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23

TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01

福岡市城南区樋井川3丁目17-10

大石保険事務所 大石 真澄

☎092-552-8195 ☎092-541-7734



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

私は、世を救うためではなく、
世を救うために来た
(ヨハネ12・47)
久留米 山田成章神父

第2回福音宣教推進全国会議 教区代表者長崎へ

日本の教会に 新しい息吹を

十月二十一日から二十四日まで長崎で第二回福音宣教推進全国会議が行われた。各教区の司教をはじめ、代表者の約二六五人が集まった。課題の「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」について、各教区代表者からの経過報告がなされ、今後の取り組みが話し合われた。



教区民の祈りの参加を胸にして

全国会議は、司教団が二年前（一九九一年七月）にテーマを「家庭」と決定した時から歩み出した。その後、各教区に呼びかけ、討議課題案を募った。さらに、司教団は各教区から寄せられた課題案を受け止め、協議し、九十二年七月に「家庭の現実から福音宣教のあり方を探る」を課題にすることを決定した。

教区司祭の黙想会が十月十二日から十五日まで、宗像の福岡黙想の家で行われた。司祭として自己を見直す好機である黙想会では、今年も講師の説教が一際胸を打った。これからの司牧と宣教生活に多いなる糧を得ることができた。

殉教者の心意を司祭に

—教区司祭黙想会—

教皇ヨハネ・パウロ二世（二六四代）の時代に入ってから、強く印象づけられた事が二つあります。第一は、キリストの遺体を包んでいた布か、中世の画家が作った

黒白をはっきりし、自己陶醉に陥らず、自己欺瞞を排されたその行為には賛同を覚えた心中拍手いたしました。教皇は、聖職者、神学者に

恵みを求めるロザリオの祈りから始めた教区司祭黙想会には、病氣療養中の司祭を除く全ての司祭が出席した。



召命をともに祈る会
九月十一日から一泊で、津和野に巡礼の旅をした。例年ならば、この時期は、徹夜祈禱会の時であるが、今年は事情があつて、二十数人の若者た

津和野巡礼

召命をともに祈る会
九月十一日から一泊で、津和野に巡礼の旅をした。例年ならば、この時期は、徹夜祈禱会の時であるが、今年は事情があつて、二十数人の若者た



聖霊に導かれる代表者

のために準備された最終報告（司祭に通達、くろすろーどに掲載）を青年代表者の平田耕一氏（光丘教会）が報告した。 ※詳細は次号に掲載。



ちとともに巡礼をすることに。一日目は、乙女峠で殉教したキリシタンの話をフリン神父様に伺い、一同感銘を受けた。続いて野外ミサ、

時の話題

森 清

鼓動する

教会を感じて

た偽物か、長い間論争されてきた「トリノの聖骸布」が一九八八年（昭和六十三年）パチカンの英断により、英オックスフォード大学、米アリゾナ大学、スイスのチ

十七世紀のイタリアの学者ガリレオ・ガリレイの名誉回復問題について、教皇の支持により、十三年間にわたる調査の結果、当時のカトリック教会は誤っていた、とはっきり表明された事でした。

と語りつづけた。ともあれ、良き教皇をいただいた事をキリストに感謝し、あらゆる人々に開かれた聖なる公教会である事を今後も祈り続けたいと思います。

ものがある。名譽、地位、財産を投じて神の国建設に奔走した彼らの宣教の種は九州で実を結んでいる。当時の宗教的、政治的迫害にあいながら

スポーツ大会

教区青年委員会では、教区内の青年の親睦と交流を図るため、下記のようにスポーツ大会を企画いたしました。青年の皆さん、奮ってご参加下さい。なお、体育館シューズと昼食を持参して下さい。詳細は各ブロックの担当司祭、担当青年にお尋ね下さい。

日時：11月23日(火) 9:00～16:00
場所：泰星高校体育館
内容：バスケットボール
ソフトバレーボール
司教ミサ（予定）
主催：福岡教区青年委員会
問合せ：大水幸一神父（帯山教会）
〒862 熊本市新大江3-19-10
☎ 096-382-9413

いろいろな味わいを与えてくれるものに「写真」がある。マニアはいつもレンズをのぞき込みシャッターチャンスをとねらっている。瞬間的なものを半永久的に保って、それを楽しむ。そんな思いがあるのだから、写真は「真」を写すのではありません。とらえどころのない心象を写すこと、それが写真の難しいところ。シャッターチャンスはあるけれど、なぜかシャッターを押そうとはしない。自分の今を写すのが怖いのである。じつと見つめるのが怖い。避けてしまおう。▼こわごわとつたフィルムを写真屋の神様のところに持って行く。神様がフィルムを現像しながら、「あれ？」と思われるかも知れない。「ほかし」が多いからである。現像に行く前にほかしをしまっているのだから。そんなテクニクを持ちながら人は真の姿を写していないのである。けれど、神様は人間以上のテクニクを持っておられるので、ほかしをはっきりして見られる。そして私たちに返される時には全部がはっきりしている。今度フィルムを持って行くときには、ほかしをいれないで持つて行く。あそここの店長は「きれい」にして返すから。神様の前で自分をもっと明白にしたいものである。ほかしにかかる時間はいらぬし、必要である。「愛する人たちは、私たちが、このような約束を受けているのですから、肉と霊のあらゆる汚れから自分を清め、神を畏れ、完全に聖なる者となりましょう。」（コリント二・7・1）とパウロは教える。▼神様の前でも人の前でも「こまかく」しない自分だつたらと思う。

みちくさ



秋は実りの秋と言われます。昆虫や動物たちも、この実りに与ります。しかし、それは同時に冬を準備することでもあります。自然の営みが死に、何の实りも生み出さないように見える冬をしっかりと準備している姿でもあります。

人はどんな人も生まれた時から、死に向かって歩んでいます。そして、生きています。いかに実りを蓄え、この世の生命が終わった時も永遠の生命に与って生きるように、その実りを集めるのです。

死は、終わりでなく、門。死は、一つの別れです。そう考えると、人はいつも出会いと別れを体験しています。旅行へ行ったり、時には街を歩いているとふと思うことがあり、今、すれ違った人とはもう二度と永久にすれ違うことはないだろう。そして、皆と共に喜びを分かち合いました。思い、願いはただ一つ、聖職者である司祭を出すことに終始致しました。また、舞踊、歌、放送劇などで盛り上がり、信徒一同の炭鉾節の踊りをもって終了致しました。

大牟田教会・山口作幸

心をついにして

神に感謝

九月二十六日、当教会主任司祭・西田邦洋師の司祭叙階二十五周年をお祝い致しました。大牟田小教区に赴任されて十年になり、去る平成二年三月には小教区設立六十周年記念のお祝いも致しました。



感謝ミサは、本郷教会主任司祭川上惣一師との共同司式による歌ミサで、私たち信徒は神父様の過去、現在、未来に対して心を一つにし神様に感謝の祈りを捧げました。ミサ後、記念撮影、続いての祝賀パーティーでは、長崎より神父様の父上をはじめご親戚の方々、筑後地区青年会

ご聖体の恵み

聖パウロ修道会

福岡地区では、毎月、各小教区、修道会が、交代で教区を代表して永久聖体礼拝を行うという素晴らしい習慣がある。各教会、修道会では、どのように行われているのだろうか。

九月五日の日曜日に、聖パウロ修道会が教区を代表して聖体礼拝を行った。福岡教区の必要を願って意向を込め、教区全信徒を代表して、顕示されたご聖体の前にひざまづき祈った。ご聖体のイエスを讃え歌い、教会の祈りを唱え、ご聖体から祝福をいただく。この礼拝の時、ご聖体のイエスから見つめていただき、沈黙の中で聞かせていただき、慰め、力づけられ、そ

そういうすれ違いもなく、生き、死んでいく人がほとんどです。

その一人ひとりにも、自分と同じ生まれがあり、幼少期があり、今を過ごしており、将来老人になって、去っていく。しかし、自分とはすれ違いうこともない人々です。

たしかに別れとは寂しいものです。そんな別れを体験し続けていくうちに、別れなくもいい神の国のことに思いを寄せるようになったと思います。

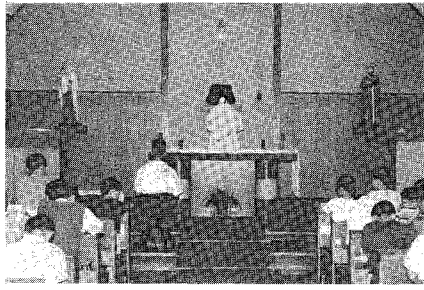
今は司祭として小教区との別れも二度経験しました。そんなとき、「神とともにいまして」の聖歌にある「また会う日まで」という言葉が、しみじみと心に響きます。そして、

光丘教会・青木 悟神父

若者13人が参加

チョイス・ウィークエンド

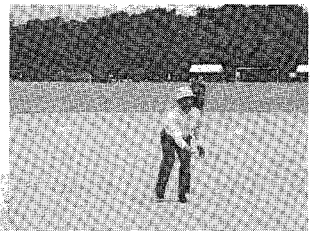
毎日曜日、必ずどこかの教会、修道院で、教区を代表して聖体礼拝がなされていることはすばらしい。その喜びと慰め、力づけを大切にしていきたいものだ。



八月十三・十四・十五日の三日間、聖母訪問会大澤修道院(福岡市)でチョイス・ウィークエンドが開催された。チョイスとは、若者がその人生の選び(チョイス)に際して、素直に自分に向き合い

司教様の始球式で!!

筑後地区教会スポーツ大会



に行われまし

た。今回は二日市教会が準備を担当しました。各教会の神父様及び幼児から大人までの約五百人が参加し、教会対抗で大人と子どものチームに分かれて、司教様の始球式により試合が開始され、予定時間を二時間もオーバーするほどの熱戦が繰り広げられました。

二日市教会 平山浩一

小郡市の簡保レクセンターで、第九回筑後地区カトリック教会(今村、大牟田、小郡、久留米、二日市、本郷、鳥栖)親善ソフトボール大会が、ヨセフ松永久次郎司教様をお迎えして和やかな親睦のうち

各教会の神父様と青年信徒の活躍が目立ちましたが、それ以上に大応援団がハッスルしていました。また、昼休みには、子どもたちを集めて〇×ゲームを楽しむなど家族の雰囲気の日でした。試合の結果は、大人の部優勝が小郡教会、子どもの部は久留米教会でした。優勝教会には、カップと司教様のサイン入りボールが贈られました。

二日市教会 平山浩一

祈りは

すべての人の

幸せにつながる

八月二十七日、聖モニカの祝日に例年通り、福岡地区婦人会の感謝のミサと追悼式が、大名町教会でありました。ミサでは松永久次郎司教様が「世界の救いは女性の手に委ねられている」と教皇様のことばがありました。マリア様は救い主の母であり、救われた者たちの母でもあります。聖モニカも愛する子アウグスティヌスの回心を祈りました。愛があるから子供のため、家族のために祈るのですし、一人の母親が子供の幸せを祈ることは、全ての人の幸せに

ある青年たちやME夫婦が準備や後片付け、三度の食事、祈りの支えに奔走した。参加者の声〇この集いに参加して、結婚か召命かと迷っていた処に光を見つけた感じがしています。

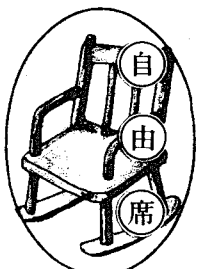
〇許せないと思いついて来た



ロザリオと聖歌の中を

様、共にミサを捧げて下さった、山川辰幸神父様、堤要吉神父様、山下正神父様、ありがとうございます。

浄水通教会・大山美穂子



やっぱり基本は

「家庭」です

福音宣教推進全国会議(NICE・2)の課題が「家庭」という中央協議会の決定について、奇抜な取り合わせの感じがしないわけでもない。しかも国連が来年を「国際家族年」と定めたことに合わせて、日本の司教協議会の取り組み方を歓迎するものである。

私たち信徒の家庭生活の問題を取り合わせ、福音宣教に期待される家庭像を見直す時期でもある。家庭基盤の充実がより以上に求められる時期にあたって、この基本課題が個人の領域に踏み込むのを良しとしなければならぬ。そして、実際に信徒の家庭が証しをもって世間の模範にならなければならぬ。

確かに、福音宣教といった場合、個人の領域に踏み込む必要性はある。だが、個人的攻撃は出来ない。教会のために働いている者が、ある「グループ」の模範的立場の者の「ひがみ」からくる「さげすみ」の言葉で大勢の面前で差別された時の心情がどれほど傷つくか、はかり知れない。これでは実際の布教活動として日の目を見るはずがない。これを打破しなければならぬと思う。

信徒が家庭の諸問題を顧みることによって福音宣教が変わるという事態が案外あるかも知れない。

福岡地区 信徒 M・Y

待降節の黙想会・ご案内

- ① 11/27 (土)~28 (日) ② 12/4 (土)~5 (日)
- ③ 12/11 (土)~12 (日) ④ 12/18 (土)~19 (日)
- 【時間】 ①②③④共 17:00受付・翌日16:00迄
- 【会費】 6千円

【申込・問合せ】 御受難修道会・福岡黙想の家
☎ 0940-32-3222 〒811-41 宗像市名残1056
※JR赤間駅南出口よりバス 自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

- * 消防設備 設計・施工
- * 電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※求人 信者の方を求む/
詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

ご葬儀

木下株式会社

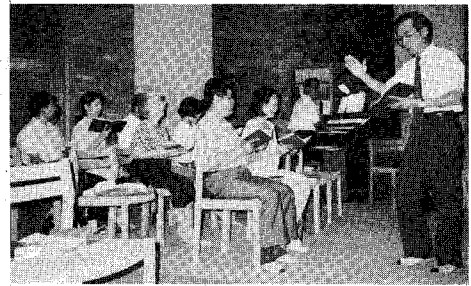
TEL 092-526-5656

福岡市中央区平和3丁目1-5

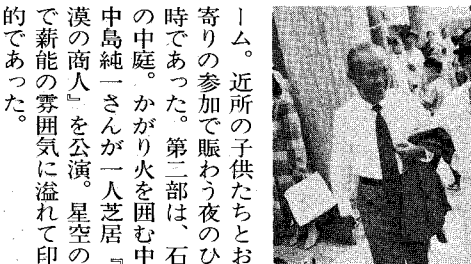
歌と祈りの集い

典聖歌研修会

御受難会・黙想の家で定期的に開催される典聖歌研究会の「典聖歌と祈りの集い」も、教区の皆さん



小倉教会・宮崎裕之



宗像市長も応援参加

場としてあるようです。そのため、典聖歌や『教会の祈り』を通して祈りそのものをともに体験してゆこうという指導者たちの思いがヒシヒシと感じられます。しかも、適度にリラクセスして参加できるので何と幸せなことか。閉

た。前夜祭は大駐車場の特設舞台での盆踊りと留学生の方族舞踊とガールスカウトのゲ

心をひらいて
むなかた
第3回
てんてんまつり

十月十日、快晴の天気恵まれて、「宗像てんてんまつり」が福岡黙想の家で開かれ

蔵庫に備えてくれた。

ところが、相手の母親は「とにかく墮ろしなさい。結婚はさせるから。水子の供養は一生うちでするから安心して」と。また、彼の親戚の高校講師(女)は「たかが子ども一人墮ろしたぐらいで壊れる関係なの」と迫り、妊娠中の彼の義姉は、自分のおなかには誇らしげに抱え、彼女には墮ろせと言



家庭
第2回
全国会議
に向けて

十九歳の友人が妊娠し、相手の学生の彼は墮ろすことをすすめた。これを聞いた別の友人は、私と話して産むことの正しさを確認すると、彼女に産むことを勧めた。彼女は妊娠と判った時、この新しい生命を絶ちたくないと思っただけで、墮ろせばもう彼とは付き合えないし、一生恨むだろうと思

いのち

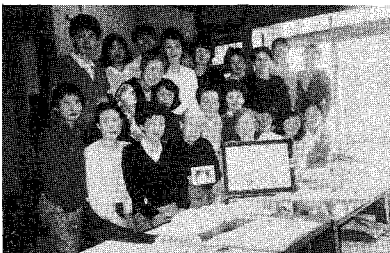
波の写真を嬉しそうに見せてくれた。でも、胎児の身長は平均の二分の一しかない。「出てきていいんだよ。大きくなりなさい」と皆で声をかけ合った。数々の苦境と試練を乗り越えた彼女は、やっと入籍も許され、子どもは、若葉の頃無事誕生した。

手取教会青年・安部洋子

たゆまぬ努力

福岡はなびら会

十三年前、福岡黙想の家のバザーで東京から来られた御婦人が拡大写本作りを呼びかけて居られました。そこで初めて弱視者の存在を知り、拡大写本を必要とする子供たちを知りました。そして携えて来られた一冊の拡大写本を基点としてボランティア活動が開始されたのです。



沢山の働き人が与えられ...

聖心ウルスラ幼稚園

「守護の天使おはよう。イエス様おはようございます。今日一日お守り下さい」と子どもとともに祈り続けて今年で三十三歳の誕生日を迎えたのが、私の聖心ウルスラ幼稚園です。大橋カトリック幼稚園として昭和三十六年に創設された園舎も今ではすっかり新しくなり園

幼稚園のできごと

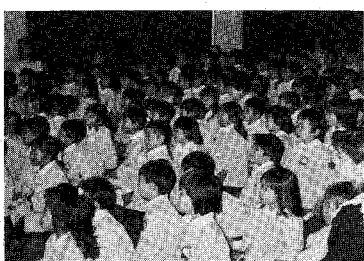
あなたはK君でしょ。」「まあ、シスター、お久しぶりで。」「というところで、建物、園舎は変わっても、園長始めシスターたちが顔を揃えて、枯木も山の賑わい」と、元気で頑張っています。私もがが一番嬉しい事は、幼稚園創立当初からイタリア人宣教女

第18回研修会

大切なのは
保育者の心構え

教区幼児教育連盟

隔年毎に行われている福岡教区幼児教育連盟主催の教職員研修大会が八月十六日から三日間、佐賀県龍谷園で約四百二十人の保育園・幼稚園教職員参加のもとに行われた。研修大会も今年で十八回を数え、今年はいよいよ「子供を取り巻く世界」をテーマに、一日目は長崎大司教区島本要司教様の基調講演があり、二日目は大都市の少年鑑別所長を歴任され、現在神奈川県青少年問題協議会副部長の奥村晋氏より、「こども



この子たちのために

をもとに、奥村氏より総括をいただいた。続いて感謝のミサでは松永司教様よりカトリック保育者の心構えについて、聖書に基づいた心温まるお話をいただき、一同感謝の中に散会した。この研修大会で得たものが各現場で実っていくことを祈りたい。

タイトルは、一見とつきにくいですが、本当にそうなのか? 一読ください。国連は今年を「国際先住民年」と定めました。この本は先住民の生活、宇宙観、自然観、訴え等を集めたものです。何千年、何万年の昔から地球上には人間が住み続けてきた。先住民は、宇宙の神秘、人間の営みへの深い洞察と畏敬の念を忘れない人々。今、彼らの尊い知恵に学ぼう。女子パウロ会一、〇〇〇円

★生命の織物

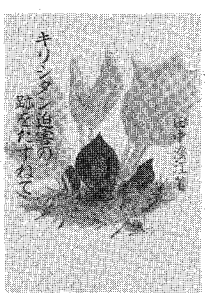
先住民の知恵

中央出版社 一、七〇〇円

BOOK
読は専科

★キリシタン迫害の
跡をたずねて

田中澄江著



祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

大御影の
素材

吉田設計

株式会社
建築設計/企画・設計・監理
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田 豊博

ジャパン建築

株式会社
不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800
代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

会合と催し

11・12月の行事

※ゴシックは司教日程

1日	諸聖人の祭日
2日	カルメル会新修道院落成
3日	死者の日
5日	召命の集い
8日	聖書講座第6回
12日	教区修女連役員会
14日	聖書講座第7回
16日	今村教会聖信式
18日	CYG創立25周年
19日	教区顧問会
20日	神学院祭
21日	聖書講座第8回
23日	福音宣教コース
26日	(23日)
27日	王であるキリスト
28日	聖書週間(28日)
29日	北九州地区ナイス報告会
30日	聖書講座第9回
31日	聖書特別講演会(北九州)
12月	聖書特別講演会(福岡)
3日	聖書講座第10回

5日	黒崎教会聖信式
8日	宣教地司祭育成の日
10日	無原罪の聖マリヤ
13日	福岡小神学校創立
14日	記念日
17日	ドームチャリティー
18日	福岡市民クリスマス
19日	臨時司教総会(17日)
20日	福岡黙想の家
21日	在世フランススコ
22日	会黙想
23日	静修
24日	防府教会婦人・壮
25日	年黙想会
26日	佐賀地区信徒協
27日	想会
28日	福音宣教コースI
29日	北九州レジオマリ
30日	エ黙想
31日	御受難会主催・待
12月	降節黙想会
1日	御受難会共同の

熊本・手取教会で研修会！
「カトリック愛と性を考える」
講師・ヨセフ松永久次郎司教
とき・一九九四年一月二十日

北九州シーグ(C. Y. G.)

創立25周年記念行事
テーマ：“明日に羽ばたくCYG”
日時：11月14日(日)14:00～17:00
場所：カトリック水巻教会
内容：感謝のミサ、茶話会、展示物など、
参加して共に祈り、祝いましょう
指導司祭：ルイ・ベリオン

聖書特別講演会

講師：雨宮 慧 神父(東京教区司祭)
テーマ：“聖書が述べる家庭の役割”
会費：1,000円(当日会場にて)
【北九州】 11月27日(土)10:00～12:00
カトリック小倉教会会館
【福岡】 11月28日(日)14:00～16:00
カテドラルセンター

聖書講座【後期～続き(全10回)】

一マタイ福音書を読む一
第6回 11/5(金)・平田 寛 神父
「マタイ23～25章 神の国の裁き」
第7回 11/12(金)・平田 寛 神父
「マタイ23～25章 神の国の裁き」
第8回 11/19(金)・松永久次郎司教
「マタイ26～28章 受難と復活1」
第9回 11/26(金)・雨宮 慧 神父
「マタイの系図」
第10回 12/3(金)・松永久次郎司教
「マタイ26～28章 受難と復活2」

場所：カテドラルセンター1階ホール
時間：毎回 19:00～21:00
参加費：各800円
申込み：教区本部事務局 ☎ 092-522-5139
または当日会場にて

1994年度結婚準備セミナー

【福岡会場】 福岡カテドラルセンター
1階講堂
日程 1月27日・29日
2月3日・5日・17日・19日・24日・26日
申込み カトリックファミリーセンター
問合先 TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】 カトリック手取教会
信徒会館2階ホール
日程 1月24日・26日・31日
2月2日・7日・14日・16日・21日
申込み カトリック手取教会
問合先 TEL 096-352-3030

*いずれも毎回 19:00～21:20

Christmas in DOME……ドームチャリティーの集い

福岡市在住の森本司郎氏(森本能舞台/観世流準職)の呼び掛けにより、12月10日(金)に福岡ドームで開かれます。この集いは、アジアの貧しい人々を支援するのが目的で、福岡教区も共同主催いたします。義援金は神の愛の宣教者会(マザー・テレサ)に贈られます。この催しは、教会が社会の人々と共に歩むよい機会、また宣教の機会になると思います。皆様のご協力とご参加を心より願います。
チケット販売をしております。ご協力ください。問合先:教区本部 ☎ 092-522-5139

福岡市民クリスマスご案内

◆12月13日(月) 18:30～20:30
◆福岡市民会館 大ホール(入場無料)
◆うた 福音歌手 胡 美芳
演奏 西南学院ハンドベルクワイヤ
お話し 山元 眞 神父
主催 福岡市民クリスマス実行委員会
協力 福岡教区エキュメニズム委員会

福音宣教コースI (日本カトリック研修センター主催)

日時：11月20日(土) 16:00～22日(月) 13:30(2泊3日)
内容：「福音に生かされた家庭」
対象：司祭・修道者・信徒
対 象：30人
費用：18,000円(消費税込み)
申込み・問合せ：福岡黙想の家
宗像市名残1056 ☎ 0940-32-3222

温かい家庭づくりを願って

月刊 家庭の友

一部(年別)260円 年間予約(年別)3100円

掲載内容の一部

- ◎信仰共同体としての家庭
- ◎家庭における老人介護のありかた
- ◎モンテッソーリ教育・青少年教育問題、等々

申し込み先 〒160 東京都新宿区若葉1丁目5番地
中央出版社 ☎ 03-3359-0451 03-3351-9534

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光 敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-23
TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険

〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石 真 澄
☎ 092-552-8195 ☎ 092-541-7734

11月命日の司祭

*スヴァノ・ニゼウエリノ師
(ミラノ外国宣教会)
一九六二年十一月二十七日
元唐津教会主任

*フレデリック・ボア師
(パリ外国宣教会)
一九七七年十一月三日
元援助修道会黒崎修道院付

編集室から

掃除機の掃除をした。パツク式ではないのでごみを捨てるときはほりかき散らして、新しいものを買った。新しいものを使うには大切にして上手に。神様も私たちがするようにしてくださる。与えられる場で奉仕に励もう。



聖母訪問会

以前に訪問童貞会と呼ばれていた私たちの修道会は、第二バチカン公会議の後、聖母訪問会と名前を改めました。会の創立者はパリ外国宣教会宣教師アルベルト・ブルトン神父で、一九三一年より約十年間福岡教区の司教を務めたこともあり、聖母訪問会を創立してまだ日も浅かったので司教叙階後、師は、会の本部と修練院を福岡に移して養成を続けました。ブルトン師が会を創立する

未来へ——安心を創る



FUJIKI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 藤木 鐵 三 福岡支店長 小田 正 人



松永久次郎司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 リック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 福岡6-20729
定価 一部60円

ゆるすことは人間のわざであり
忘れることは神のわざである
菊池 R・オウエンス神父

NICE・2 答申を司教団へ提出 日本の教会の刷新を求めて

長崎

好天に恵まれた長崎で行われたNICE・2(第二回福音宣教推進全国会議)に教区代表として参加した二百六十五人はその大役をおおむね成功裏にこなした。



教区最終報告をする平田耕一氏

全国会議のはじめに、開会のミサが浦上教会で担当司教濱尾文郎司教(横浜教区長)主司式で行われ、一般信徒を含む約二千人が神に賛美を捧げた。松永久次郎司教と共に一堂した青年代表者の堀之内みさん(大名町教会)は、福岡教区の信徒数などが書かれた色紙を祭壇に捧げ、教区民全体が祈りながら参加していた。

会議は司教館と隣接するカトリックセンターで行われた。最初に、三末篤實司教(広島教区長)からNICE・2の趣旨説明があった。次に、担当司教団からの基調考察があった。まず、島本要大司教(長崎教区長)が、NICE・1以降の歩みと実りについての報告をした。さらに、家庭を取り巻く社会の現実について濱尾司教の話があった。

午後、日本の教会共同体として、これを受けとめ、かかわる」と題して分団会が催された。分団会は三十グループで、信徒・修道者・司教・司教が均等に分けられた。この日の全体会ではそれぞれのグループから約三分間程度のまとめが発表された。その後、照らしをもとめるミサが行われ、参加者の上に聖霊の導きを祈り、この日のスケジュールを終えた。

三日目は、午前中に前日のまとめが事務局から配布され、流れを確認した上で、分

十月十日にJR小倉駅前にそごうデパートが開店しました。不景気な時勢に人々は、少しでも安い物をと雑踏しました。

時の話題

杉本 美佐子

この店は六年毎に日本でパチカン展を開き、今年九最後が小倉で今世紀最後となりました。

大パチカン展と福音宣教

曜は超満員でした。協力した聖パウロ会では、来訪者のためにメデイアを通して福音を「福岡教区の教会所在地とパチカンの平和アッピールのパンフレット」を作り一人一人に配りました。会場の出口にセント・ポール・コーナーが

イタリア名画では最後の晩餐や聖母子がよく見られました。心ひかれるものがあります。若者たちはヨーロッパ音楽、特にオルガン曲に興味がありました。アヴェ・マリアのCDが六十本も売れました。仮

天使の聖母宣教修道会

熱心に分団会



た。この後、前日のようにミサが荘厳に行われた。夕食時に浦上教会信徒会館で懇親会があり、和やかな雰囲気になった。

事プログラムを終了することができました。和らいた空気の中にイエス様が働かれ、いろんなお話をしてくださったのだからきっと沢山の召命があると確信しています。

秋晴れのなかで召命の集い

サン・スルピス大神学院

毎年、文化の日には「召命の集い」が福岡の大神学院で行われる。この日には九州各地から子どもから大人まで大勢の人が参集し、聖職者召命のために祈る。

十一月三日、雲一つないすばらしい天気のもと、恒例の「召命の集い」がサン・スルピス大神学院で開催されました。年々参加者も増え続け、今回は千五百人をはるかに超え、善後には静かな敷地も沢山の笑顔で埋め尽くされる賑わいでした。

今年テーマは「神さまのおはなしをきかせてあげよう!」誰の心にも神様が話される、さらには司祭・修道者に直接話しているのはイエス様ご自身の声であり、勇気を持って伝えて欲しいと、五十人のスタッフが駆けずりまわりました。参加応募総数を上回る召命祈願ミサの中で、ご聖体が足りなくなる大惨事

小神学校生徒募集

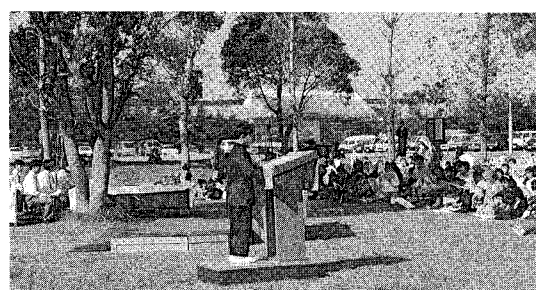
小神学校入学を希望する者は、主任司祭と相談の上、福岡小神学校(〒810 福岡市中央区浄水通38 Tel 092-531-6821)までご連絡ください。

- [入学条件]
- ①司祭を希望するカトリック信者の男子(来年3月に小学校卒業予定の現小学6年生以上)
 - ②主任司祭の推せんが必要
- ※途中編入も可
詳しくはお問い合わせください。

福岡小神学校
校長 青木 保

入学案内

福岡聖スルピス大神学院
カトリック男子
(高校卒業以上の学歴
(受洗後二年経過)
高等学校卒業以上の学歴
試験 司教の推薦状、主任司祭
又小神学校長の推薦
手続 その他必要書類
日時 一九九四年二月下旬
科目 国語、英語、カトリック
要理、ラテン語、面接
福岡市城南区松山二丁目
TEL 092-871-4943
FAX 863-6329



(実行委員一同)

みちくさ

犬が人間を噛みつくことニュースにならないが、人間が犬に噛みつくことニュースになるという。いわゆる「非常識」なところにニュースが存在するという誤解である。教会学校の上級生のクラスで先生がゲームをした。「解りますか」と先生。「そんなの常識だよ」と生徒。ところが、やはりゲーム。彼の答えは違っていたのだ。自分は自信をもって答えるが、答えは違う。常識ははずれた▼「常識」というのは社会の人間関係が決めたものであり、「非常識」はそれを逸脱するもの。では最近の若者のいう常識とはどういうものなのか。五十代の人には四十代に、四十代は三十代に、三十代は二十代に、「最近の若者は常識がないなあ」という。が、自分がもつ若い時にそれらしきことをしてきたのか▼人間はそのままならば「ただの人間」。しかし、魂を入れたら「生きた人間」になる。知恵と意志が働く人間になる。狼に育てられた者以上になる。だから、よりよく知恵と意志の働く環境設定が必要となる▼信仰生活も同じである。信仰もその教え方や伝え方によって、人間を生かすものとなる。果たして、家庭で「信仰の人間」を培っているだろうか。かつての常識的な信仰の姿が若者に伝わっているだろうか。もしも、「信仰生活は古い」が彼らの常識になっているならば困ったことになる。伝えるべき常識を伝えることが人の責任は大である。(私は困らないが)期待される神や聖人、そして本人が困る。信仰生活―神を意識した生活―が若者を輝かすような生き生きとしたものになるよう祈りたい。社会の過ぎ行くものの誘惑に負けるな。

(S)

「神の国」その二

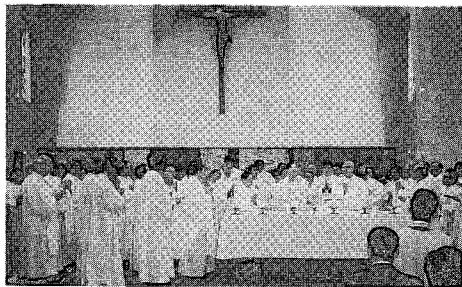


久しぶりに津和野に行く機会がありました。そこでまた信仰の先人たちの素晴らしいことを感じる事ができました。幼い「もり」ちゃんは、空腹のあまり蟬（せみ）を口に入れるくらいであったのに、役人の勤める御馳走に対して「今の御馳走を食べると、天国の御馳走が食べられる」となる。だから「いらない」と申したそうです。他の多くの人も、目の前にある幸せよりもこの神の国の幸せ、失われることの無い幸せを選び、殉教もいとませんでした。

大神学院祭

六十周年を祝う

十一月十八日、聖スルピス大神学院で大神学院祭が行われた。毎年恒例ではあるが、今年は聖スルピス会来日六十周年と大神学院聖堂献堂四十周年に当たり、記念撮影が行われた。写真は共同ミサ。



まず、献堂四十周年を機に改装された聖堂で島本要長崎大司教の主司式の下、六人の司教、約八十人の同窓生司教、修道会・宣教会関係の司教が共同司式をし、神学生、来賓の信徒の参列を得て献堂記念ミサが捧げられた。

教会学校

リーダー研修会

北九州

六十人が参加

十月二十五日、小倉教会で講師に川添猛神父様（浦上教会主任司教）を迎え、北九州教会学校リーダー研修会が行われました。

「九州」といえば信仰のふるさと、キリスト信者の多い土地というイメージが強く、そのように決めつけてしまいがちですが、それは以前の話であって、今は都会と同じこ

りももっと広い視野で私たちの幸せを考え、配慮してくださっています。しかし、私たちは神が永遠の幸せに導くために垣間見える東の間の幸せにのみ心を奪われ、しがみついています。でもよく考えてみるとどうでしょう。例えば喜びにしても、人から何かしてもらって感じる喜びと人にしてあげることに喜びを得る喜びとどちらが大きいのでしょうか。また、人が自分を慕うのが、自分の地位や権力もしくは財力であるのと、自分の人格・人間性によるものであるのではどうでしょう。

ミサ後、記念式典が行われた。高見三明院長の挨拶、聖スルピス会総長、同カナダ管区長挨拶があった。後、場所を食堂に移して祝宴が行われた。久しぶりに再会した司教たち、来賓の生徒の話ははずんだ。今年叙階二十五周年・十周年の卒業生が紹介され、挨拶した。

尚、六十周年の間に延べ二十人の聖スルピス会員（カナダ人十一人・日本人九人）が大神学院で働いた。現在八人の聖スルピス会員（カナダ人三人・日本人五人）が大神学院で働き、二人の日本人会員が小教区で司牧している。

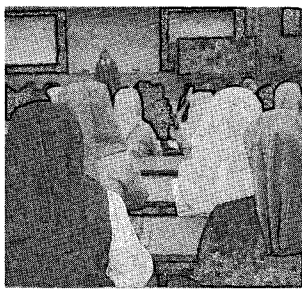
奉献を新たに

修道女研修会

十月十七日、日本女子総長管区長会主催による修道女研

のが豊かになることのほうがもっと嬉しく喜ばしいことだと感じます。神が、キリストが教えてくださった愛はそこにあります。どこにそれを見いだすか、それがポイントです。目の前ではばしの輝きを放つものにするのか、それとも今は鈍くとも永遠の輝きを持つ輝きそのものにするかです。ダイヤモンドは磨かれて初めて輝きを放ちます。メッキは初めは綺麗ですが、いずれば剥がれてしまいます。目の前の幸せと、神の約束してくださった幸せとの違いはそこにあります。

信仰の先人たちに倣い、神の約束を信じ神の国を目指して生きていきたいものです。本郷教会・川上惣一神父



午前中は、シスターモニック・ブッシュ（オタワ愛徳修道女会）が講話の中で「現代社会において、貞潔の証は人間が美しく生きるための何より大切な事実として必要。貞潔を生きては、自分も相手もますます自由になっていくこと。相手のちがいを真剣に受けとめて、一人ひとりの個性が生かされていくことです。」と具体例をあげ、ユーモアと熱意で会場をわきたたせました。その後、ビデオ「愛限りなく」を観賞し、個人作業。午後はグループでの分かち合い。三時からのミサで奉献を新たにし、それぞれ

各地で墓地ミサ。死者も家族の一員

福岡地区

十月三十一日、福岡の和国墓地で、多数の参列者を迎えて、松永久次郎司教司式の死者ミサが行われた。司教は説教で、死・審判天国・地獄の存在をカトリックのゆるぎない教義として述べ、煉獄の霊魂が天国の喜びに入るために祈り、施し、免償、償いの業をなすこととは信者の相応しい愛の行為である。また、死者のためにミサを捧げる伝統を守るように。さらに、福音宣教には家族である死者を大切にすることも欠かせない」と語った。写真は右上。



十一月十四日、帯山教会の大水幸一神父司式による野外ミサが捧げられた。東京や大阪からも来賓し、百人位の遺族や関係者の参加があった。

北九州地区

十一月七日、北九州カトリック納骨堂でミサが浦口均師、平田寛師、デ・ジャンプ師、グロージャン師の共同司式で行われた。当日は生憎（あいにく）の空模様だったため、ルルドのマリア像の前空地での野外ミサができず、堂内ミサとなったのである。

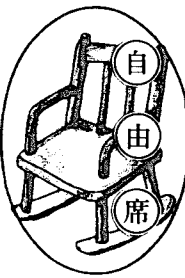


納骨堂内の灌水式が行われ、永眠者の祀られている柩（ます）の前に遺族が集まり祈りが捧げられた。尚、納骨堂には、手取教会初代の主任司教深堀詮朗神父をはじめ五百二十七人が眠っている。

福岡正義と平和協議会

カテドラル

福岡正義と平和協議会は、NICE・2に出席された酒井新二氏（共同通信社相談役・元社長）を招いて、十月二十四日にカテドラルセンターで講演をお願いした。会場には福岡教区内の各地から司教・修道女・信徒など約七十人が集まった。演題は「内外の民族問題」。酒井氏は講演の中で「日本でも海外でも、外国



エフェソにて

トルコ（小アジア）はイスラム教の国であるという先入観から、トルコに行ってみて、キリスト教にゆかりのある遺跡が非常に多いのに驚かされた。エフェソ・ニケア・アンチオキヤ・コロサイ・ガラテアなど。ローマ帝国の属領のうちその人口の半数以上がキリスト信者であったというのはここだけのこと。もう少し真剣に聖パウロの伝道の跡をたどっていったら、こんな偏見はもたなかったであろうに、と残念である。しかしそれが遺跡になってしまったのは、一九二二年キリスト教徒がトルコから去ったことである。その中でも、特に驚いたのはエフェソに聖マリヤの住居跡があったことである。聖マリヤはエルサレムで被昇天なさったくらいに思っていたのに、ヘロデ・アグリッパ王の迫害をのがれて、キリストの昇天後、聖ヨハネとともにエフェソに行かれた。三十七年から四十九年までの間である。その住居跡などまづつばものと思っていたが、ドイツのアウグスチヌス会のシスターで聖痕をうけたと言われている神秘家、カタリナ・エンメルヒの幻視で、そこに住居があったと言われるところを発掘すると、一世紀のものと思われる遺跡が発見された。一八九一年のことである。今そこに小聖堂が建てられており、聖堂の中の半分はユダヤ教徒のシナゴーク（会堂）奥はイスラム教徒のモスク（寺院）で、三大啓示宗教が一堂に会するエキューメニズムを地でおこなっているところである。聖マリヤはコランにも予言者イエスの母として大変尊敬されている。

箱崎教会・森山敬三

家で黙想の節を過ごしませんか？

●12月は、4～5・11～12・18～19の各土・日御受難会士指導による黙想会が行われます是非ご参加ください。
《時間》17：00受付～翌日16：00頃まで
《会費》各6千円

【申込・問合せ】 御受難修道会・福岡黙想の家
☎ 0940-32-3222 〒811-41 宗像市名残1056
JR赤間駅南出口よりバス自由ヶ丘南2丁目下車

有限会社 共立総合防災

＊消防設備 設計・施工
＊電気工事 保守点検

〒810 福岡市中央区六本松3-11-33
代表取締役 ヨハネ 土本政実
☎会社 092-761-5885 自宅 092-863-1289

※求人 信者の方を求む！
詳しくは電話をしてください。

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUL-EN)

ご葬儀

木下株式会社

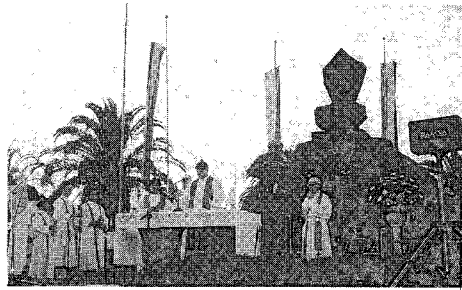
TEL 092-526-5656
福岡市中央区平和3丁目1-5

第2回福音宣教推進全国会議・答申

第二回福音宣教推進全国会議参加者一同

第38回
光の中の
祈りと歌声

十月二十四日、ぬけるような青空の下、第三十八回天草殉教祭が行われた。本渡市街を貫流する町山川にかかる祇園橋で午前九時に神式、午後四時から殉教公園の（本渡城出丸跡）千人塚で仏式、引



き続き五時からカトリックの荘厳ミサで平和の祈りが捧げられた。殉教祭最大のイベントはキャンドル行列である。



家庭
第2回
全国会議
に向けて

「家庭」をテーマに、家庭の現状から、福音宣教の在り方を探る福音宣教推進全国会議が終りました。司教様方は、出された答申を検討されて、日本のこれからの福音宣教のための指針をお作りになられることとしよう。祈りと期待をもつて待ちたいものです。

NICE・2を終えた今

教区報のこの欄では、NICE・2に向けてということで、3年間にいろいろな方から「家庭」をテーマに貴重な記事をいただきました。これらの記事をまとめると立派な本ができあがることとしよう。

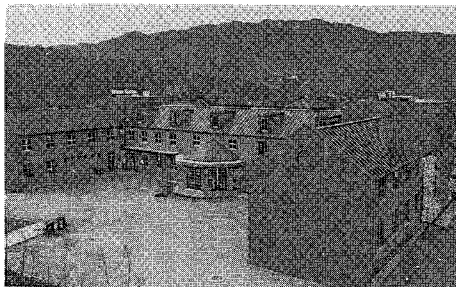
ところで私は二十余年、家庭の福音化に携わりながら、現代の社会現象の問題点の原点は家庭にあり、この家庭の病根は、い

S・M・ライル神父（家庭委員会委員長）

祝別・落成式

十一月一日、福岡市西区今宿上ノ原の小高い山の上に「女子跳足カルメル修道会」が移転落成した。

一九五〇年十月ベルギーのブルージュから三人のシスターが来日、福岡サン・スルピ



赤レンガの修道院は緑の山肌に映え、眼下に広がる糸島半島と今津湾の眺めは絶景。まさに日本のカルメル山と呼ぶにふさわしいように思う。

のちと性の軽視にあると強く感じています。現代の性といのちの軽視は人間の心を蝕み、人間関係を破壊し、多くの不幸な人々を生みだしました。

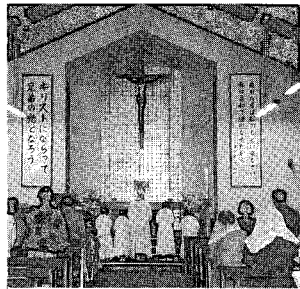
二十一世紀への福音宣教は、これら人類の病んでいる点の回復にあると信じます。胎児から年若い人々にいたる、ひとりひとりのいのちが何よりも大切にされ、いのちの誕生にいたる性の尊厳と責任感が育つ人間教育に力を入れるということとす。飽食と贅沢と快楽にならされた一部の人たちの生き方を見るとき、どれほど、神のみ心は痛まれることとしよう。聖母マリアのみ心も同じです。蝕まれる性、人間の都合で簡単に抹殺されていく胎児のいのち。これらを守るために、私たちに何が出来たのか、このことを意識して皆で力を合わせるならば、神のみ国の良い働き手として神の豊かな祝福をいただくこととしよう。

カトリック・ファミリーセンター

司式の中で松永久次郎司教は「物理的距離は遠くとも、近い思いでこれからも神学生や司祭のために祈ってください。」と語った。

帰ってきた
ご聖体
戸畑教会

大阪万博の頃は「聖体幸福式」と呼んでいたはず。ラテン語では、「ベネディクション」と呼び、その響きが荘厳さをもたせていた「写真



十一月十四日、戸畑教会では、「聖体幸福式」が執り行われた。「聖体」に捧げた戸畑教会にとつて、教区を一回りして帰ってきた還暦のような嬉しさがあつた。間もなく迎える待降節の前に、信徒をあげて聖体のお恵みをかみしめた。式では、賛美の歌が流れる中、聖体への献香があり、聖体に関する朗読がなされ、沈黙のうちにイエス・キリストに思いをはせた。そして賛美歌がささげられ祝福を受けた。戸畑教会・徳富幸治

明日に向かって
はばたくCYG

北九州

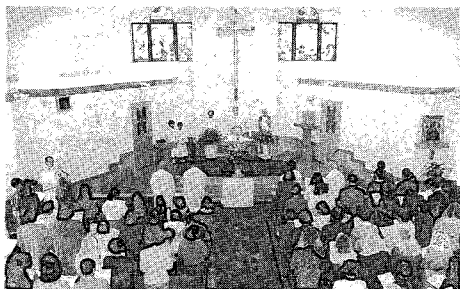
小さなCYGが二十五周年のお祝い会をしました。はじめCYGは、二十七年前に戸畑教会で「エンジェル会」として小さな産声をあげました。二年後に北九州CYGと改称しました。それから神様

大牟田カトリック
天使幼稚園

師走の雑踏には賑やかにクリスマスソングが流れ、誰でもがもうすぐやってくるクリスマスに胸がはずませます。カトリックでは三位一体に存しますイエス・キリスト様のご降誕を祝うと共に、神が地上にお降りになった最も大きな意味の「愛」について、今また思い起こし、心を一つにして祈りを捧げます。

幼稚園のできごと

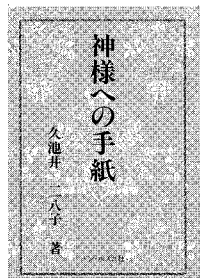
この時機、私たちはその教えに基づき、広く世界に目を向けた時、各地で起こっている様々な社会問題に何か自分でも手助け出来る事はないものかと考えます。昨年は天使幼稚園でも、テレビのニュースでソマリアの人々の惨状を知った園児たちが、「赤ちゃんにミルクを飲ましてあげたい」と話し合っていました。街頭募金に立ちました。寒風の中の街角での子どもたちと多くの方からご支援をいただきました。だき二十五年が過ぎました。



その間、何人のお嬢さんたちがCYGによって自分の霊的使命を向上させたこととしよう。成長してきたCYGが十一月十四日に水巻教会に大勢の来賓、卒業生、元リーダーたちを迎えて感謝と喜びのミサが八人の司祭によって捧げ



★神様への手紙
久池井二八子著



ちの熱い呼びかけが、先を急ぐ人々の心に響いたのでしょう、たくさんの温かい協力を得ることが出来、この小さな力の一つ一つが大きな愛となって海を越えていきました。きつと多くのソマリアの人の命の糧となったこととしよう。

本書は、カトリック佐賀教区に二十六年もの間奉職された一人の信仰の詩集です。著者（83歳）は現在、佐賀郡大和町にある特別養護老人ホーム「ロザリオの園」に入園中ですが、今もお元気で、人望も厚く、教え子もたくさんいることから福岡教区の名物おばあちゃんとして有名です。とにかく、この老婦人の詩集には聖霊のみ恵みがほどよく感じられ、読むものの心に深い平安と歓喜とを覚えさせてくれます。

ドン・ホスコ社 一、〇〇〇円

純粋な子どもたちに感謝。教諭・猿渡美幸

大神学院への寄付の御礼

中浜一男神父様のご尊父、故パウロ中浜茂様の香典返しとして多大のご寄付をいただきました。故人の安息をお祈りし、感謝のうちにこの報告させていただきます。

福岡サン・スルピス大神学院 院長 高見三

小神学校への寄付の御礼

平田三好神父様のご尊父、故ベトロ平田高雄様の香典返しとして多大のご寄付をいただきました。故人の安息をお祈りし、感謝のうちにこの報告させていただきます。

福岡小神学校 森山信三

ジャパン建築
株式会社

不動産/管理・仲介・売買・建設/一般建築
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-761-8800
代表取締役 マルガリタマリア 吉田由利子

吉田設計
株式会社

建築設計/企画・設計・監理
〒810 福岡市中央区六本松4-9-4
TEL 092-711-0550
代表取締役 ヨゼフ 吉田豊博

祭壇・洗礼盤他

素材 { 大御そ 理影の 石石他

石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

会合と催し

12月の行事

※ゴチックは司教日程

- 12月
- 3日 聖書講座最終回
- 5日 黒崎教会堅信式
- 6日 熊本クリスマスチャリティー
- 8日 小神学校創立記念日
- 10日 ドームチャリティー
- 13日 福岡市民クリスマス
- 14日 臨時司教総会(17日)
- 24日 カテドラル降誕祭ミサ
- 1月
- 1日 カテドラル新年ミサ
- 4日 新年司祭の集い
- 9日 筑後ブロック合同成人式
- 15日 教区修女連研修会
- 16日 福岡ブロック合同成人式
- 23日 福岡地区信徒協役員会
- 30日 佐賀地区ナイス報告会
- 福岡黙想の家
- 4日 第2回・待降節の黙想会
- 5日 第3回・待降節の黙想会
- 11日 第4回・待降節の黙想会
- 18日 第5回・待降節の黙想会
- 24日 クリスマス・イブのミサ(深夜0時より)
- 25日 クリスマス・ミサ(午前十一時より)
- 27日 幼きイエズス修道会黙想



今年の七月初旬、兄の葬儀のため久しぶりに郷里の馬渡島に行った。途中、ある老婆と短い会話を交わしたが、その時祈禱書入れの小袋を開けて、半分は赤茶色になった私の初ミサの直後の写真を見せてくれた。私がうっかり、「この写真はもう赤く汚れている。いいのを送ってあげるけん、すてんですか」と言った途端に叱られた。「神父様、何ば言ひよつとですか。毎日この写真は見て神父様のために祈っているのに。」司祭の初ミサ、司牧の出発の日、神の深い御恩恵の日、通って来たあの日を振り返り、多くの人の支えを忘れないように。このような戒めの言葉として受けとめずにはおれなかった。

司牧の出発の日を振り返って

四王寺山などを目前にして広々と環境のよい歴史の地である。偶然だろうか、ちょうど司祭になって最初の司牧地、大牟田教会で青年たちと最初の遠足に出かけた場所が同じく都府楼跡と天満宮だった。司祭になったばかりのあの時の私は広いこの場所に休憩し

り振り返り、多くの人の支えを忘れないように。このような戒めの言葉として受けとめずにはおれなかった。ところで、私が二日市教会に来て最初に入院中の病人に秘跡を授けるために通った場所は、太宰府天満宮に通じる都府楼跡であった。観世音寺

6日・13日まで
休館いたします

1994年度結婚準備セミナー

【福岡会場】福岡カテドラルセンター
1階講堂
日程 1月27日・29日
2月3日・5日・17日・19日・24日・26日
申込み カトリックファミリーセンター
問合先 TEL 092-541-6207
FAX 092-552-5022

【熊本会場】カトリック手取教会

信徒会館2階ホール
日程 1月24日・26日・31日
2月2日・7日・14日・16日・21日
申込み カトリック手取教会
問合先 TEL 096-352-3030
*いずれも毎回 19:00~21:20

24日クリスマス・イブミサ					
教会	時間	吉 塚	19：30	唐 津	20：00
福岡地区		老 司	19：30	佐 賀	20：00
糸 島	20：00	北九州地区			24：00
今 村	21：00	飯 塚	19：30	多 久	20：00
大 楠	20：00	黒 崎	19：00	武 雄	20：00
大牟田	21：00		22：00	鳥 栖	21：00
小 郡	19：00	小 倉	18：00	馬渡島	20：00
久留米	19：00		20：30	呼 子	19：00
	22：00	新田原	20：00	熊本地区	
古 賀	19：00	田 川	18：30	荒 尾	19：00
笹 丘	20：00	天神町	20：00	大 江	20：00
浄水通	19：00	戸 畑	20：00	帯 山	19：30
大名町	18：00	直 方	19：00	菊 池	20：00
	20：30	八王寺	20：30	健 軍	20：00
高 宮	18：00	水 巻	19：00	崎 津	20：00
	20：00	23：00	島 崎	20：00	
茶 山	20：00	門 司	20：00	玉 名	19：00
西 新	19：00	門司港	19：30	手 取	19：00
箱 崎	20：00	湯 川	23：00		23：00
光 丘	20：00	行 橋	19：30	人 吉	20：00
二日市	20：00	若 松	19：30	本 渡	19：30
本 郷	18：30	佐賀地区		水 俣	20：00
	21：00	伊万里	20：00	武蔵ヶ丘	19：30
美野島	20：00	鹿 島	20：00	八 代	19：30

1993年 福岡市民クリスマス ご案内

★12月13日(月) 18:30~20:30
★福岡市民会館 大ホール (入場無料)
★うた 福音歌手 胡美芳
演奏 西南学院ハンドベルクワイヤ
お話 山元真神父
主催 福岡市民クリスマス実行委員会
協力 福岡教区エキュメニズム委員会

おわび
昨年亡くなられたヨセフ永一師の命日は十月三十一日です。掲載が遅れたことをおわび致します。

12月命日の司祭

*ミシェル・ソレル師
(パリ外国宣教会)
一九一七年十二月二十日
元久留米教会主任
*パウロ青木功師
一九七三年十二月十九日

第3回 カトリック愛と性を考える研修会

テーマ:いのちと性は神のたまもの
講師:ヨセフ松永久次郎司教
日時:1994年2月20日(日)13:00~16:15
会場:熊本・手取教会信徒会館
会費:1,000円(学生500円)
共催:福岡地区信仰教育委員会・家庭委員会
問合先:カトリックファミリーセンター
☎ 092-541-6207

主の道を求めて
天使の聖母 宣教修道女会

一九九四年四月一日、カナダで創立されました。本来は中国の宣教のためでしたが、第二次大戦後、中国共産化により、宣教師は国外退去となり、反面、このことは修道会が世界の各地(日本、ベルギー、チリ、ブラジルなど)に国際的修道会として飛躍する機会となりました。

未来へ——安心を創る
藤木工務店
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 小田 正人

聖パウロ小神学校
小神学生募集
小学6年生以上の男子信徒
下記へご連絡下さい
〒810 福岡市中央区小笹4-11-11
聖パウロ小神学校
☎ 092-531-0924

小神学校基金への
ご寄付
故トマス 湊 靖雄の香典返しとして、金一封をいただきました。心より感謝いたします。

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾 光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-23
TEL 093-771-3657

“任意保険に加入してから車の運転を致しましょう”
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険
〒814-01 福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石 真澄
☎092-552-8195 ☎092-541-7734